

Dell™ ノートブックコンピュータ オーナーズマニュアル

モデル PP19L

www.dell.com | support.dell.com

メモ、注意、警告



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。



警告：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

略語について

略語の一覧表は、141 ページの「用語集」を参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

この書の内容は、権利を多く保有している可能性があります。

© 2005 **すべての権利を Dell Inc. が保有します。**

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dimension、DellNet、OptiPlex、Latitude、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault、PowerApp、Dell TravelLite、ExpressCharge、および Strike Zone は Dell Inc. の商標です。Intel、Celeron、および Pentium は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Outlook、および Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. が所有する商標で、Dell Inc. が使用権を所有します。IBM は International Business Machines Corporation の登録商標です。EMC は EMC Corporation の登録商標です。ENERGY STAR は U.S. Environmental Protection Agency の登録商標です。

本書では、上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル PP19L

2005 年 10 月 P/N TC605 Rev. A02

目次

情報の検索方法	11
1 お使いのコンピュータの各部	
正面図	15
左側面図	19
右側面図	21
背面図	22
底面図	23
2 コンピュータのセットアップ	
インターネットへの接続	25
インターネット接続のセットアップ	25
新しいコンピュータへの情報の転送	26
オペレーティングシステム CD を使用してファイルと設定の 転送ウィザードを実行する場合	26
オペレーティングシステム CD を使用せずにファイルと設定の 転送ウィザードを実行する場合	27
プリンタのセットアップ	28
プリンタケーブル	29
USB プリンタの接続	29
電源保護装置	30
サージプロテクタ	30
ラインコンディショナ	30
無停電電源装置 (UPS)	30
3 ディスプレイの使い方	
輝度の調節	31
画面モードの切り替え	31
画面解像度の設定	32

4 キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド	33
キーの組み合わせ	34
システム関連	34
バッテリー	34
CD または DVD トレイ	34
ディスプレイ関連	34
無線通信 (ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの内蔵カードを含む)	34
電力の管理	34
スピーカー関連	35
Microsoft® Windows® ログキー関連	35
タッチパッド	36
タッチパッドのカスタマイズ	36

5 電力の管理

電力管理のヒント	37
電力の管理ウィザード	37
スリープモードの設定	37
電力設定の選択	38
バッテリーアラームと動作の設定	39
電力の管理ウィザードの完了	39
省電力モード	39
スタンバイモード	39
休止状態モード	40
電源オプションのプロパティ	40
電力設定タブ	40
アラームタブ	41
電源メータータブ	41
詳細タブ	41
休止状態タブ	41
Dell™ QuickSet の機能	42
QuickSet アイコンのクリック	42
QuickSet アイコンのダブルクリック	42
QuickSet アイコンの右クリック	42

6 バッテリーの使い方

バッテリータイプ	43
バッテリーの性能	43

バッテリーの充電チェック	44
Dell™ QuickSet バッテリメーター	44
Microsoft® Windows® 電源メーター	44
充電ゲージ	44
機能ゲージ	45
バッテリーの低下を知らせる警告	45
バッテリーの充電	45
バッテリーの保管	45
7 CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方	
CD または DVD の再生	47
ボリュームの調整	49
画像の調整	50
CD および DVD のコピー	50
CD または DVD のコピーの仕方	50
空の CD および DVD の使い方	51
便利なヒント	52
MediaDirect の使い方	52
テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続	53
S ビデオおよび標準オーディオ	54
S ビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ	56
コンボジットビデオおよび標準オーディオ	58
コンボジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ	60
S/PDIF デジタルオーディオの有効化	62
Cyberlink (CL) ヘッドフォンの設定	63
テレビの表示設定の有効化	64
8 ExpressCard の使い方	
ExpressCard のタイプ	65
ExpressCard のダミーカード	65
ExpressCard の取り付け	65
ExpressCard またはダミーカードの取り外し	66
9 5-in-1 メディアメモリカードリーダーの使い方	
メディアメモリカードタイプ	69
メディアメモリカードのダミーカード	69

メディアメモ리카ードの取り付け	69
メディアメモ리카ードまたはダミーカードの取り外し	70
10 家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	
ネットワークアダプタへの接続	71
ネットワークセットアップウィザード	71
ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク) への接続	72
ネットワークタイプの決定	72
Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続	72
11 問題の解決	
Dell Diagnostics (診断) プログラム	75
ドライブの問題	78
CD および DVD ドライブの問題	78
CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが 取り出せない場合	78
聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がある場合	78
ハードドライブの問題	79
E-メール、モデム、およびインターネットの問題	79
エラーメッセージ	80
IEEE 1394 デバイスの問題	84
キーボードの問題	84
外付けキーボードの問題	84
入力時の問題	85
フリーズおよびソフトウェアの問題	85
コンピュータが起動しない	85
コンピュータの応答が停止した	85
プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを 繰り返す	85
プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティング システム向けに設計されている	86
画面が青色 (ブルースクリーン) になった	86
Dell MediaDirect の問題	86
その他のソフトウェアの問題	86
メモリの問題	87
ネットワークの問題	87
ExpressCard の問題	88

電源の問題	88
コンピュータへの十分な電力の確保	89
プリンタの問題	89
スキャナーの問題	89
サウンドおよびスピーカーの問題	90
内蔵スピーカーから音が出ない場合	90
外付けスピーカーから音が出ない場合	90
ヘッドフォンから音が出ない場合	91
タッチ패드またはマウスの問題	91
ビデオおよびディスプレイの問題	91
画面に何も表示されない場合	91
画面が見つからない場合	92
画面の一部しか表示されない場合	92
ドライバ	92
ドライバとは?	92
ドライバの識別	93
ドライバおよびユーティリティの再インストール	93
ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決	95
お使いのオペレーティングシステムの復元	95
Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方	95
Symantec による Dell PC の復元の使い方	97
オペレーティングシステム CD の使い方	98

12 部品の拡張および交換

作業を開始する前に	101
奨励するツール	101
コンピュータの電源を切る	101
コンピュータ内部の作業を始める前に	102
バッテリー	104
バッテリーの取り外し	104
バッテリーの取り付け	104
ハードドライブ	104
ハードドライブをデルに返品する場合	107
オプティカルドライブ	107
デバイス固定ネジについて	107
オプティカルドライブの取り外しと取り付け	107

メモリ	108
DIMM B コネクタへのメモリモジュールの取り付け	109
コネクタ DIMM A へのメモリモジュールの取り付け	111
モデム (オプション)	115
ワイヤレスミニ PCI カード	117
ヒンジカバー	119
ヒンジカバーの取り外し	119
ヒンジカバーの取り付け	121
キーボード	121
キーボードの取り外し	122
キーボードの取り付け	123
Bluetooth® ワイヤレステクノロジー内蔵カード	123
コイン型電池	124
コイン型電池の取り外し	124
コイン型電池の取り付け	125

13 付録

仕様	127
セットアップユーティリティの使い方	133
概要	133
セットアップ画面の表示	133
セットアップ画面	133
通常使用するオプション	134
コンピュータ追跡ソフトウェア	135
ノートブックコンピュータを携帯するときは	135
コンピュータの識別	135
コンピュータの梱包	135
携帯中のヒントとアドバイス	136
飛行機の利用	136
コンピュータを紛失するか、盗難された場合	136
コンピュータのクリーニング	137
コンピュータ、キーボード、および ディスプレイ	137
タッチパッド	137
フロッピードライブ	137
CD と DVD	137
Macrovision 製品通知	138
デルへのお問い合わせ	138

用語集	141
索引	153

情報の検索方法

 **メモ**：一部の機能やメディアはオプションなので、出荷時にコンピュータに搭載されていない場合があります。特定の国では使用できない機能やメディアもあります。

 **メモ**：追加の情報がコンピュータに同梱されている場合があります。

何をお探しですか？

- コンピュータの診断プログラム
- コンピュータのドライバ
- デバイスのマニュアル
- ノートブックシステムソフトウェア (NSS)

こちらをご覧ください

Drivers and Utilities CD (ResourceCD と呼ばれます)

メモ：『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

マニュアルおよびドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。CD を使用してドライバを再インストールしたり (93 ページを参照)、Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行することができます (75 ページを参照)。



CD に収録されている Readme ファイルでは、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。

メモ：ドライバおよびマニュアルのアップデート版は、support.jp.dell.com で入手できます。

-
- コンピュータのセットアップ方法
 - 基本的なトラブルシューティングの情報
 - Dell Diagnostics (診断) プログラムの実行方法
 - プリンタのセットアップ方法
 - コンピュータのセットアップに関する追加情報
 - トラブルシューティングおよび問題解決の方法
 - 部品の取り外しおよび取り付け方法
 - 仕様
 - デルへの問い合わせ方法

オーナーズマニュアル



メモ：このマニュアルは、PDF 形式のものをウェブサイト (support.jp.dell.com) でご覧いただけます。

何をお探ですか？

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザライセンス契約

こちらをご覧ください

Dell™ 製品情報ガイド



- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

サービスタグおよび Microsoft® Windows® ライセンスラベルはお使いのコンピュータの底面に貼られています。

- サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご参照の際に、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用します。
- エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。



何をお探しですか？

- 技術情報 — トラブル解決ナビ、Q&A
- サービスと保証 — 問い合わせ先、保証、および修理に関する情報
- サービスおよびサポート — サービス契約
- 参照資料 — コンピュータのマニュアル、コンピュータの設定の詳細、製品の仕様、およびホワイトペーパー
- ダウンロード — 認定されたドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート
- ノートブックシステムソフトウェア (NSS) — オペレーティングシステムをコンピュータに再インストールする場合は、NSS ユーティリティも再インストールする必要があります。NSS は、お使いのオペレーティングシステムのための重要な更新を提供し、Dell™ 3.5 インチ USB フロッピードライブ、Intel® Pentium®M プロセッサ、オプティカルドライブ、および USB デバイスをサポートします。NSS は、Dell コンピュータを正しく動作させるために必要です。ソフトウェアはお使いのコンピュータおよびオペレーティングシステムを自動的に検知して、設定に適した更新をインストールします。

- Windows XP の基本情報
- プログラムとファイルの操作方法
- デスクトップのカスタマイズ方法

- オペレーティングシステムの再インストール方法

こちらをご覧ください

デルサポートサイト — support.jp.dell.com

メモ：企業、自治体、および教育機関のお客様向けにカスタマイズされた、デルプレミアサポートウェブサイト (premier.dell.co.jp/premier/) もご利用いただけます。

ノートブックシステムソフトウェアは、support.jp.dell.com にてダウンロードできます。

Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 3 問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従ってください。

オペレーティングシステム CD

メモ：『オペレーティングシステム CD』はオプションなので、出荷時にお使いのコンピュータに必ずしも付属しているわけではありません。

オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールする場合は、『オペレーティングシステム CD』を使用します。99 ページの『Windows XP の再インストール』を参照してください。



オペレーティングシステムを再インストールした後、『Drivers and Utilities CD』(『ResourceCD』) を使って、コンピュータに付属するデバイス用のドライバを再インストールします。

メモ：注文されたオペレーティングシステムによって、CD の色が異なります。

お使いのコンピュータの各部

正面図



- | | | |
|-----------------|-----------------|--------------------------|
| 1 ディスプレイリリースラッチ | 5 タッチパッド | 9 キーボード |
| 2 ディスプレイ | 6 メディアコントロールボタン | 10 キーボードおよびワイヤレスステータスライト |
| 3 電源ボタン | 7 スピーカー | 11 ディスプレイラッチ (2) |
| 4 デバイスステータスライト | 8 タッチパッドボタン | |

ディスプレイリリースラッチ — このボタンを押してディスプレイラッチを解除し、ディスプレイを開きます。
ディスプレイ — ディスプレイの詳細については、31 ページの「ディスプレイの使い方」を参照してください。

電源ボタン — 電源ボタンを押すと、コンピュータの電源が入るか、または省電力モードに入ります。

➡ **注意**：コンピュータの電源を切るときにデータの損失を防ぐには、電源ボタンを押さずに **スタート**メニューからコンピュータをシャットダウンします。

デバイスステータスライト



- ⏻ コンピュータの電源を入ると点灯し、コンピュータが省電力モードになっていると点滅します。
- 💾 コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
 ➡ **注意**：データの損失を防ぐため、💾 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
- 🔋 バッテリーが充電状態の場合、常時点灯、または点滅します。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、🔋 のライトは次のように動作します。

- 緑色の点灯 — バッテリーの充電中。
- 緑色の点滅 — バッテリーの充電完了。

コンピュータをバッテリーで作動している場合、🔋 のライトは次のように動作します。

- 消灯 — バッテリーが十分に充電されています（または、コンピュータの電源が切れています）。
- 橙色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下しています。
- 橙色の点灯 — バッテリーの充電残量が非常に低下しています。

タッチパッド —マウスの機能と同じように使用できます。

メディアコントロールボタン —CD、DVD、およびメディアプレーヤの再生をコントロールします。



-  消音にします。
-  音量を下げます。
-  音量を上げます。
-  再生または一時停止。
-  直前のトラックを再生します。
-  直後のトラックを再生します。
-  停止。
-  **Dell MediaDirect** または **Microsoft® Windows® Media Center Edition** を始動します。52 ページの「**MediaDirect** の使い方」を参照してください。

スピーカー —内蔵スピーカーの音量を調節するには、メディアコントロールボタンまたはスピーカー音量のキーボードショートカットを押します。詳細は、35 ページの「スピーカー関連」を参照してください。

タッチパッドボタン —タッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。

キーボード —キーボードには、テンキーパッドや **Windows** ロゴキーなどが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの状態については、34 ページの「キーの組み合わせ」を参照してください。

キーボードおよびワイヤレスステータスライト



キーボードの上にある緑色のライトの示す意味は、以下のとおりです。

-  テンキーパッドが有効になると点灯します。
-  英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
-  Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。
-  ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効にしたり無効にしたりするには、<Fn><F2> を押します。
-  Bluetooth® ワイヤレステクノロジーのカードが有効な場合、点灯します。
メモ : Bluetooth ワイヤレステクノロジーカードはオプション機能です。コンピュータに Bluetooth 機能が付いている場合のみ  ライトが点灯します。詳細に関しては、カードに同梱のマニュアルを参照してください。
Bluetooth ワイヤレステクノロジー機能だけを無効にするには、通知領域にある  アイコンを右クリックし、**Bluetooth ラジオの無効化** を選択します。
 すべてのワイヤレスデバイスを素早く有効または無効にするには、<Fn><F2> を押します。

ディスプレイラッチ —ディスプレイを閉じておくために使用します。

左側面図



- | | | |
|-------------------|------------------|-----------------------------|
| 1 セキュリティケーブルスロット | 4 IEEE 1394 コネクタ | 7 5-in-1 メディアメモリ
カードリーダー |
| 2 通気孔 | 5 マイクコネクタ | 8 ExpressCard スロット |
| 3 S ビデオ TV 出力コネクタ | 6 ヘッドフォンコネクタ | |

⚠ 警告：通気孔を塞いだり、物押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータ稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

➡ 注意：盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているかどうかを確認してください。

セキュリティケーブルスロット—このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細に関しては、盗難防止用品に付属のマニュアルを参照してください。



通気孔—コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

S ビデオ TV 出力コネクタ



コンピュータを TV に接続します。TV / デジタルオーディオアダプタケーブルを使って、デジタルオーディオ対応デバイスにも接続できます。

IEEE 1394 コネクタ — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。

オーディオコネクタ



 のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

 のコネクタにはマイクを接続します。

5-IN-1 メディアメモリカードリーダー — メモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。5-in-1 メディアメモリカードリーダーは、次のデジタルメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード / SDIO
- マルチメディアカード (MMC)
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD-Picture カード

EXPRESSCARD スロット — 1 枚の ExpressCard をサポートします。コンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。詳細に関しては、65 ページの「ExpressCard の使い方」を参照してください。

右側面図



- | | | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|---|--------------------|
| 1 | 光学ドライブベイ | 3 | USB コネクタ (2) | 5 | ネットワークコネクタ (RJ-45) |
| 2 | 光学ドライブトレイ取り出しボタン | 4 | モデムコネクタ (RJ-11) | 6 | ビデオコネクタ |

光学ドライブベイ—DVD ドライブなどのデバイスやその他の光学ドライブは、光学ドライブベイに取り付けることができます。詳細に関しては、107 ページの「光学ドライブ」を参照してください。

光学ドライブトレイ取り出しボタン—このボタンを押して、CD または DVD を光学ドライブから取り出します。

USB コネクタ



マウス、キーボード、またはプリンタなどの **USB デバイス** をコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 **USB コネクタ** に接続することもできます。

モデムコネクタ (RJ-11)



内蔵モデムを使用するには、電話線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方の詳細に関しては、コンピュータに付属のオンラインモデムのマニュアルを参照してください。



注意: ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話回線をネットワークコネクタに接続しないでください。

ネットワークコネクタ (RJ-45)

コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの隣にある緑色と黄色のライトは、有線ネットワーク通信のアクティビティを示します。

ネットワークアダプタの使い方に関する詳細に関しては、システムに付属しているオンラインネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

ビデオコネクタ

外付け VGA 対応モニターを接続します。

背面図

1 USB コネクタ (2)

2 AC アダプタコネクタ

USB コネクタ

マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB デバイスをコンピュータに接続します。オプションのフロッピードライブを、オプションのフロッピードライブケーブルを使って直接 USB コネクタに接続することもできます。

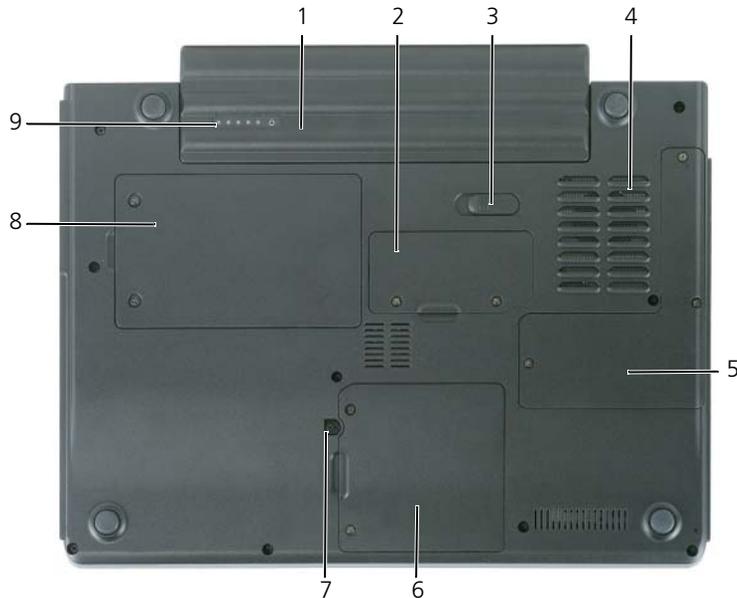
AC アダプタコネクタ —AC アダプタをコンピュータに接続します。AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。



警告：ACアダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

注意：ケーブルの損傷を防ぐため、ACアダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

底面図



- | | | | | | |
|---|-----------------|---|--------------------------------|---|----------------|
| 1 | バッテリー | 4 | ファン | 7 | オプティカルドライブ固定ネジ |
| 2 | メモリモジュールカバー | 5 | プロセッサカバーおよびサーマルモジュールカバー | 8 | ハードドライブ |
| 3 | バッテリーベイリリーススラッチ | 6 | モデムカバー / ミニ PCI カバー / ワイヤレスカバー | 9 | バッテリー充電ゲージ |

バッテリー — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使用することができます。詳細に関しては、43 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

メモリモジュールカバー — メモリモジュールが収容されている実装部のカバーです。詳細に関しては、108 ページを参照してください。

バッテリーベイリリーススラッチ — バッテリーをバッテリーベイから取り外すのに使用します。104 ページの「バッテリー」を参照してください。

ファン — コンピュータはファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防止します。

プロセッサカバーおよびサーマルモジュールカバー — プロセッサおよびサーマルモジュールをカバーします。

モデムカバー/ミニ PCI カバー/ワイヤレスカバー —モデム、ミニ PCI カード、および Bluetooth ワイヤレステクノロジー内蔵カードを含む実装部をカバーします。詳細に関しては、115 ページを参照してください。

オプティカルドライブ固定ネジ —オプティカルドライブをオプティカルドライブベイに固定します。詳細に関しては、107 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。

ハードドライブ —ソフトウェアおよびデータを保存します。詳細については、104 ページの「ハードドライブ」および 79 ページの「ハードドライブの問題」を参照してください。Windows エクスプローラに表示されるお使いのハードドライブのサイズは、オペレーティングシステムやプログラムが何もインストールされていない状態でのドライブ容量です。

バッテリー充電ゲージ —バッテリー充電ステータスの情報を示します。43 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

コンピュータのセットアップ

インターネットへの接続

 **メモ** : ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および ISP（インターネットサービスプロバイダ）が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

インターネット接続のセットアップ

デスクトップ上にある既存の ISP のショートカットを使用してインターネット接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップで ISP のアイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに ISP のアイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。
新しい接続ウィザード が表示されます。
- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
 - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
 - お客様の ISP からセットアップ情報を入手済みであるがセットアップ CD をお持ちでない場合、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
 - CD をお持ちの場合、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

接続を手動でセットアップする を選んだ場合、手順 6 に進みます。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。



メモ：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどう接続しますか？** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、79 ページの「E-メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

新しいコンピュータへの情報の転送

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、データを元のコンピュータから新しいコンピュータに転送する、ファイルと設定の転送ウィザードがあります。下記のデータが転送できます。

- E-メールメッセージ
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワーク接続を介してデータを転送したり、書き込み可能 CD またはフロッピーなどのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。



メモ：2 台のコンピュータで直接ケーブルを設置する手順に関しては、マイクロソフトのウェブサイトにて「直接ケーブル接続を構成する方法」という文書を参照してください。この情報は、特定の国では使用できない場合もあります。

新しいコンピュータに情報を転送するには、ファイルと設定の転送ウィザードを実行する必要があります。このプロセスを実行するには、オプションの『オペレーティングシステム CD』を使用するか、またはファイルと設定の転送ウィザードユーティリティでウィザードディスクを作成することができます。

オペレーティングシステム CD を使用してファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合



メモ：この手順では、『オペレーティングシステム CD』が必要です。この CD はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

新しいコンピュータに情報を転送するには次の手順を実行します。

- 1 **ファイルと設定の転送ウィザード** を起動します。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送元の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。

- 4 **Windows XP CD がありますか？** 画面で **Windows XP CD からウィザードを読みます** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
- 2 **Microsoft Windows XP へようこそ** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
- 3 **実行する操作の選択** で **ファイルと設定を転送する** をクリックします。
- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
- 7 **何を転送しますか？** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の転送フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します。

- 1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。
ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**転送フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD を使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行する場合

オプションの『オペレーティングシステム CD』を使用せずにファイルと設定の転送ウィザードを実行するには、バックアップイメージファイルをリムーバブルメディアに作成できる、ウィザードディスクを作成する必要があります。

ウィザードディスクを作成するには、Windows XP を搭載した新しいコンピュータを使用して、以下の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
- 3 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 4 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送元の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 5 **Windows XP CD がありますか？** 画面で、**次のドライブでウィザードディスクを作成する：** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 6 フロッピーディスクまたは CD などのリムーバブルメディアを挿入して、**OK** をクリックします。

- 7 ディスク作成が完了したら、**古いコンピュータに移動してください** というメッセージが表示されますが、**次へ** はクリックしないでください。
- 8 古いコンピュータに移動します。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータで、ウィザードディスクを挿入します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**ファイル名を指定して実行** をクリックします。
- 3 **ファイル名を指定して実行** ウィンドウの **名前** フィールドで、**fastwiz** (該当するリムーバブルメディア) へのパスを参照して入力し **OK** をクリックします。
- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **これはどちらのコンピュータですか?** 画面で **転送元の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。
- 7 **何を転送しますか?** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の転送フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
- 8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには次の手順を実行します。

- 1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定はどこにありますか?** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。画面に表示される指示に従ってください。
ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それらを新しいコンピュータに適用します。
設定とファイルがすべて適用されると、**転送フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。
- 3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。



メモ: この手順に関して、support.jp.dell.com にて「転送」をキーワードに Q&A 検索していただくと、さらに詳細な情報をご覧いただけます。(文書番号 190344 の「以前の Windows で使用していた設定やファイルを、Windows XP にコピーする方法」などがあります。)

プリンタのセットアップ



注意: オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け

テクニカルサポートが必要な場合、プリンタのオーナーズマニュアルを参照するか、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタケーブル

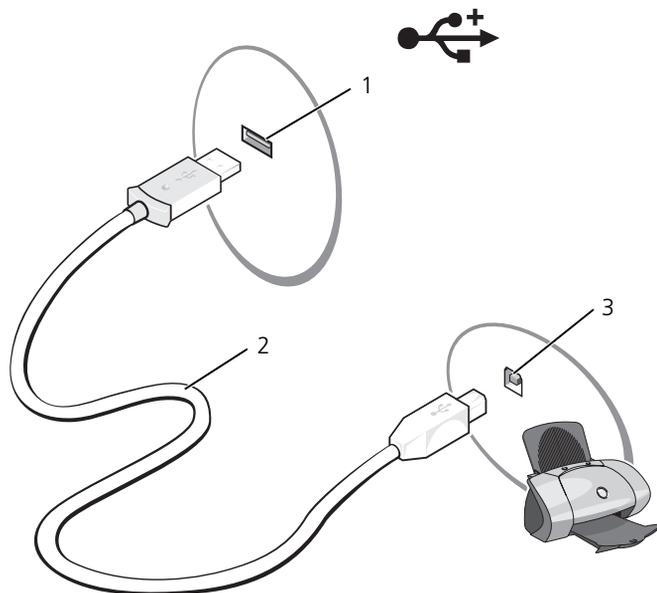
USB ケーブルまたはパラレルケーブルのどちらかを使って、プリンタをコンピュータに接続します。プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタおよびコンピュータと互換性があることを確認してください。お使いのコンピュータと同時にプリンタケーブルをご購入された場合、ケーブルはコンピュータが梱包されている箱に同梱されていることがあります。

USB プリンタの接続



メモ: USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは決まった方向にだけ差し込めるようになっています。



1 コンピュータの USB コネクタ 2 USB プリンタケーブル 3 プリンタのコネクタ

- 3 プリンタの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。**新しいハードウェアの追加ウィザード** ウィンドウが表示されたら、**キャンセル** をクリックします。
- 4 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ
- 無停電電源装置 (UPS)

サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。

 **注意:** ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

 **注意:** すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

ラインコンディショナ

 **注意:** ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

無停電電源装置 (UPS)

 **注意:** データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

 **メモ:** バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。

UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL (Underwriters Laboratories) 規格に適合しているか確認するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。

ディスプレイの使い方

輝度の調節

Dell™ コンピュータがバッテリーで動作している場合、<Fn> とキーボードの上下矢印キーを押して、輝度を快適に使用できる最低の設定にして節電することができます。

Dell QuickSet の輝度メーターは、現在の輝度の設定をディスプレイに表示します。タスクバーにある  アイコンを右クリックして、画面上の輝度メーターを有効または無効にします。



メモ：デフォルトで、輝度メーターは画面の右下角に表示されます。メーターをクリックして好きな位置にドラッグできます。



メモ：輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。お使いのノートブックコンピュータに取り付けられたモニターには影響がありません。お使いのコンピュータが外付けモニターに接続してある場合に輝度レベルを変更しようとする、輝度メーターは表示されますが、モニターの輝度レベルは変更されません。



QuickSet のタスクバーメニューから輝度メーターを有効または無効にできます。メーターが有効の場合、以下のキーを押して輝度を調節します。

- <Fn> と上矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が上がります。
- <Fn> と下矢印キーを押すと、内蔵ディスプレイのみ（外付けモニターは該当しません）の輝度が下がります。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、 をクリックします。

画面モードの切り替え

外付けデバイス（外付けモニターまたはプロジェクタなど）を取り付け、それらの電源を入れてコンピュータを起動すると、コンピュータのディスプレイまたは外付けデバイスのいずれかに画像が表示されます。

<Fn><F8> を押して画面モードの表示をディスプレイのみ、外付けデバイスのみ、またはディスプレイと外付けデバイスの同時表示に切り替えます。

画面解像度の設定

特定の解像度でプログラムを表示するには、グラフィックスカードとディスプレイの両方がプログラムをサポートしていて、さらに、必要なビデオドライバがインストールされている必要があります。

デフォルトの画面設定を変更する前に、後で参照できるようその設定を控えておいてください。

画面がサポートする範囲よりも高い解像度またはカラーパレットを選択した場合、サポートされる設定に最も近いものに自動的に調整されます。

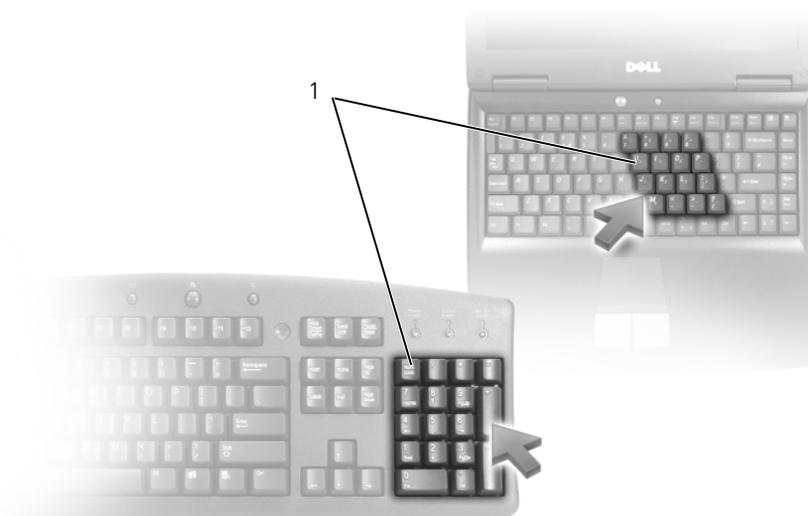
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、変更したい項目をクリックします。または**コントロールパネルを選んで実行します** で、**画面** をクリックします。
- 4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。



メモ：解像度を上げると、画面上でより小さくアイコンやテキストが表示されます。

キーボードとタッチパッドの使い方

テンキーパッド



1 テンキーパッド

テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーには、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、キーパッドを有効にし、<Fn> とご希望のキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。☒ のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

キーの組み合わせ

システム関連

<Ctrl><Shift><Esc> **タスクマネージャ** ウィンドウを開きます。

バッテリー

<Fn><F3> Dell™ QuickSet バッテリメーターを表示します。この機能は Dell MediaDirect ではサポートされていません。詳細については、44 ページの「Dell™ QuickSet バッテリメーター」を参照してください。

CD または DVD トレイ

<Fn><F10> トレイをドライブから取り出します（Dell QuickSet がインストールされている場合）。この機能は Dell MediaDirect ではサポートされていません。QuickSet の詳細に関しては、42 ページの「Dell™ QuickSet の機能」を参照してください。

ディスプレイ関連

<Fn><F8> 画面モードの表示を次の画面オプションに切り替えます。このオプションには、内蔵ディスプレイ、外付けモニター、内蔵ディスプレイと外付けモニターの両方が含まれています。

<Fn> と上矢印キー 内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。

<Fn> と下矢印キー 内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

無線通信（ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth® ワイヤレステクノロジーの内蔵カードを含む）

<Fn><F2> ワイヤレスネットワークおよび Bluetooth ワイヤレステクノロジーを含む、無線通信を有効または無効にします。

電力の管理

<Fn><Esc> 省電力モードを起動します。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **電源設定** タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。39 ページの「省電力モード」を参照してください。

スピーカー関連

<Fn><Page Up>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。
<Fn><Page Dn>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
<Fn><End>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効または無効にします。

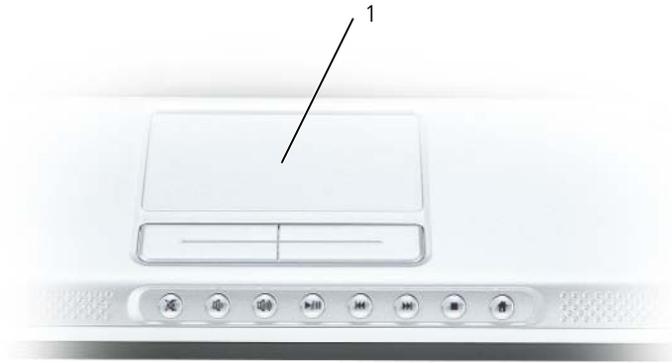
Microsoft® Windows® ロゴキー関連

Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
Windows ロゴキーと <Shift><m>	すべてのウィンドウを最大化します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。お使いのデスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックすると、同じウィンドウが開きます。
Windows ロゴキーと <r>	ファイルを選択して実行 ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	検索結果 ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	検索結果 - コンピュータ ダイアログボックスを開きます（ネットワークに接続している場合）。
Windows ロゴキーと <Pause>	システムのプロパティ ダイアログボックスを開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。コントロールパネルについては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページを参照してください。

タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



1 タッチパッド

- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

タッチパッドのカスタマイズ

マウスのプロパティ ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり、設定を調整できます。

- 1 コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。コントロールパネルについては、**Windows ヘルプ**と**サポートセンター**を参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、**13 ページ**を参照してください。
- 2 マウスのプロパティウィンドウの **タッチパッド** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調整します。
- 3 **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。

電力の管理

電力管理のヒント

 **メモ:** バッテリー電力を節約する方法に関する詳細は、43 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

- バッテリーの寿命は、使用および充電される回数によって大きく異なりますので、コンピュータはできるだけコンセントに接続してお使いください。
- 長時間コンピュータから離れるときは、コンピュータを**スタンバイモード**または**休止状態モード**にしてください。
- **電力の管理ウィザード**で、お使いのコンピュータの電力使用状況を最適化するオプションを選択できます。これらのオプションは、電源ボタンを押した時、ディスプレイを閉じる時、**<Fn><Esc>** を押した時に変更することもできます。

電力の管理ウィザード

 **メモ:** アクセス権が制限されている場合、電力の管理ウィザードを使用できません。

 アイコンをクリック、またはダブルクリックして、電力の管理ウィザードを開きます。ウィザードの最初の 2 つの画面、**ようこそ** と **電力の管理の概要** では、さまざまな電力管理オプションの説明と定義について紹介しています。

 **メモ:** **電力の管理の概要** 画面で、**今はこのページを表示しない** を選ぶことができます。このオプションを選ぶと、**ようこそ** 画面も表示されなくなります。

ようこそ と **電力の管理の概要** に続く画面で、スリープモード、電源設定、バッテリーの低充電アラームなど、各種の電力の管理オプションを設定します。

スリープモードの設定

この画面では、スタンバイモードと休止状態モードが定義されています。この画面から以下のことができます。

- スタンバイモードのパスワードオプションを設定します。
- 休止状態モードを有効または無効にします。
- ディスプレイを閉じたときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。

- 電源ボタンを押したときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
 - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
 - ユーザーにアクションを促す（**重要な操作**）プロンプトを表示します。
- <Fn><Esc> を押したときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
 - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
 - ユーザーにアクションを促す（**重要な操作**）プロンプトを表示します。

電力設定の選択

 **メモ**：コンピュータがバッテリーで動作している場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、内蔵ネットワークやワイヤレスアクティビティを無効にします。コンピュータがコンセントに接続されている場合、**ネットワーク無効** 電源設定は、ワイヤレスアクティビティのみ無効にします。**ネットワーク無効** 電源設定を使うには、QuickSet (Microsoft® Windows® ではなく) を介して電源設定を選択する必要があります。

電源設定 画面を選択すると、電源設定の作成、編集、およびスイッチができます。また、お客様が作成した電源設定を削除することはできますが、Dell™ QuickSet の既定の電源設定（**最大バッテリー**、**最大パフォーマンス**、**プレゼンテーション**、および **ネットワーク無効**）は削除できません。

 **メモ**：QuickSet は、QuickSet を使って作成した電源設定名の後に、（**QuickSet**）という単語を自動的に付け加えます。

すべての QuickSet 電源設定は、画面中央近くのドロップダウンメニューに表示されます。各電源設定は現在選択している設定の名前の下に表示されます。コンピュータがバッテリーで稼働しているときの電源設定と、コンセントに接続されているときの電源設定は別々に表示されます。

電力の管理ウィザードを利用して、電源設定にディスプレイの輝度レベルを関連付けることができます。輝度レベルを設定するには、QuickSet を使って輝度レベル電源設定を有効にする必要があります。

ディスプレイの輝度、内蔵ネットワークカードアクティビティ、およびワイヤレスアクティビティの機能は、コントロールパネルの電源設定からはご利用できません。これらの機能を使用するには、QuickSet 電源設定から設定する必要があります。

 **メモ**：輝度のキーの組み合わせは、お使いのノートブックコンピュータのディスプレイのみに適用します。お使いのノートブックコンピュータに取り付けられているモニターには影響はありません。お使いのコンピュータが CRT モードのみに設定されていて、輝度レベルを変更しようとする、輝度メーターは表示されますが、モニターの輝度レベルは変更されません。

バッテリーアラームと動作の設定

この画面から、バッテリー低下アラームとバッテリー切れアラームを有効にでき、また警告の設定を変更できます。たとえば、バッテリー低下アラームを **20 %** に設定して、作業中のファイルを保存し、AC 電源に切り替えるよう促したり、バッテリー切れアラームを **10 %** に設定して休止状態モードに入るようにできます。この画面から以下のことができます。

- アラームの通知方法として、音声とテキストメッセージのどちらかを選択します。
- アラーム通知を行う電源レベルを指定します。
- アラーム通知があったときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
 - Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。

電力の管理ウィザードの完了

画面に、お使いのコンピュータの QuickSet 電源設定、スリープモード、およびバッテリーアラーム設定の概要が表示されます。選択した設定を確認して、**完了** をクリックします。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

省電力モード

スタンバイモード

スタンバイモードは、あらかじめ設定した一定の時間コンピュータを操作しないでおく（タイムアウト）、ディスプレイとハードドライブの電源を切ることによって電力を節約するモードです。スタンバイモードを終了すると、コンピュータはスタンバイモードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意**：スタンバイモードのときに AC 電源が切れたりバッテリーを使い切ってしまうと、データを損失する恐れがあります。

スタンバイモードに入るには、**スタート** ボタンをクリックし、**シャットダウン** をクリックして、**スタンバイ** をクリックします。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **電源設定** タブで、ご自分で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の一つを実行します。

- 電源ボタンを押します。
- ディスプレイを閉じます。
- <Fn><Esc> を押します。

スタンバイモードから復帰するには、**電源設定** タブのオプション設定に応じて電源ボタンを押すか、またはディスプレイを開きます。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータはスタンバイモードから復帰しません。

休止状態モード

休止状態モードでは、システム情報をハードドライブの予約領域にコピーしてから、コンピュータの電源を切ることによって電力を節約します。休止状態モードから復帰すると、コンピュータは休止状態モードに入る前と同じ動作状態に戻ります。

 **注意**：コンピュータが休止状態モードの間は、デバイスを取り外すことはできません。

バッテリーの充電レベルが極端に低くなった場合、コンピュータは休止状態モードに入ります。

手動で休止状態モードにする場合、**スタート** ボタンをクリックし、**終了オプション** をクリックし、<Shift> を押したまま **休止状態** をクリックします。**電源オプションのプロパティ** ウィンドウの **電力設定** タブで、ご自分で設定した電源管理のオプションに従い、次の方法の 1 つを実行し、休止状態モードを起動します。

- 電源ボタンを押します。
- ディスプレイを閉じます。
- <Fn><Esc> を押します。

 **メモ**：ExpressCard によっては、休止状態モードから復帰した後、正常に動作しないものがあります。カードを外して取り付けなおすか、コンピュータを再起動（再起動）してください。65 ページの「ExpressCard の取り付け」を参照してください。

休止状態モードから通常の動作状態に戻るには、電源ボタンを押します。コンピュータが通常の動作状態に戻るのに、若干時間がかかることがあります。キーを押したり、タッチパッドに触れてもコンピュータは休止状態モードから復帰しません。休止状態モードの詳細に関しては、オペレーティングシステムに付属のマニュアルを参照してください。

電源オプションのプロパティ

電源オプションのプロパティ ウィンドウで、消費電力の管理およびバッテリーの充電ステータスを監視することができます。Windows で **電源オプションのプロパティ** ウィンドウにアクセスするには、**スタート** ボタンをクリックして **コントロールパネル** → **パフォーマンスとメンテナンス** とポイントし、**電源オプション** をクリックします。

電力設定タブ

電源設定 ドロップダウンメニューには次のような電源設定が表示されます。バッテリー電源を最大にするには、電力設定をデフォルトの **ポータブル / ノートブック** のままにします。

Windows XP では、選択した電源設定に基づいてプロセッサのパフォーマンスレベルを制御します。パフォーマンスレベルの設定には、それ以外の調整は必要ありません。

設定済みの電源設定には、コンピュータをスタンバイモードにする、ディスプレイの電源を切る、ハードドライブの電源を切る、といったそれぞれ異なるタイムアウト設定があります。電源管理のオプションの詳細については、ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページを参照してください。

アラームタブ

 **メモ**：アラームの音が聞こえるようにするには、**アラームの動作** ボタンをクリックして、**音で知らせる** を選択します。

バッテリー低下アラーム 設定と **バッテリー切れアラーム** 設定は、バッテリーの充電量が一定のパーセンテージ以下になるとメッセージを表示して警告します。コンピュータがお手元に届いたときには、**バッテリー低下アラーム** と **バッテリー切れアラーム** のチェックボックスが選択されています。これらの設定を変えずにお使いになることをお勧めします。バッテリー低下アラームの詳細に関しては、43 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

電源メータータブ

電源メーター タブは、現在の電源とバッテリーの充電残量を表示します。

詳細タブ

詳細設定 タブでは次のことができます。

- 電源のアイコンとスタンバイモードパスワードオプションの設定。
- ディスプレイを閉じたときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
- 電源ボタンを押したときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
 - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
 - ユーザーにアクションを促す (**ユーザー操作**) プロンプトを表示します。
- <Fn><Esc> を押したときのコンピュータのアクションを選択します。
 - アクションなしを選択します。
 - スタンバイモードにします。
 - 休止状態モードにします。
 - Microsoft Windows をシャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。
 - ユーザーにアクションを促す (**ユーザー操作**) プロンプトを表示します。

これらの機能を設定するには、対応するドロップダウンリストからオプションをクリックして、**OK** をクリックします。

休止状態タブ

休止状態 タブでは、**休止状態を有効にする** チェックボックスをクリックすることで、休止状態モードを有効にします。

Dell™ QuickSet の機能

 **メモ:** この機能はお使いのコンピュータで使用できない場合があります。

Dell QuickSet は、タスクバーにある  アイコンにより起動します。クリック、ダブルクリックまたは右クリックに応じて、違った機能を行います。

QuickSet アイコンのクリック

以下の機能を実行するには  アイコンをクリックします。

- 電力の管理ウィザードを使った電力管理設定の調整 (37 ページを参照してください)。
- アイコンとツールバーのサイズの調整。
- 電力の管理ウィザードで設定した電源設定の選択 (37 ページを参照してください)。
- プレゼンテーションモードのオンまたはオフ。

QuickSet アイコンのダブルクリック

 アイコンをダブルクリックし、電力の管理ウィザードを使って電源管理設定を調整します (37 ページを参照してください)。

QuickSet アイコンの右クリック

 アイコンを右クリックして、以下の機能を実行します。

- 画面上の輝度メーターの有効化または無効化 (31 ページを参照してください)。
- 画面上の音量メーターの有効化または無効化 (49 ページを参照してください)。
- ワイヤレスアクティビティインジケータのオンまたはオフ (38 ページを参照してください)。
- 『Dell QuickSet ヘルプ』の表示。
- お使いのコンピュータにインストールされている QuickSet プログラムのバージョンおよび著作権の日付の表示。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、 をクリックします。

バッテリーの使い方

バッテリータイプ

サポートされているバッテリーに関する情報については、127 ページの「仕様」を参照してください。

バッテリーの性能

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：デルの保証情報に関しては、『サービス&サポートのご案内』をご覧ください。

コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータは、常にメインバッテリーを搭載した状態でお使いください。コンピュータがコンセントに接続されていない場合、バッテリーを使用してコンピュータに電力を供給します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。

 **メモ**：バッテリーはフル充電されていない場合があるので、コンピュータを初めて使用するときは、AC アダプタを使って新しいコンピュータをコンセントに接続してください。最良の結果を得るには、バッテリーがフル充電されるまで、AC アダプタを使ってコンピュータを動作させます。バッテリー充電ステータスを表示するには、**コントロールパネル** → **電源オプション** → **電源メーター** タブにアクセスします。

バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。

 **メモ**：バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を蓄える能力のある期間）は、時間の経過に従って短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。

- オプティカルドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、ExpressCard、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードで、コンピュータを実行している場合（38 ページを参照）

 **メモ**：CD や DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。コンピュータにバッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電チェックができます。バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電力の管理オプションを設定することもできます。

 **警告**：適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

 **警告**：バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 044-556-4298）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。



警告: バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 60 °C を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはお子様の手の届かないところに保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしったり装置を損傷したりする恐れがあります。

バッテリーの充電チェック

Dell QuickSet バッテリメーター、Microsoft Windows **電源メーター** ウィンドウと  アイコン、バッテリー充電ゲージ、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリー充電の情報を提供します。

Dell™ QuickSet バッテリメーター

Dell QuickSet がインストールされている場合は、<Fn><F3> を押して QuickSet バッテリメーターを表示します。

バッテリーメーター ウィンドウは、お使いのコンピュータの現在の状況、充電レベル、および充電完了時間を表示します。

バッテリーメーター ウィンドウには以下のアイコンが表示されます。



コンピュータはバッテリー電源で動作している。



コンピュータが AC 電源に接続されていて、バッテリーが充電中である。



コンピュータが AC 電源に接続されていて、バッテリーがフル充電されている。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

Microsoft® Windows® 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。**電源メーター** タブの詳細については、

37 ページの「電力の管理」を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

充電ゲージ

バッテリーを挿入する前に、バッテリーの充電ゲージにあるステータスボタンを押すと、充電レベルインジケータライトが点灯します。各々のライトはバッテリーの総充電量の約 20 % を表します。たとえば、バッテリーの充電残量が 80 % なら 4 つのライトが点灯します。どのライトも点灯していない場合、バッテリーの充電残量が残っていないこととなります。

機能ゲージ

バッテリーの動作時間は、充電される回数によって大きく左右されます。充放電を何百回も繰り返すと、バッテリーは充電機能またはバッテリー機能を失います。バッテリー機能を確認するには、バッテリー充電ゲージのステータスポタンを 3 秒以上押します。どのライトも点灯しない場合、バッテリーの機能は良好で、初期の充電容量の 80 % 以上を維持しています。各ライトは機能低下の割合を示します。ライトが 5 つ点灯した場合、バッテリーの充電容量は 60 % 以下になっていますので、バッテリーを交換した方が良いかもしれません。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、127 ページの「仕様」を参照してください。

バッテリーの低下を知らせる警告

 **注意:** データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの充電残量の約 90 % を消費した時点で発せられます。バッテリー低下アラームの詳細に関しては、37 ページの「電力の管理」を参照してください。

バッテリーの充電

 **メモ:** Dell™ ExpressCharge™ を搭載していないコンピュータでは、コンピュータの電源が切れている場合、AC アダプタを使用して、完全に放電した 6 セルバッテリーを約 2 時間、9 セルバッテリーを約 3 時間で充電できます。コンピュータの電源が入っている場合は、充電時間は長くなります。バッテリーを充電したまま、コンピュータをそのままにしておいても問題ありません。バッテリーの内部回路によって過剰充電が防止されます。

コンピュータをコンセントに接続したり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

 のライトが緑色と橙色を交互に繰り返して点滅する場合は、バッテリーが高温すぎて充電が開始できない状態です。コンピュータをコンセントから抜き、コンピュータとバッテリーを室温に戻します。次に、コンピュータをコンセントに接続し、充電を継続します。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、88 ページの「電源の問題」を参照してください。

バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してください。

CD、DVD、およびその他の マルチメディアの使い方

CD または DVD の再生

- ➡ **注意:** CD または DVD のトレイを開閉する場合は、トレイの上から力を掛けないでください。ドライブを使用しないときは、トレイは閉じておいてください。
- ➡ **注意:** CD/DVD ドライブまたはディスクの損傷を防ぐため、CD または DVD の再生中はコンピュータを移動しないでください。
 - 1 ドライブの前面にある取り出しボタンを押します。
 - 2 トレイを引き出します。



1 CD/DVD トレイ

- 3 トレイの中央にラベルのある方を上にしてディスクを置き、ディスクをスピンドルにきちんとはめ込みます。

 **メモ:** 別のコンピュータに付属している CD/DVD ドライブをお使いの場合、CD または DVD の再生やデータの書き込みに必要なドライバとソフトウェアをインストールする必要があります。詳細については、『Drivers and Utilities CD』を参照してください（『Drivers and Utilities CD』はオプションであり、お使いのコンピュータや国によって利用できない場合があります）。

4 トレイをドライブに押し戻します。

データ保存のための CD フォーマット、ミュージック CD の作成、CD のコピーについては、コンピュータに付属の CD ソフトウェアを参照してください。

 **メモ:** CD をコピーする際は、著作権法に基づいていることを確認してください。CD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

	再生
	現在のトラック内での巻き戻し
	現在のトラック内での早送り
	直前のトラックへ戻る
	直後のトラックへ進む
	一時停止
	停止
	取り出し

DVD プレーヤーは次のようなボタンを使用して操作します。

	再生
	停止
	鑑賞中の章を再スタート
	早送り
	巻き戻し
	直後の章へ進む
	直前の章へ戻る
	鑑賞中の章を続けて再生する
	一時停止

 スローモーション

 取り出し

CD または DVD の再生の詳細については、CD プレーヤーまたは DVD プレーヤーのプログラムウィンドウで **ヘルプ** (利用可能な場合) をクリックしてください。

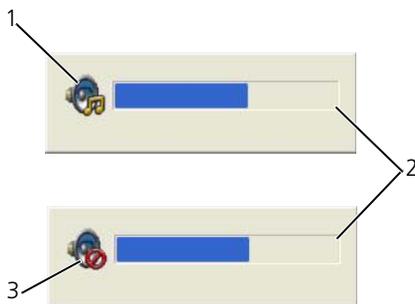
ボリュームの調整

 **メモ**: スピーカーが無音 (ミュート) に設定されている場合、CD または DVD の音声を聞くことができません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **エンターテイメント** とポイントして、**ボリュームコントロール** をクリックします。
- 2 **ボリュームコントロール** ウィンドウで、**ボリュームコントロール** の列にある音量つまみを上下にスライドさせてボリュームを調整します。

ボリュームコントロールオプションの詳細については、**ボリュームコントロール** ウィンドウの **ヘルプ** をクリックしてください。

音量メーターにミュートを含む現在のボリュームレベルが表示されます。タスクバーにある  アイコンを右クリックするか、ボリュームコントロールボタンを押して、画面上の音量メーターを有効または無効にします。



1 ボリュームアイコン

2 音量メーター

3 ミュートアイコン

音量メーターが有効の場合、音量を調節するにはボリュームコントロールボタンを使用するか、または以下のキーの組み合わせを押します。

- 音量を上げるには、<Fn><PageUp> を押します。
- 音量を下げるには、<Fn><PageDn> を押します。
- 音を消すには、<Fn><End> を押します。

QuickSet の詳細に関しては、タスクバーにある  アイコンを右クリックして、**ヘルプ** をクリックします。

画像の調整

現在設定している解像度と色数はメモリの使用量が多すぎて DVD を再生できません、というエラーメッセージが表示される場合、画面のプロパティで画像設定の調節をします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **作業を選びます** で、**画面解像度を変更する** をクリックします。
- 4 **画面のプロパティ** ウィンドウで、**画面の解像度** のバーをクリックアンドドラッグして、画面の解像度を下げます。
- 5 **画面の色** にあるドロップダウンメニューをクリックして、**中 (16 ビット)** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックし、設定を保存して、ウィンドウを閉じます。

CD および DVD のコピー

 **メモ:** CD または DVD を作成する際は、すべての著作権法に基付いていることを確認してください。

本項は、CD-RW、DVD+/-RW、または CD-RW/DVD (コンボ) ドライブを備えたコンピュータにのみ適用されます。

 **メモ:** デルにより提供される CD または DVD ドライブのタイプは国により異なることがあります。

以下の手順では、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。また、Sonic DigitalMedia は、コンピュータに保存したオーディオファイルから音楽 CD を作成したり、重要なデータをバックアップするなど、ほかの目的でも使用できます。ヘルプを参照するには、Sonic DigitalMedia を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックします。

CD または DVD のコピーの仕方

 **メモ:** CD-RW/DVD コンボドライブでは、DVD メディアに書き込むことはできません。CD-RW/DVD コンボドライブがあり、コピー中に問題が生じた場合は、Sonic サポートウェブサイト sonicjapan.co.jp で使用可能なソフトウェアパッチを確認してください。

Dell™ コンピュータに取り付けられている DVD 書き込み可能ドライブは、DVD+/-R、DVD+/-RW、および DVD+R DL (デュアルレイヤ) メディアに対して読み取りと書き込みができますが、DVD-RAM または DVD-R DL メディアに対する書き込みはできず、読み取りも行わない可能性があります。

 **メモ:** 市販の DVD のほとんどは著作権を保護されているので、Sonic DigitalMedia を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして **すべてのプログラム** → **Sonic** → **DigitalMedia Projects** (DigitalMedia プロジェクト) とポインタして **Copy** (コピー) をクリックします。
- 2 **Copy** (コピー) タブで **バックアップ** をクリックします。

3 CD または DVD をコピーするには次の手順を実行します。

- **CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合**、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** ボタンをクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブのテンポラリフォルダにそのデータをコピーします。
プロンプトが表示されたら、空の CD または DVD をドライブに挿入して **OK** をクリックします。
- **CD または DVD ドライブが 2 つある場合**、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** ボタンをクリックします。ソース CD または DVD のデータが空の CD または DVD にコピーされます。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

空の CD および DVD の使い方

CD-RW ドライブは CD 記録メディア（高速 CD-RW を含む）にしか書き込みができませんが、DVD 書き込み可能ドライブは、CD および DVD 両方の記録メディアに書き込むことができます。

音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

空の DVD+/-R は、大量の情報を永久保存することができます。DVD+/-R ディスクを作成した後、ディスクを作成するプロセスの最終段階でそのディスクが「ファイナライズ」または「クローズ」された場合、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+/-RW を使用してください。

CD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい

DVD 書き込み可能ドライブ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
CD-R	はい	はい	いいえ
CD-RW	はい	はい	はい
DVD+R	はい	はい	いいえ
DVD-R	はい	はい	いいえ
DVD+RW	はい	はい	はい
DVD-RW	はい	はい	はい
DVD+R DL	はい	はい	いいえ

メディアタイプ	読み取り	書き込み	書換可能
DVD-R DL	場合による	いいえ	いいえ
DVD-RAM	場合による	いいえ	いいえ

便利なヒント

- Sonic DigitalMedia を開始して DigitalMedia プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® エクスプローラでファイルを CD-R または CD-RW ディスクにドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの家庭用ステレオおよびカーステレオでは再生できません。
- Sonic DigitalMedia を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- ホームシアターシステムで使用する市販の DVD プレイヤーは、すべてのフォーマットに対応しているとは限りません。お使いの DVD プレイヤーが対応するフォーマットのリストに関しては、DVD プレイヤーに付属のマニュアルを参照するか、または製造元にお問い合わせください。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1 ~ 2 MB の空きスペースがあることが必要です。
- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。空の CD-RW ディスクを使用して、空の CD-R ディスクに永久的にプロジェクトを記録する前に、音楽ファイルプロジェクトをテストすることもできます。

詳細に関しては、Sonic ウェブサイト www.sonicjapan.co.jp を参照してください。

MediaDirect の使い方



メモ: Dell QuickSet はお使いのコンピュータに自動的にインストールされ、有効になっており、Dell MediaDirect を機能させるために必要です。QuickSet のデフォルトの設定を変更したり無効にしたりすると、Dell MediaDirect の機能が制限される可能性があります。Dell QuickSet の詳細については、42 ページの「Dell™ QuickSet の機能」を参照してください。

Microsoft Windows Media Center Edition または Dell Media Experience がインストールされている別バージョンの Windows XP を使用している場合、Dell MediaDirect ボタン  を押すことにより、いずれかのメディアプログラムを始動させることができます。

- ログインしている間に Dell MediaDirect ボタンを押すと、お使いのシステムの設定によって、Windows XP Media Center Manager または Dell Media Experience が始動します。両方のプログラムが存在する場合は、Windows XP Media Center Manager が始動します。
- コンピュータがオフの状態にある場合は、Dell MediaDirect ボタンを押してコンピュータを開始し、メディアアプリケーションを自動的に始動できます。コンピュータは、オンの状態で Windows を実行中である場合と、休止状態、スタンバイモード、またはオフモードである場合があります。

注意: ハードドライブを自発的に再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。そのような場合には、デルにご相談ください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

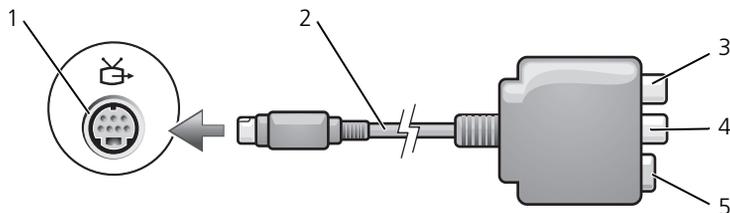


1 Dell MediaDirect ボタン

テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

メモ: テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店で買い求めください。

お使いのコンピュータには、標準 S ビデオケーブル（同梱されていません）と共に使用して、コンピュータをテレビに接続できる S ビデオ TV 出力コネクタがあります。



- | | | |
|------------------------|------------------------|-------------|
| 1 S ビデオ TV 出力コネクタ | 3 S/PDIF デジタルオーディオコネクタ | 5 S ビデオコネクタ |
| 2 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル | 4 コンポジットビデオ出力コネクタ | |

お使いのテレビには、S ビデオ入力コネクタまたはコンポジットビデオ入力コネクタのいずれかがあります。テレビで使用可能なコネクタのタイプによって、市販の S ビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルを使用してコンピュータをテレビに接続できます。

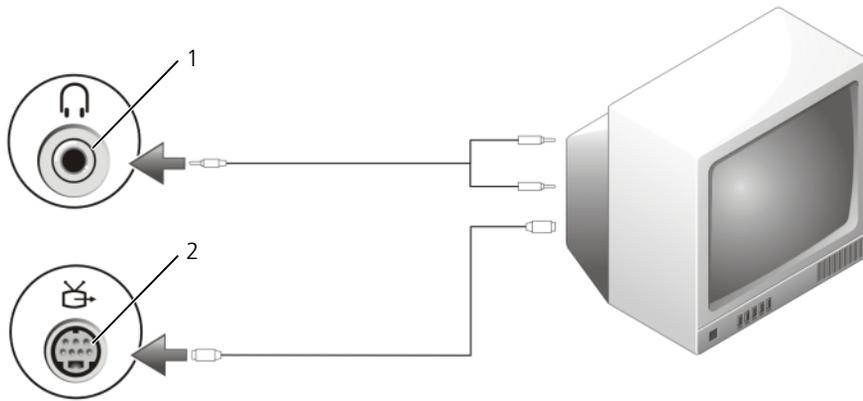
以下の組み合わせの 1 つを使って、ビデオケーブルおよびオーディオケーブルをコンピュータに接続することをお勧めします。

メモ: どの方法をお使いになるかを決定する際の参考として、各サブセクションのはじめにある接続の組み合わせ図を参照してください。

- S ビデオおよび標準オーディオ
- コンポジットビデオおよび標準オーディオ

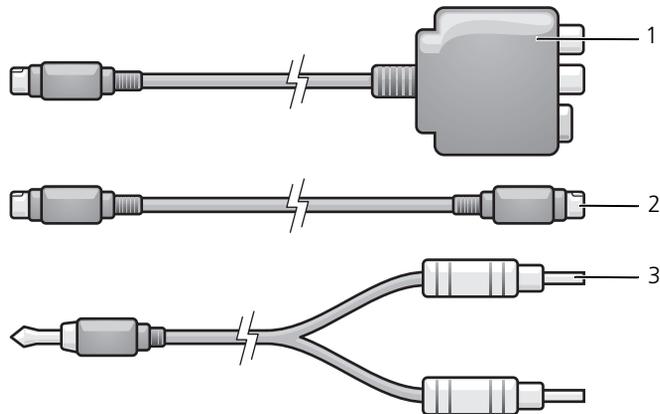
コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータとテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。64 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。また、S/DPDIF デジタルオーディオをお使いの場合は、62 ページの「S/DPDIF デジタルオーディオの有効化」を参照してください。

S ビデオおよび標準オーディオ



1 オーディオコネクタ

2 S ビデオ TV 出力コネクタ

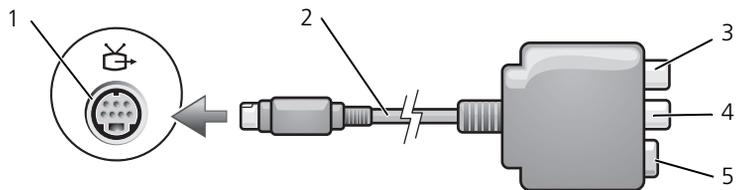


1 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル 2 標準 S ビデオケーブル 3 標準オーディオケーブル

1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。

メモ：お使いのテレビまたはオーディオデバイスが S ビデオ対応で、S/DPDIF デジタルオーディオ対応ではない場合、S ビデオケーブルを直接、コンピュータの S ビデオ出力コネクタに（TV/デジタルオーディオケーブルを使用しないで）接続できます。

2 S ビデオケーブルの一端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに差し込みます。



1 S ビデオ TV 出力コネクタ 2 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル 3 S/DPDIF デジタルオーディオコネクタ 4 コンポジットビデオ出力コネクタ 5 S ビデオコネクタ

3 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。

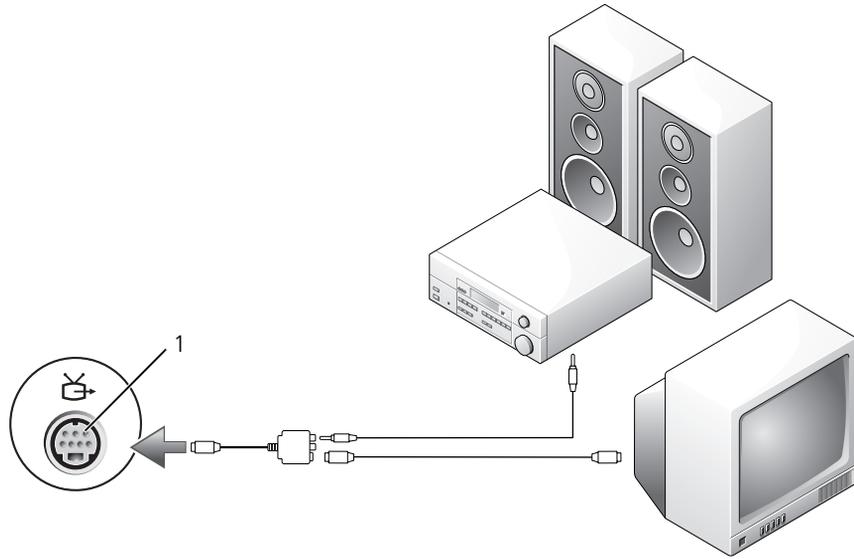
4 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。

5 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。

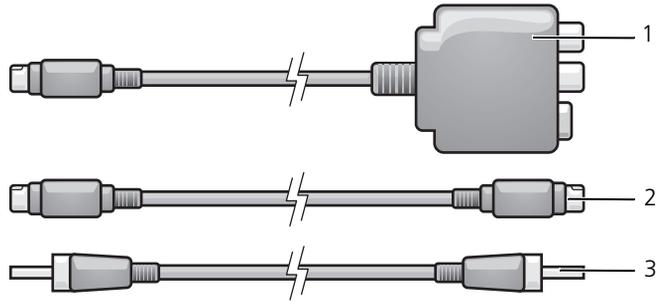
6 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。

7 64 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S ビデオおよび S/DPDIF デジタルオーディオ



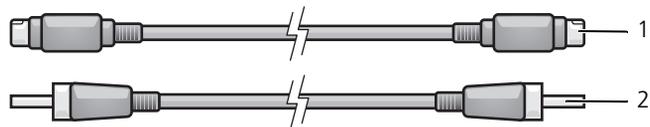
1 S ビデオ TV 出カコネクタ



1 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル

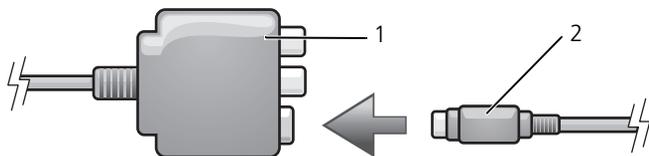
2 S ビデオケーブル

3 S/DPDIF デジタルオーディオケーブル



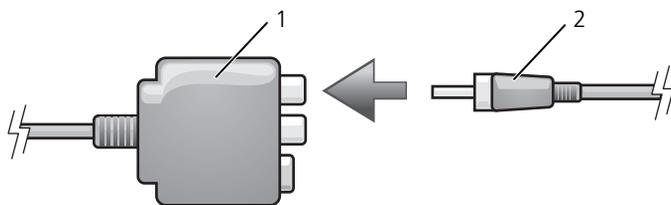
1 Sビデオケーブル 2 S/PDIF デジタルオーディオケーブル

- 1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
- 2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
- 3 S ビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。



1 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブル 2 S ビデオケーブル

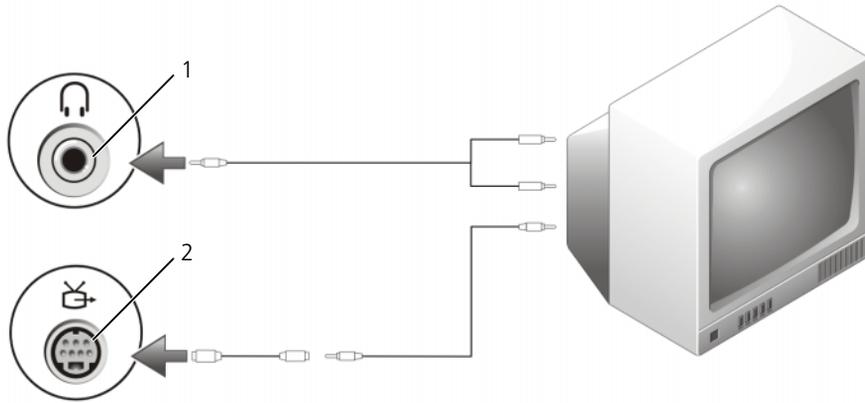
- 4 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
- 5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのデジタルオーディオコネクタに差し込みます。



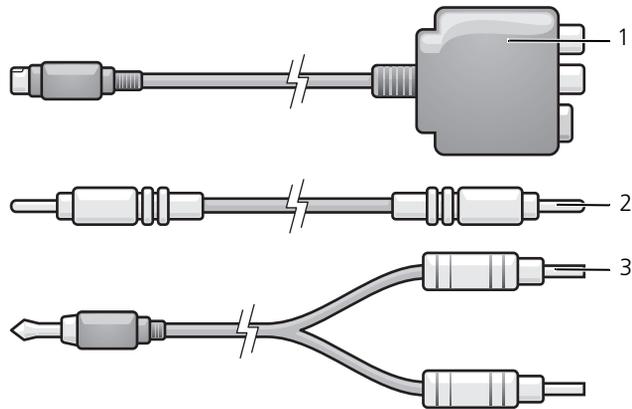
1 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブル 2 S/PDIF デジタルオーディオケーブル

- 6 S/PDIF デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
- 7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
- 8 64 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオおよび標準オーディオ



- 1 オーディオ入力コネクタ 2 コンポジットビデオ入力コネクタ



- 1 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル 2 コンポジットビデオケーブル 3 標準オーディオケーブル

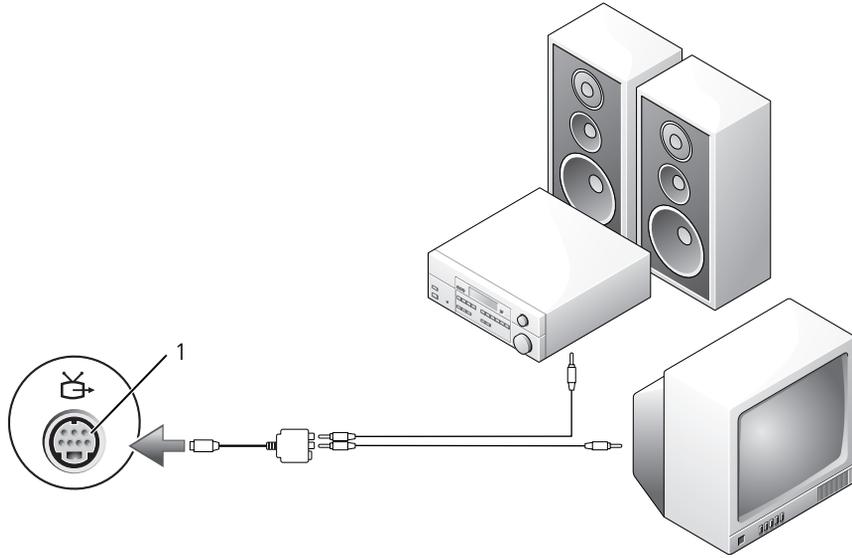
- 1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
- 2 標準ビデオ → コンポジットビデオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
- 3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、標準ビデオ → コンポジットビデオアダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに接続します。



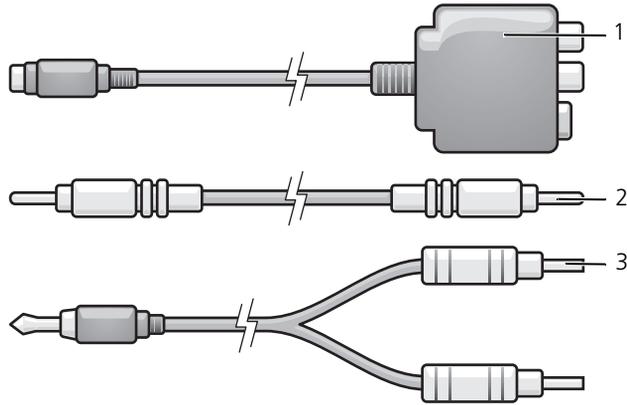
- 1 標準 S ビデオ → コンポジットビデオアダプタ 2 コンポジットビデオケーブル

- 4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
- 5 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。
- 6 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
- 7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
- 8 64 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

コンポジットビデオおよび S/PDIF デジタルオーディオ



1 コンポジットビデオ入力コネクタ

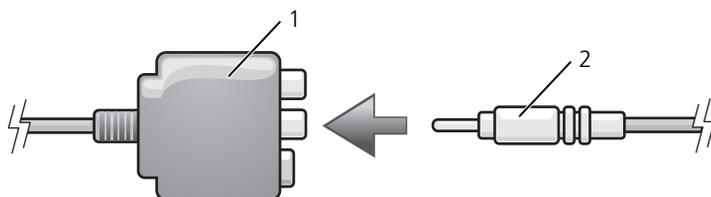


1 TV/デジタルオーディオアダプタケーブル

2 コンポジットビデオケーブル

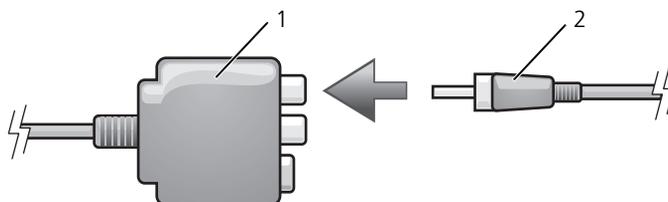
3 標準オーディオケーブル

- 1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
- 2 TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルを、コンピュータの S ビデオ TV 出力コネクタに接続します。
- 3 コンポジットビデオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。



- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1 TV/ デジタルオーディオ
アダプタケーブル | 2 コンポジットビデオ入力
コネクタ |
|-----------------------------|-----------------------|

- 4 コンポジットビデオケーブルのもう一方の端を、テレビのコンポジットビデオ入力コネクタに差し込みます。
- 5 S/PDIF デジタルオーディオケーブルの片方の端を、TV/ デジタルオーディオアダプタケーブルの S/PDIF オーディオコネクタに差し込みます。



- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 TV/ デジタルオーディオ
アダプタケーブル | 2 S/PDIF デジタルオーディオ
ケーブル |
|-----------------------------|----------------------------|

- 6 デジタルオーディオケーブルのもう片方の端を、テレビまたは他のオーディオデバイスの S/PDIF オーディオ入力コネクタに差し込みます。
- 7 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
- 8 64 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

S/PDIF デジタルオーディオの有効化

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用にデジタルオーディオを有効にすることができます。

- 1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **PowerDVD** をクリックして、**Cyberlink PowerDVD** アプリケーションを起動します。
- 2 DVD を DVD ドライブに挿入します。
DVD の再生が始まったら、停止ボタンをクリックします。
- 3 **設定** オプションをクリックします。



- 4 **ムービー** オプションをクリックします。



- 5 **音声設定** アイコンをクリックします。



- 6 **スピーカ設定** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**S/PDIF** オプションを選択します。



- 7 **戻る** ボタンを一度クリックし、もう一度 **戻る** ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

Windows オーディオドライバでの S/PDIF の有効化

- 1 Windows の通知領域でスピーカーアイコンをダブルクリックします。
- 2 **オプション** メニューをクリックしてから、**トーン設定** をクリックします。
- 3 **詳細設定** をクリックします。
- 4 **S/PDIF インタフェース** をクリックします。
- 5 **同じ** をクリックします。
- 6 **OK** をクリックします。

Cyberlink (CL) ヘッドフォンの設定

 **メモ**：CL ヘッドフォン機能は、お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合にのみ有効です。

お使いのコンピュータに DVD ドライブが搭載されている場合、DVD 再生用にデジタルオーディオを有効にすることができます。

- 1 **スタート** → **すべてのプログラム** → **PowerDVD** をクリックして、**Cyberlink PowerDVD** プログラムを起動します。
- 2 DVD を DVD ドライブに挿入します。
DVD の再生が始まったら、停止ボタンをクリックします。
- 3 **設定** オプションをクリックします。



- 4 **ムービー** オプションをクリックします。



- 5 **音声設定** アイコンをクリックします。



- 6 **スピーカ設定** の横にある矢印をクリックしてオプションをスクロールし、**Headphones** (ヘッドフォン) オプションを選択します。
- 7 **サウンド設定** をクリックしてオプションをスクロールし、**CL Headphone** (CL ヘッドフォン) オプションをクリックします。
- 8 **サウンド環境設定** オプションの横にある矢印をクリックし、最適なオプションを選択します。



- 9 **戻る** ボタンを一度クリックし、もう一度 **戻る** ボタンをクリックしてメインメニュー画面に戻ります。

テレビの表示設定の有効化

ビデオコントローラ

メモ：モニターオプションが適切に表示されていることを確認するには、TV をコンピュータに接続してからモニター設定を有効にします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**設定** をポイントして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **ハードウェアとサウンド** をクリックして **設定** タブをクリックします。
- 3 **詳細設定** をクリックします。
- 4 お使いのビデオカードのタブをクリックします。
- 5 表示デバイスの項で、シングルディスプレイまたはマルチディスプレイのいずれを使用するか、該当するオプションを選択し、画面設定が選択内容に対して正しいことを確認します。

メモ：コンピュータに取り付けられたビデオカードのタイプを判断するには、**スタート** ボタンをクリックして **ヘルプとサポート** をクリックします。**作業を完了する** で **ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する** をクリックして **マイコンピュータの情報** をクリックします。

ExpressCard の使い方

ExpressCard のタイプ

サポートされている ExpressCard に関する情報については、127 ページの「仕様」を参照してください。

 **メモ** : ExpressCard は起動可能なデバイスではありません。

ExpressCard のダミーカード

お使いのコンピュータには、ExpressCard スロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに ExpressCard を取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、66 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照してください。

ExpressCard の取り付け

コンピュータの実行中に ExpressCard をコンピュータに取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、ExpressCard は、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれているか、ラベルが付いています。カードは一方方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ExpressCard を取り付けするには次の手順を実行します。

- 1 カードの表を上にして持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。
カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



1 ExpressCard

コンピュータはほとんどの ExpressCard を認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、ExpressCard 付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。

ExpressCard またはダミーカードの取り外し

注意: コンピュータからカードを取り外す前に、ExpressCard 設定ユーティリティを使用して（タスクバーの  アイコンをクリックしてください）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ラッチを押してカードまたはダミーカードを取り外します。ラッチによっては、ラッチを 2 回押す必要があります。1 回目でラッチが外れ、2 回目でカードが出てきます。

スロットに ExpressCard を取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。



1 リリースボタン

2 ExpressCard

5-in-1 メディアメモリカードリーダーの 使い方

メディアメモリカードタイプ

5-in-1 メディアメモリカードリーダーを使用すると、メモリカードに保存されたデジタル写真、音楽、およびビデオを素早く手軽に表示、共有することができます。



メモ: メディアメモリカードは起動可能なデバイスではありません。

5-in-1 メディアメモリカードリーダーは、以下のメディアメモリカードを読み取ります。

- SD カード /SDIO
- マルチメディアカード (MMC)
- メモリスティック
- メモリスティック PRO
- xD-Picture カード

メディアメモリカードのダミーカード

コンピュータの出荷時には、5-in-1 メディアメモリカードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットにカードを取り付けないのためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、70 ページの「メディアメモリカードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。

メディアメモリカードの取り付け

メディアメモリカードは、コンピュータの実行中に取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

メディアメモリカードは通常、カード上面にスロットへの挿入方向を示す記号（三角形や矢印など）またはラベルが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。



警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メディアメモリカードを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 カードの表を上にして持ちます。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。
カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



1 5-in-1 メディアメモリカードスロット 2 メディアメモリカード

コンピュータは、メディアメモリカードを認識し、適切なデバイスドライバを自動的にロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、該当する場合は、メディアメモリカードに付属の CD を使用します。

メディアメモリカードまたはダミーカードの取り外し

注意: コンピュータからカードを取り外す前に、メディアメモリカード設定ユーティリティを使用して（タスクバーの  アイコンをクリックします）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。

警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

カードまたはダミーカードを押してリリースし、取り外します。

メディアメモリカードがスロットに取り付けられていないときに使用するため、ダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。

家庭用および企業用ネットワークの セットアップ

ネットワークアダプタへの接続

コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていること、およびネットワークケーブルが接続されていることが必要です。

ネットワークケーブルを接続するには次の手順を実行します。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

 **メモ:** ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。

- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、壁のネットワークコネクタなどのネットワーク接続デバイスに接続します。

 **メモ:** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 **ネットワークセットアップウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。

-  **メモ:** **インターネットに接続されている** と表示された接続方法を選択すると、Windows XP Service Pack 1 (SP1) 以降で提供されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
 - 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

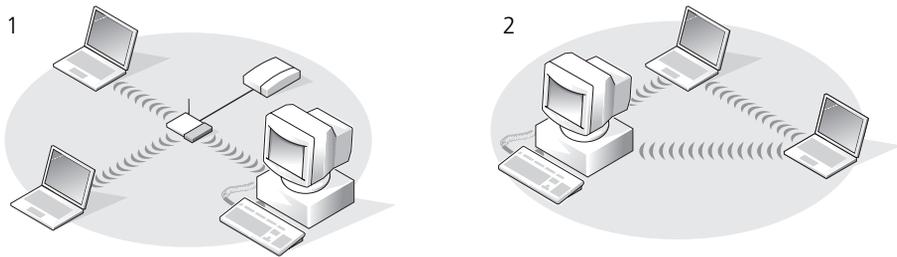
ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）への接続

-  **メモ:** これらのネットワークについての説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー内蔵カードまたは携帯製品には適用しません。

ネットワークタイプの決定

-  **メモ:** ほとんどのワイヤレスネットワークは、インフラタイプです。

ワイヤレスネットワークは、インフラネットワークとアドホックネットワークという 2 つのカテゴリに分類できます。インフラネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを一つに接続します。アドホックネットワークは、ルーターやアクセスポイントを使用せず、相互にブロードキャストするコンピュータで構成されています。



1 インフラネットワーク 2 アドホックネットワーク

Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続

ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するために特定のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドにある手順に従ってください。

このユーザーズガイドは、オプションの『Drivers and Utilities CD』の「User's Guides-Network ユーザーズガイド」カテゴリにあります。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト support.jp.dell.com でも参照できます。またお使いのコンピュータのデスクトップにある場合もあります。

-  **メモ:** 『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、お使いのコンピュータまたは国によっては利用できない場合があります。

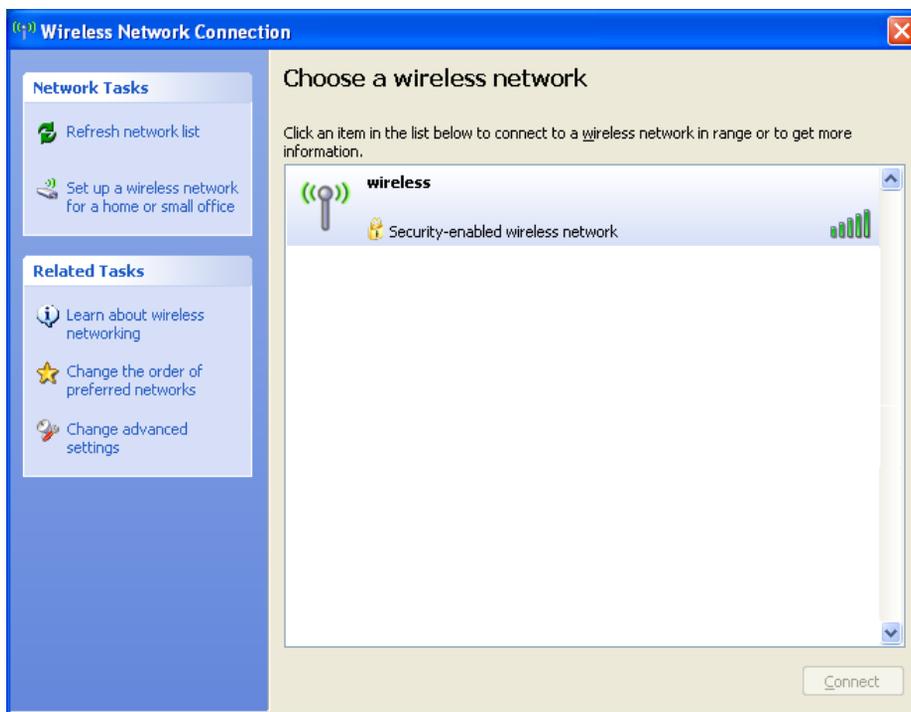
コンピュータの電源を入れると、コンピュータが設定されている地域以外でネットワークが検出された場合、その都度通知領域（Windows デスクトップの右下隅）にあるネットワークアイコンからポップアップが表示されます。



メモ：以下の手順は、ネットワークデバイスの管理に Windows オペレーティングシステムを使用する場合に適用されます。その他のワイヤレス設定ユーティリティの詳細に関しては、お使いのワイヤレスネットワークのマニュアルを参照してください。

- 1 ポップアップまたはネットワークアイコンをクリックして、使用可能なワイヤレスネットワークの 1 つにコンピュータを設定します。

ワイヤレスネットワーク接続 ウィンドウに、そのエリアで使用可能なワイヤレスネットワークが一覧表示されます。



- 2 設定するネットワークをクリックして選択してから **無線** をクリックするか、またはリスト上のネットワーク名をダブルクリックします。セキュアネットワーク (🔒 アイコンで識別されます) を選択した場合は、プロンプトが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

メモ：ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のものです。デルではこの情報をお知らせすることができません。

メモ：コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

選択したワイヤレスネットワークへのコンピュータの構成が終了すると、もう一度ポップアップが表示されて、選択したネットワークにお使いのコンピュータが接続されていることが通知されます。



これ以降は、ワイヤレスネットワークのエリアでコンピュータにログオンすると、その都度同じポップアップが表示され、ワイヤレスネットワーク接続であることを通知します。

問題の解決

Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、85 ページの「フリーズおよびソフトウェアの問題」にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。



注意：Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell コンピュータ上でのみ機能します。



メモ：『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブまたは『Drivers and Utilities CD』（『ResourceCD』とも呼ばれます）から起動します。

Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブから起動する場合

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。



メモ：コンピュータに画面イメージが表示されない場合は、デルまでお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 コンピュータをコンセントに接続します。
- 3 Diagnostics（診断）は次の 2 つの方法で開始することができます。
 - a コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。起動メニューから **Diagnostics（診断）** を選択し、<Enter> を押します。



メモ：ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

- b システムが起動している間に、<Fn> キーを押し続けます。



メモ：診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）を実行します。

起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。

- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
- 問題が検出された場合は、コンピュータはピープ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
- 起動前システムアセスメントの実行中に問題が検出された場合は、エラーコードを書き留め、デルにお問い合わせください。

起動前システムアセスメントが無事に終了した場合、Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue. (Dell Diagnostics (診断) ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。) というメッセージが表示されます。

- 4 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから Dell Diagnostics (診断) プログラムが起動します。

Dell Diagnostics (診断プログラム) を Drivers and Utilities CD から起動する場合

 **メモ:** 『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

- 1 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
- 2 コンピュータをシャットダウンして、再起動します。
DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。

ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

 **メモ:** 次の手順は、起動順序を一回だけ変更します。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。

- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW ドライブ** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
- 4 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択し、<Enter> を押します。
- 5 1 を入力して、『Resource CD』メニューを開始し、<Enter> を押して続行します。
- 6 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
- 7 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます。

Dell Diagnostics (診断) プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics (診断) プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは 10 ~ 20 分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に Express Test を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。このテストは通常 1 時間以上かかり、質問に定期的に回答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。
エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください。



メモ: 各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合、該当するタブをクリックします (詳細については、以下の表を参照)。

タブ	機能
Results	テストの結果、および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 Dell Diagnostics (診断) プログラムでは、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テストが完了し、Dell Diagnostics (診断) プログラムを『Drivers and Utilities CD』から実行中の場合、CD を取り出します。
- 5 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。Dell Diagnostics (診断) プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

ドライブの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

MICROSOFT® WINDOWS® がドライブを認識しているか確認します — **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。フロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行い、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で **Windows** がドライブを検出できないことがあります。

ドライブをテストします —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

ドライブまたはディスクをクリーニングします — バッテリー駆動時間の詳細に関しては、137 ページの「コンピュータのクリーニング」を参照してください。

CD ドライブトレイのスピンドルに CD がきちんとはまっていることを確認します

ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します — (95 ページの「ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決」を参照してください)。

DELL DIAGNOSTICS (診断) プログラムを実行します — 75 ページの「Dell Diagnostics (診断) プログラム」を参照してください。

CD および DVD ドライブの問題

 **メモ**：高速な CD ドライブや DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともあります。CD や DVD ドライブの故障ではありません。

 **メモ**：様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

CD/DVD-RW ドライブへの書き込み問題

その他のプログラムを閉じます — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

CD/DVD-RW への書き込みの前に Windows のスタンバイモードを無効にします — バッテリー駆動時間の詳細に関しては、39 ページの「省電力モード」を参照してください。

書き込み処理速度を低く設定します — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

- 1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- 2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
- 3 トレイが止まるまで慎重に引き出します。

聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし、回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

E-メール、モデム、およびインターネットの問題



警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



メモ: モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムは動作しません。

MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します — E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール、オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを開発したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線接続をチェックします

電話ジャックをチェックします

モデムを直接電話ジャックに接続します

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。(ジャックは緑色のラベル、もしくはコネクタの絵柄の横にあります。)
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、FAX、サージプロテクタ、またはラインスプリッタなど、その他の電話デバイスで回線を共有している場合、これらをバイパスし、モデムを直接電話ジャックに差し込みます。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。(Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。)

モデムが Windows と通信しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
 - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
 - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
 - 4 **モデム** タブをクリックします。
 - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
 - 6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの検査** をクリックします。
- すべてのコマンドに応答がある場合、モデムは正しく動作しています。

インターネットへの接続を確認します —ISP（インターネットサービスプロバイダ）との契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックしてマークを外し、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンします —コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

エラーメッセージ

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

補助デバイスエラー —タッチパッド、トラックスティックまたは外付けマウスに問題がある可能性があります。外付けマウスを使用している場合、ケーブル接続を確認します。セットアップユーティリティで **Pointing Device** オプションの設定を有効にします。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

コマンド名またはファイル名が違います —正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

障害によりキャッシュが無効になりました —マイクロプロセッサに内蔵の 1 次キャッシュに問題が発生しました。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

CD ドライブコントローラエラー —CD ドライブが、コンピュータからのコマンドに応答しません。78 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

データエラー —ハードドライブからデータを読むことができません。78 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

使用可能メモリ減少 —メモリモジュールに問題があるか、またはメモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおし、必要に応じて、メモリモジュールを交換します。108 ページの「メモリ」を参照してください。

ディスク C：初期化失敗 —ハードドライブの初期化に失敗しました。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard Drive** テストを実行します。75 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

ドライブの準備ができていません —操作を続行する前に、ベイにはハードドライブが必要です。ハードドライブベイにハードドライブを取り付けます。104 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

PCMCIA カードの読み取りエラー —コンピュータが、ExpressCard を認識できません。カードを挿しなおすか、別のカードを使用してください。65 ページの「ExpressCard の使い方」を参照してください。

拡張メモリの容量が変更されています —NVRAM に記録されているメモリ容量が、実際に取り付けられているメモリ容量と一致しません。コンピュータを再起動します。同じエラーが表示される場合、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません —指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

ファイル名には次の文字は使用できません：¥/:*?"<>| —これらの記号をファイル名に使用しないでください。

GATE A20 エラー —メモリモジュールがしっかりと接続されていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおすか、必要であれば取り替えます。108 ページの「メモリ」を参照してください。

一般的な障害 —オペレーティングシステムはコマンドを実行できません。通常、このメッセージのあとには具体的な情報が付きます（例えば、Printer out of paper [プリンタの用紙がありません]）。適切な対応策に従います。

ハードディスクドライブ設定エラー —コンピュータがドライブの種類を識別できません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して（104 ページを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（75 ページを参照）。

ハードディスクドライブコントローラエラー 0 —ハードドライブがコンピュータからのコマンドに 응답しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して（104 ページを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（75 ページを参照）。

ハードディスクドライブエラー —ハードドライブがコンピュータからのコマンドに 응답しません。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して（104 ページを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（75 ページを参照）。

ハードディスクドライブ読み取りエラー —ハードドライブに問題がある可能性があります。コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを取り外して（104 ページを参照）、コンピュータを CD から起動します。次に、コンピュータをシャットダウンし、ハードドライブを再度取り付けて、コンピュータを再起動します。問題が解決しない場合、別のドライブを取り付けます。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **Hard-Disk Drive** テストを実行します（75 ページを参照）。

起動用メディアを挿入します —オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしています。起動可能 CD を挿入します。

システム情報が間違っています。セットアップユーティリティを実行してください —システム設定情報がハードウェア構成と一致しません。メモリモジュールの取り付け後などにこのメッセージが表示されることがあります。セットアップユーティリティ内の対応するオプションを修正します（133 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照）。

キーボードクロックラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します (75 ページを参照)。

キーボードコントローラエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはマウスに触れないようにします。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **KeyBoard Controller** テストを実行します (75 ページを参照)。

キーボードデータラインエラー — 外付けキーボードを使用している場合は、ケーブル接続を確認します。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Keyboard Controller** テストを実行します (75 ページを参照)。

キーボードスタックキーエラー — 外付けキーボードまたはキーパッドの、ケーブル接続を確認します。コンピュータを再起動し、起動ルーチン中にキーボードまたはキーに触れないようにします。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Stuck Key** テストを実行します (75 ページを参照)。

MEDIA DIRECT では、ライセンスコンテンツにはアクセスできません — Dell MediaDirect では、ライセンスファイルに対するデジタル権限管理 (DRM) 制限を検証できないので、ライセンスファイルを再生できません。86 ページの「Dell MediaDirect の問題」を参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリアドレスラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します (108 ページを参照)。

メモリの割り当てエラー — 実行しようとしているソフトウェアが、オペレーティングシステム、他のアプリケーションプログラム、またはユーティリティとコンフリクトしています。コンピュータをシャットダウンし、30 秒待ってから再起動します。プログラムを再度実行します。エラーメッセージがまだ表示される場合、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリデータラインエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します (108 ページを参照)。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリダブルワードロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します (108 ページを参照)。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ奇数 / 偶数ロジックエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します (108 ページを参照)。

アドレス、読み取り値、期待値におけるメモリ読み書きエラー — メモリモジュールに問題があるか、メモリモジュールが正しく取り付けられていない可能性があります。メモリモジュールを取り付けなおして、必要であれば交換します (108 ページを参照)。

起動デバイスがありません — コンピュータがハードドライブを見つけることができません。ハードドライブが起動デバイスの場合、ドライブが適切に装着されており、起動デバイスとして区分 (パーティション) されているか確認します。

ハードドライブにブートセクターがありません — オペレーティングシステムが壊れている可能性があります。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

タイマーチェック割り込み信号がありません — システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics (診断) プログラムの **System Set** テストを実行します (75 ページを参照)。

メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やり直します — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

オペレーティングシステムが見つかりません —ハードドライブを再インストールします（104 ページの「ハードドライブ」を参照）。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

オプション ROM のチェックサムが違います —オプション ROM に問題があります。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

必要な .DLL ファイルが見つかりません —実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 3 削除したいプログラムを選択します。
- 4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
- 5 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

セクターが見つかりません —オペレーティングシステムがハードドライブ上のセクターを見つけることができません。ハードドライブが不良セクターを持っているか、FAT が破壊されている可能性があります。Windows のエラーチェックユーティリティを実行して、ハードドライブのファイル構造を調べます。手順に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページの「Windows ヘルプとサポートセンター」を参照してください。多くのセクターに障害がある場合、データをバックアップして、ハードドライブを再フォーマットします。

シークエラー —オペレーティングシステムがハードドライブ上の特定のトラックを見つけることができません。

シャットダウンに失敗しました —システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（75 ページを参照）。

内部時計の電力低下 —システム設定が破損しています。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決されない場合、セットアップユーティリティを起動してデータの復元を試みます。それからすぐにプログラムを終了します。133 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。メッセージが再び表示される場合は、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

内部時計が停止しました —システム設定をサポートする予備バッテリーに、再充電が必要である可能性があります。コンピュータをコンセントに接続してバッテリーを充電します。問題が解決しない場合、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

時計が設定されていません。セットアップユーティリティを実行してください —セットアップユーティリティで設定した時刻または日付が内部時計と一致しません。**Date**（日付）および **Time**（時間）オプションの設定を修正します。133 ページの「セットアップユーティリティの使い方」を参照してください。

タイマーチップカウンタ 2 が失敗しました —システム基板上のチップが誤動作している可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Set** テストを実行します（75 ページを参照）。

プロテクトモードで予期せぬ割り込みがありました —キーボードコントローラが誤動作しているか、メモリモジュールの接続に問題がある可能性があります。Dell Diagnostics（診断）プログラムの **System Memory** テストおよび **Keyboard Controller** テストを実行します（75 ページを参照）。

x:¥にアクセスできません。デバイスの準備ができていません — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。

警告： バッテリーが極めて低下しています — バッテリーの充電量が不足しています。バッテリーを交換するか、コンピュータをコンセントに接続します。または、休止状態モード をアクティブにするか、コンピュータをシャットダウンします。

IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。

IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。

デル製の IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルまたは IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

デル製ではない IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 — デルまたは IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

キーボードの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ：** Dell Diagnostics（診断）プログラムまたはセットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

外付けキーボードの問題

 **メモ：** 外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

キーボードケーブルを確認します — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

外付けキーボードを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンして、1 分たってから再度電源を入れます。
- 2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
- 3 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
- 4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。
これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 外付けキーボードを取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 Windows デスクトップで **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** とポイントして、**メモ帳** をクリックします。
- 5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。
内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

キーボードの診断テストを実行します — Dell Diagnostics (診断) プログラムの **PC-AT Compatible Keyboards** テストを実行します (75 ページを参照)。テスト結果によって外付けキーボードの問題であると示された場合、デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

入力時の問題

テンキーパッドを無効にします — 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

フリーズおよびソフトウェアの問題

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータが起動しない

AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

コンピュータの応答が停止した

 **注意** : オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

コンピュータの電源を切ります — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

プログラムの応答が停止するか、プログラムがクラッシュを繰り返す

プログラムを終了します —

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** タブをクリックし、反応しなくなったプログラムを選択します。
- 3 **タスクの終了** をクリックします。

 **メモ** : コンピュータを再起動したときに chkdsk プログラムが実行されることがあります。画面に表示される指示に従ってください。

プログラムのマニュアルを参照します — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。通常、ソフトウェアのインストールの手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

プログラムが以前の Microsoft® Windows® オペレーティングシステム向けに設計されている

プログラム互換性ウィザードを実行します —Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステム環境とは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するように設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 **プログラム互換性ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

画面が青色（ブルースクリーン）になった

コンピュータの電源を切ります —キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ～ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

Dell MediaDirect の問題

DELL MEDIADIRECT ヘルプファイルで情報をチェックします —Dell MediaDirect 画面の下部にある ? アイコンをクリックしてヘルプにアクセスします。

DELL MEDIADIRECT で映画を再生するには、DVD ドライブと DELL DVD PLAYER が必要です —コンピュータと一緒に DVD ドライブを購入した場合、このソフトウェアはすでにインストールされています。

ビデオの品質上の問題 —Use Hardware Acceleration（ハードウェアアクセラレーションを使う）オプションをオフにします。この機能は、DVD や特定タイプのビデオファイルを再生するときに、一部のグラフィックスカードの特別な処理を利用して、プロセッサ要件を軽減します。

一部のメディアファイルを再生できない —Dell MediaDirect では、Windows XP 環境外のメディアファイルへのアクセスが可能であるため、ライセンス付きコンテンツへのアクセスが制限されています。ライセンス付きコンテンツとは、デジタル権限管理（DRM）が適用されるデジタルコンテンツです。Dell MediaDirect 環境では、DRM 制限を検証できないので、ライセンス付きファイルを再生できません。ライセンス付きのミュージックファイルやビデオファイルには、その横に錠のアイコンが付いています。Windows XP 環境でのライセンス付きファイルにはアクセスできます。

暗すぎるシーンや明るすぎるシーンがある映画のカラー設定の調節 —EagleVision をクリックして、ビデオ拡張機能テクノロジーを使用します。この機能により、ビデオコンテンツが検知され、輝度、コントラスト、および彩度の比率が動的に調節されます。



注意：ハードドライブを自発的に再フォーマットした場合は、Dell MediaDirect 機能を再インストールできません。この場合には、デルにご相談ください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

その他のソフトウェアの問題

トラブルシューティング情報については、ソフトウェアのマニュアルを確認するかソフトウェアの製造元に問い合わせます —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。

- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルまたはプログラムをすべて保存してから閉じ、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

コンピュータでスパイウェアをスキャンします —コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウイルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します —すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。75 ページの「Dell Diagnostics（診断）プログラム」を参照してください。

メモリの問題

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メモリ不足を示すメッセージが表示される場合 —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要に応じて、増設メモリを取り付けます（108 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（108 ページの「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（75 ページを参照）。

その他の問題が発生する場合 —

- メモリモジュールを取り付けなおして、お使いのコンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します（108 ページの「メモリ」を参照）。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（108 ページの「メモリ」を参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（75 ページを参照）。

ネットワークの問題

⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

ネットワークケーブルのコネクタを確認します —ネットワークケーブルがコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

ネットワークコネクタのネットワークライトを確認します —ライトが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンしなおします

ネットワークの設定を確認します —ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しくて、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

ExpressCard の問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

EXPRESSCARD をチェックします —ExpressCard が正しくコネクタに挿入されているか確認します。

WINDOWS でカードが認識されているか確認します —Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

デルから購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 —デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

デル以外から購入した EXPRESSCARD に問題がある場合 —ExpressCard 製造元にお問い合わせください。

電源の問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

電源ライトを確認します —電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

 **メモ**：スタンバイモードについては、39 ページの「省電力モード」を参照してください。

バッテリーを充電します —バッテリーが充電されていないことがあります。

- 1 バッテリーを取り付けなおします。
- 2 AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。

 **メモ**：バッテリー駆動時間（バッテリーが電力を蓄える能力のある期間）は、時間の経過によって短くなります。バッテリーの使用頻度および使用状況によって駆動時間が変わるので、コンピュータの寿命がある間でも新しくバッテリーを購入する必要がある場合もあります。

バッテリーステータスライトを確認します —バッテリーステータスライトが橙色に点滅しているか橙色に点灯している場合は、バッテリーの充電が不足しているか、または充電されていません。コンピュータをコンセントに接続します。

バッテリーステータスライトが緑色と橙色に点滅している場合、バッテリーが高温になっていて、充電できません。コンピュータをシャットダウンし、コンピュータをコンセントから抜いて、バッテリーとコンピュータの温度を室温まで下げます。

バッテリーステータスライトが速く橙色に点滅している場合、バッテリーが不良である可能性があります。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

バッテリーの温度を確認してください —バッテリーの温度が 0 °C 以下では、コンピュータは起動しません。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します —AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します —お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電氣的な妨害を除去します —コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

電源のプロパティを調整します — 39 ページの「省電力モード」を参照してください。

メモリモジュールを再度取り付けます — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを取り付けなおします (108 ページの「メモリ」を参照)。

コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、90 W の AC アダプタを使用するように設計されています。

お使いのコンピュータに、他の Dell™ ノートブックコンピュータで使用している 65 W の AC アダプタを使用することはできますが、システムの性能が低下します。65 W の AC アダプタを含む低電力の AC アダプタを使用すると、WARNING (警告) メッセージが表示されることがあります。

プリンタの問題

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ:** プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

プリンタケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタとコンピュータにしっかり接続されているか確認します。

コンセントを確認します — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

WINDOWS でプリンタを検出します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを削除する** をクリックします。
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。パラレルプリンタの場合、**印刷機のポート** を **LPT1: プリンタポート** に設定します。USB プリンタの場合、**印刷機のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

プリンタドライバを再インストールします — 手順については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください

スキャナーの問題

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ:** スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

プリンタのマニュアルを確認します — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、プリンタのマニュアルを参照してください。

スキャナーのマニュアルを確認します — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細に関しては、スキャナーのマニュアルを参照してください。

スキャナーのロックを解除します — スキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます

ケーブルの接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。

お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

スキャナードライバを再インストールします —手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

サウンドおよびスピーカーの問題

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

内蔵スピーカーから音が出ない場合

WINDOWS で音量を調節します —画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

キーボードのショートカットを使用して音量を調節します —<Fn><End> を押して内蔵スピーカーを無効（ミュート）、または再び有効にします。

サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします —93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

外付けスピーカーから音が出ない場合

サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します —スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

WINDOWS のボリュームコントロールを調節します —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します —コンピュータの前面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

電気的な妨害を除去します —コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切り、干渉を調べます。

オーディオドライバを再インストールします —93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します（75 ページを参照）

 **メモ** : MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

ヘッドフォンから音が出ない場合

ヘッドフォンのケーブル接続を確認します —ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（20 ページの「オーディオコネクタ」を参照）。

Windows で音量を調節します —画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあること、ミュートが選択されていないことを確認します。

タッチパッドまたはマウスの問題

タッチパッドの設定を確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を変更してみます。

マウスケーブルを確認します —コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します —

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 マウスを外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 Windows デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

タッチパッドドライバを再インストールします —93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

ビデオおよびディスプレイの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

画面に何も表示されない場合

 **メモ**：お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

バッテリーを確認します —コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消耗されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

コンセントを確認します —電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

AC アダプタを確認します —AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

コンピュータを直接コンセントへ接続します —お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

電源のプロパティを調整します—Windows のヘルプとサポートセンターで **スタンバイ** というキーワードを検索します。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページを参照してください。

画面モードを切り替えます—コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

画面が見づらい場合

輝度を調節します—<Fn> と上または下矢印キーを押します。

外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します—外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

電気的な妨害を除去します—コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

コンピュータの向きを変えます—画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

Windows のディスプレイ設定を調節します—

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 変更したいエリアをクリックするか、**ディスプレイ** アイコンをクリックします。
- 4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照してください—エラーメッセージが表示される場合、80 ページを参照してください。

画面の一部しか表示されない場合

外付けモニターを接続します—

- 1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
- 2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性あります。デルにお問い合わせください。138 ページの「デルへのお問い合わせ」を参照してください。

ドライバ

ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの Dell コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。

注意：『Drivers and Utilities CD』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも含まれている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに対応していることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を呼び出す** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符 ([!] の付いた黄色い丸) が付いているものがないか確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、ドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要になる場合があります。93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

ドライバおよびユーティリティの再インストール

 **注意** : デルサポートウェブサイト support.jp.dell.com および『Drivers and Utilities CD』では、Dell™ コンピュータに適切なドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を呼び出す** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼働状態にコンピュータを戻します。

Drivers and Utilities CD の使い方

 **メモ:** 『Drivers and Utilities CD』はオプションなので、出荷時にすべてのコンピュータに付属しているわけではありません。

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元を使用しても問題が解決しない場合は、ドライバを『Drivers and Utilities CD』から再インストールしてください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。

ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合は、Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。

- 3 ツールバーの  ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。**Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます** 画面が表示されます。
- 4 **次へ** をクリックします。

CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。

- 5 CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。
コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。

- 6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。

- 7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

インストール ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または  をクリックして展開手順に従い、**readme** ファイルを参照してください。

ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで CD のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

手作業によるドライバの再インストール

 **メモ:** 赤外線センサードライバを再インストールする場合、まずセットアップユーティリティで赤外線センサーを有効にしてから、ドライバのインストールを続行します。93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

- 1 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 インストールするドライバのデバイスのタイプをダブルクリックします（例えば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。

- 5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 一覧または **特定の場所からインストールする (OEM)** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルをコピーしておいた場所を参照します。
- 9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違っ
て設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決
します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングを開始するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** フィールドでハードウェアに関するトラブルシューティングと入力し、次に、矢印をク
リックして検索を始めます。
- 3 **検索の結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの錯
合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

お使いのオペレーティングシステムの復元

次の方法で、お使いのオペレーティングシステムを復元することができます。

- Microsoft® Windows® XP のシステムの復元は、データファイルに影響を与えずに、コン
ピュータを以前の動作状態に戻します。データファイルを保護しながら、オペレーティングシ
ステムを復元する最初の解決策として、システムの復元を使用してください。
- Symantec による Dell PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入された
ときの状態に戻します。Dell PC の復元はハードドライブのすべてのデータを永久に削除し、コン
ピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションも取り除きます。
システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を
使用してください。
- コンピュータに『オペレーティングシステム CD』が付いていた場合は、この CD を使ってオペ
レーティングシステムを復元できます。ただし、『オペレーティングシステム CD』を使用する
と、ハードドライブ上のデータもすべて削除されます。システムの復元でオペレーティングシ
ステムの問題を解決できなかった場合のみ、この CD を使用してください。

Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方

ハードウェア、ソフトウェア、またはその他のシステム設定を変更したためにコンピュータが正常に
動作しなくなってしまった場合、Microsoft Windows XP オペレーティングシステムのシステムの
復元を使用して、コンピュータを以前の動作状態に復元することができます（データファイルへの影
響はありません）。システムの復元の使い方については、Windows ヘルプとサポートセンターを参
照してください。ヘルプにアクセスするには、13 ページを参照してください。

- 🔍 **注意:** データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりしません。
- 📝 **メモ:** このマニュアルの手順は、Windows のデフォルトビュー用ですので、お使いの Dell™ コンピュータを Windows クラシック表示に設定していると動作しない場合があります。

復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** のタスクをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

コンピュータの以前の動作状態への復元

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバロールバック (93 ページを参照) を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

- 🔍 **注意:** コンピュータを以前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **コンピュータの以前の動作状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
- 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。
復元ポイントの選択 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
- 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。
カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。
- 5 **次へ** をクリックします。
システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元が完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
- 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

最後のシステムの復元を元に戻す

- 🔍 **注意:** 最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。

システムの復元の有効化

200 MB しか空容量のないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合は、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。
- 5 **システムの復元を有効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

Symantec による Dell PC の復元の使い方

 **注意** : Dell PC の復元を使用すると、ハードドライブのすべてのデータは永久に削除され、コンピュータを受け取られてから後にインストールされた全てのアプリケーションやドライバも取り除かれます。PC の復元を使用する前にデータをバックアップしてください。システムの復元でオペレーティングシステムの問題を解決できなかった場合のみ、PC の復元を使用してください。

 **メモ** : Symantec による Dell PC の復元は、一部の国および一部のコンピュータでは使用できない場合があります。

Symantec による Dell PC の復元は、お使いのオペレーティングシステムを復元するための最終手段としてのみ使用してください。PC の復元は、お使いのハードドライブを、コンピュータを購入されたときの状態に戻します。コンピュータを受け取られてから追加されたデータファイルを含むどのようなプログラムやファイルも永久にハードドライブから削除されます。データファイルには、コンピュータ上の文書、表計算、メールメッセージ、デジタル写真、ミュージックファイルなどが含まれます。PC の復元を使用する前にすべてのデータをバックアップしてください。

PC の復元は、以下の手順で実行します。

- 1 コンピュータの電源を入れます。
起動プロセスの間、画面の上部に青色のバーで **www.dell.com** と表示されます。
- 2 青色のバーが表示されたら、すぐに **<Ctrl><F11>** を押します。
<Ctrl><F11> を押すのが遅れた場合は、いったんコンピュータがスタートし終わるのを待って、もう一度再スタートします。

 **注意** : PC の復元をこれ以上進めたくない場合は、次の手順で **キャンセル** をクリックします。

- 3 次の画面で **復元** をクリックします。
- 4 次の画面で **完了** をクリックします。
復元プロセスが完了するまでに、約 **6 ~ 10** 分かかります。
- 5 プロンプトが表示されたら、**終了** をクリックしてコンピュータを再起動します。

 **メモ** : コンピュータを手動でシャットダウンしないでください。**終了** をクリックし、コンピュータを完全に再起動させます。

- 6 プロンプトが表示されたら、**はい** をクリックします。
コンピュータが再起動します。コンピュータは初期の稼働状態に復元されるため、エンドユーザーライセンス契約のようにいちばん初めにコンピュータのスイッチを入れたときと同じ画面が表示されます。

- 7 **次へ** をクリックします。
システムの復元 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 8 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

Dell PC の復元の削除

 **注意** : Dell PC の復元をハードドライブから永久に削除すると、PC の復元ユーティリティがお使いのコンピュータから削除されます。Dell PC の復元を取り除いた後は、それを使ってお使いのコンピュータのオペレーティングシステムを復元することはできません。

PC の復元を使用すると、オペレーティングシステムを、コンピュータをご購入になった時の状態に戻すことができます。ハードドライブのスペースを増やすためであっても、お使いのコンピュータから PC の復元を削除しないことをお勧めします。ハードドライブから PC の復元を削除すると、今後、PC の復元を呼び出すことができず、PC の復元を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを、出荷時の状態に戻すことができなくなります。

PC の復元を削除するには次の手順を実行します。

- 1 コンピュータにローカルのシステム管理者としてログオンします。
- 2 Windows エクスプローラで、**c:\dell\utilities\DSR** に移動します。
- 3 **DSRIRRemv2.exe** ファイルをダブルクリックします。
 -  **メモ** : ローカルのシステム管理者としてログオンしていない場合は、ローカルのシステム管理者としてログオンするようメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックして、ローカルのシステム管理者としてログオンします。
 -  **メモ** : お使いのコンピュータのハードドライブに PC の復元用パーティションがない場合、パーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示されます。**Quit** (終了) をクリックしてください。削除するパーティションがありません。
- 4 **OK** をクリックして、ハードドライブの PC の復元用パーティションを取り除きます。
- 5 確認のメッセージが表示されたら、**はい** をクリックします。
PC の復元用パーティションが削除され、新しくできた使用可能ディスクスペースが、ハードドライブのフリースペースの割り当てに加えられます。
- 6 Windows エクスプローラで **ローカルディスク (C:)** をクリックし、**プロパティ** をクリックして、**空き領域** に追加されたスペースが加えられていることを確認します。
- 7 **終了** をクリックして、**PC の復元の削除** ウィンドウを閉じます。
- 8 コンピュータを再起動します。

オペレーティングシステム CD の使い方

作業を開始する前に

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールすることを検討する前に、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます (93 ページを参照)。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元を使ってオペレーティングシステムを新しいデバイスドライバがインストールされる前の動作状態に戻します。95 ページの「Microsoft Windows XP のシステムの復元の使い方」を参照してください。

Windows XP を再インストールするには、以下のアイテムが必要です。

- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『Drivers and Utilities CD』 (Resource CD と呼ばれます)



メモ: 『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの組み立て時に、工場でインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities CD』を使用して必要なドライバをロードします。コンピュータを注文した地域によって、または、CD を注文したかどうかによって、『Drivers and Utilities CD』と『オペレーティングシステム CD』がシステムに同梱されていない場合があります。

Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項で記載されている手順を順番通りに実行します。

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。



注意: 『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストールのオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP を再インストールしないでください。



注意: Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属されているマニュアルを参照してください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ ロゴが表示されたらすぐに、<F2> を押します。
オペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Windows のデスクトップが表示されるのを待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
- 5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選んでから <Enter> を押します。
- 6 Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。
- 7 **Windows XP セットアップ** 画面が表示されたら、<Enter> を押します。
- 8 画面の指示に従って、再インストールを完了します。
- 9 オペレーティングシステムの再インストールが完了したら、必要に応じて、ドライバとアプリケーションを再インストールします。

部品の拡張および交換

作業を開始する前に

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 「コンピュータの電源を切る」(このページを参照) および「コンピュータ内部の作業を始める前に」(102 ページ参照) の手順をすでに終えていること。
- お使いの Dell™ 『製品情報ガイド』の安全性に関する情報を読んでいること。
- コンポーネントを交換するか別途購入している場合、取り外し手順と逆の順番で取り付けができること。

奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- 細めのプラスチックスクライブ
- フラッシュ BIOS のアップデート (デルサポートサイト support.jp.dell.com を参照)

コンピュータの電源を切る

➡ **注意:** データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
 - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
 - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。

コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



警告：部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。



注意：コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。



注意：ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレーンリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。



注意：コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。

- 1 コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
- 2 コンピュータの電源を切ります。101 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。



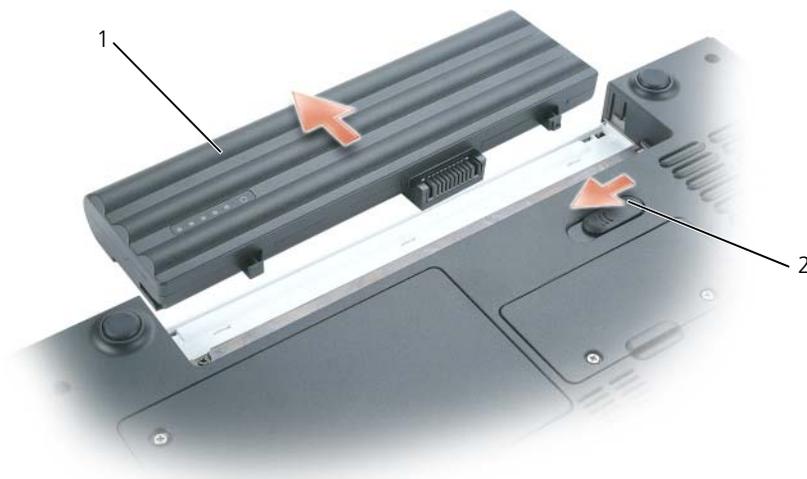
注意：ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に壁のネットワークジャックから外します。

- 3 電話ケーブルとネットワークケーブルをすべてコンピュータから外します。



注意：システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

- 4 コンピュータ、および取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから外します。
- 5 バッテリーを取り外します。
コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、バッテリーベイからバッテリーを引き抜きます。



1 バッテリー 2 バッテリーベイリリースラッチ

- 6 オプティカルドライブが取り付けられている場合は、オプティカルドライブベイから取り外します。バッテリー駆動時間の詳細に関しては、107 ページの「オプティカルドライブ」を参照してください。
- 7 電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- 8 インストールした ExpressCard はすべてスロットから取り外します。66 ページの「ExpressCard またはダミーカードの取り外し」を参照してください。
- 9 メディアメモリカードが取り付けられている場合は、すべて 5-in-1 メモリカードリーダーから取り外します。70 ページの「メディアメモリカードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。
- 10 ディスプレイを閉じ、コンピュータを平らな作業台に裏返します。
- 11 ハードドライブを取り外します。104 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

バッテリー

バッテリーの取り外し

 **警告:** まずモデムを壁の電話プラグから抜いてから、この項の作業を行ってください。

 **注意:** コンピュータがスタンバイモードの状態ではバッテリーを交換する場合は、1分以内に交換を完了してください。それを過ぎるとコンピュータがシャットダウンし、保存していないデータは失われます。

- 1 コンピュータの電源が切れている、またはコンピュータが省電力モードでサスペンドされていることを確認します。
- 2 コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドさせながら、バッテリーをまっすぐ引き抜いてベイから取り外します。

 **メモ:** 6 セルバッテリーはコンピュータの背面にぴったり収まります。9 セルバッテリーはコンピュータの背面から張り出します。

バッテリーの取り付け

 **警告:** 適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。バッテリーはお使いの Dell コンピュータで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。

リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをベイにスライドします。

ハードドライブ

 **警告:** ドライブがまだ熱いうちにハードドライブをコンピュータから取り外す場合は、ハードドライブの金属製のハウジングに手を触れないでください。

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **注意:** データの損失を防ぐため、ハードドライブを取り外す前に必ずコンピュータの電源を切ってください (101 ページを参照)。コンピュータの電源が入っているとき、スタンバイモードのとき、または休止状態モードのときにハードドライブを取り外さないでください。

 **注意:** ハードドライブは大変壊れやすく、わずかにぶついただけでもドライブが損傷を受ける場合があります。

 **メモ:** デルではデル製品以外のハードドライブに対する互換性の保証およびサポートの提供は行っておりません。

 **メモ:** デル製品以外のハードドライブを取り付ける場合は、オペレーティングシステム、ドライバ、およびユーティリティを新しいハードドライブにインストールする必要があります。

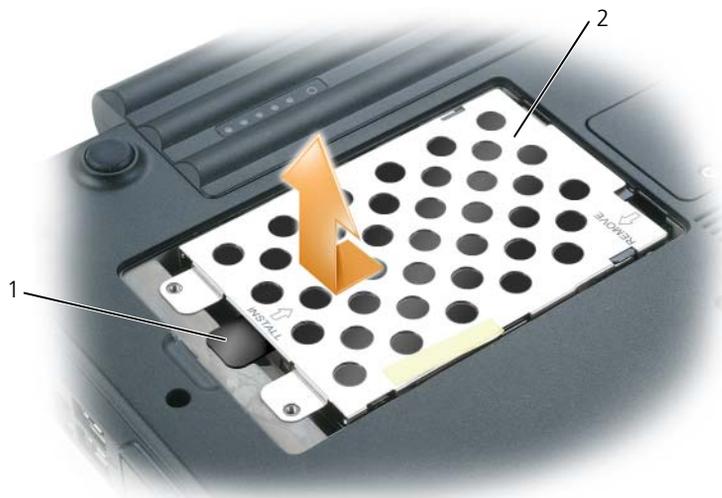
ハードドライブベイのハードドライブを交換するには、次の手順を実行します。

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、ハードドライブカバーの 2 本の拘束ネジを緩めます。



1 ネジ (2)

- ➡ **注意:** ハードドライブをコンピュータに取り付けていないときは、保護用静電気防止パッケージに保管します。『製品情報ガイド』の「静電気障害への対処」を参照してください。
- 3 コンピュータからカバーを取り外し、脇に置いておきます。
 - 4 プルタブを使ってネジ穴の方向にハードドライブをスライドさせ、まっすぐ上に持ち上げてコンピュータから取り外します。

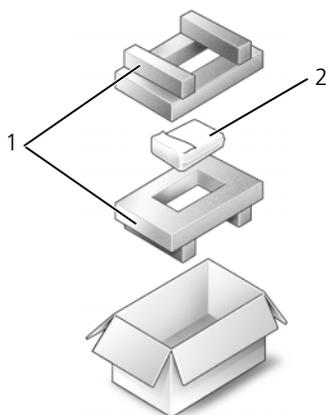


- 1 プルタブ 2 ハードドライブ

- 5 新しいドライブを梱包から取り出します。
ハードドライブを保管するためや配送のために、梱包を保管しておいてください。
- ➡ **注意:** ドライブを所定の位置に挿入するには、均等に力を加えてください。力を加えすぎると、コネクタが損傷する恐れがあります。
- 6 ベイに新しいハードドライブをはめ込み、完全に固定されるまでネジ穴からコネクタの方にスライドさせます。
- 7 カバーとネジを取り付けます。
- 8 オペレーティングシステムをコンピュータにインストールします。95 ページの「お使いのオペレーティングシステムの復元」を参照してください。
- 9 ドライバおよびユーティリティをコンピュータにインストールします。93 ページの「ドライバおよびユーティリティの再インストール」を参照してください。

ハードドライブをデルに返品する場合

ハードドライブをデルに返品する場合は、そのドライブが梱包されていた箱、または同等の発泡スチロール製の梱包材に入れて返送してください。正しく梱包しないと、ハードドライブが運搬中に破損する場合があります。



1 発泡スチロール製の梱包材 2 ハードドライブ

オプティカルドライブ

デバイス固定ネジについて

 **メモ**：モジュールを外れにくい状態にする場合を除いて、デバイス固定ネジを取り付ける必要はありません。

お使いの Dell™ コンピュータは、モジュールベイにオプティカルドライブが搭載されており、デバイス固定ネジも同梱されていますが、ネジはオプティカルドライブには取り付けられておらず、別に梱包されています。モジュールをベイに取り付けるときにデバイス固定ネジを取り付けると、モジュールが外れにくい状態になります。

オプティカルドライブの取り外しと取り付け

 **注意**：ドライブへの損傷を防ぐため、ドライブをコンピュータに取り付けない場合には乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

- 1 コンピュータの電源が入っている状態で、タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックし、取り出すデバイスをクリックして **停止** をクリックします。
- 2 ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
- 3 プラスドライバを使って、コンピュータの底面からデバイス固定ネジを外します。
- 4 プラスドライバをネジ穴に挿入して押し、ドライブをモジュールベイから取り外します。



- 5 ドライブをモジュールベイからまっすぐに引き出します。
- 6 カチッという感触があるまで、新しいドライブをモジュールベイにまっすぐに押し込みます。
- 7 デバイス固定ネジを取り付けます。
- 8 コンピュータの右側を上にし、ディスプレイを開きます。
- 9 オペレーティングシステムは自動的に新しいドライブを認識します。必要に応じて、パスワードを入力してコンピュータのロックを解除します。

メモリ

システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、127 ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

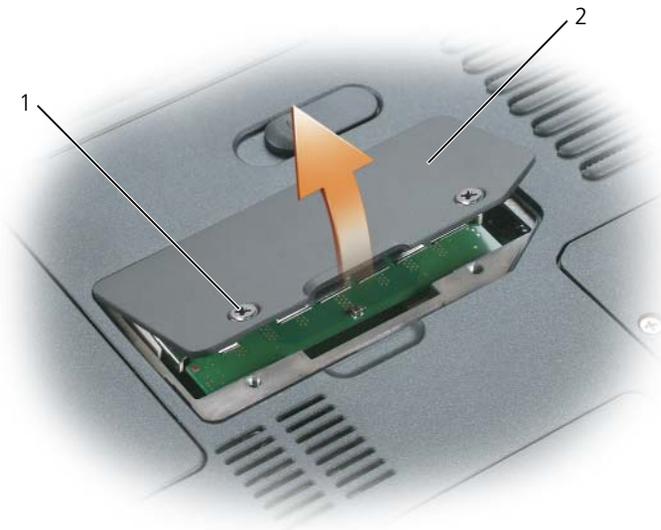
 **メモ:** デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータには、「DIMM A」および「DIMM B」というラベルの付いた 2 つのメモリモジュールコネクタがあります。DIMM A コネクタ（キーボード下にあります）は、出荷時に構成された基本的なメモリモジュールを保持します。増設メモリを注文していない場合、DIMM B コネクタ（メモリモジュールカバー下のコンピュータ下部にあります）は空のままです。通常、メモリを増設する場合、DIMM B コネクタにメモリモジュールを取り付けます。メモリをアップグレードする場合、アップグレードの規模によっては、DIMM A と B の両方のコネクタにメモリを取り付ける必要があります。

DIMM B コネクタへのメモリモジュールの取り付け

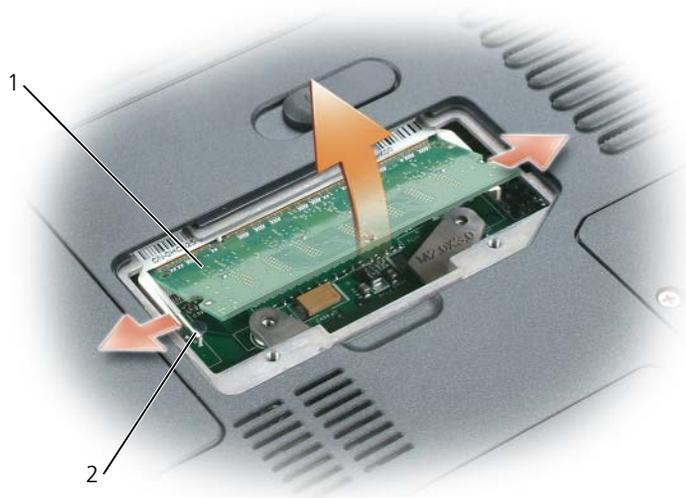
- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
 - 2 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。
-  **メモ:** その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。
- 3 コンピュータを裏返し、メモリモジュールの拘束ネジを緩め、メモリモジュールカバーを取り外します。



1 ネジ (2)

2 メモリモジュールカバー

- ➡ **注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。
- 4 メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。
 - a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
 - b モジュールをコネクタから取り外します。



- 1 メモリモジュール
- 2 固定クリップ
(各コネクタに2つ)

- ➡ **注意:** メモリモジュールを2つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMMA」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは45度の角度で差し込んでください。
- ✍ **メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。
- 5 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
 - a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
 - b モジュールを45度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



1 コネクタスロットのタブ

6 メモリモジュールカバーを交換し、ネジを締めます。

➡ **注意:** カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

7 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

8 ハードドライブを取り付けなおします。104 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

9 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

コネクタ DIMM A へのメモリモジュールの取り付け

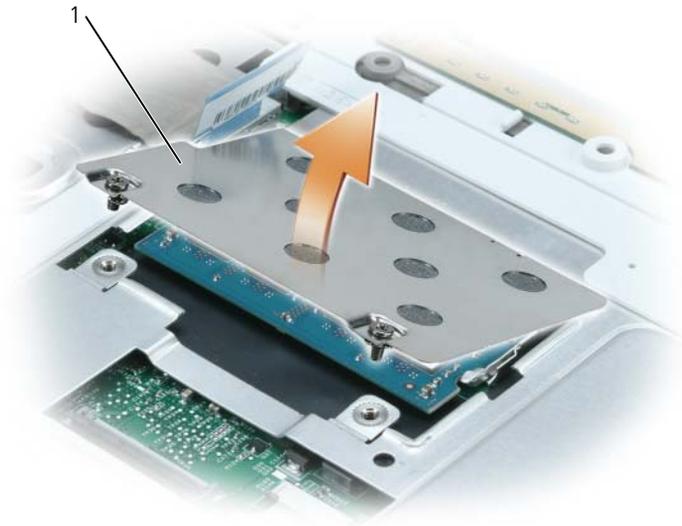
DIMM A のラベルが付いたメモリモジュールコネクタはキーボードの下にあります。

1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。

2 コンピュータ背面にある塗装されていない金属製のコネクタに触れて、身体の静電気を除去します。

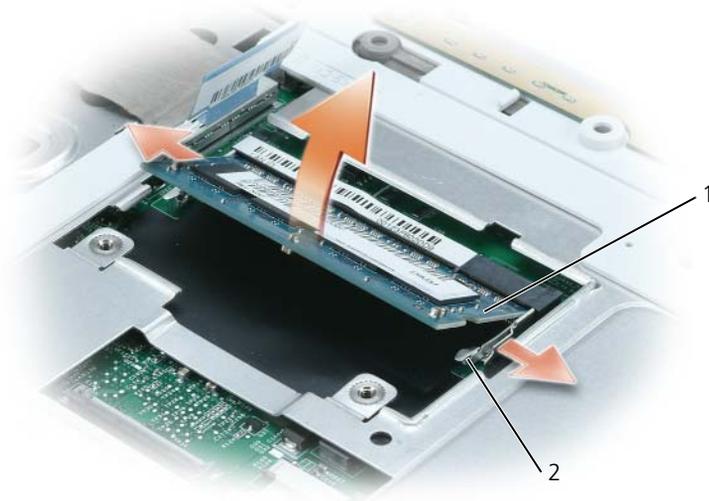
✏ **メモ:** その場を離れた後、コンピュータに戻るときには再び静電気を除去してください。

- 3 ヒンジカバーを取り外します。119 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
 **メモ:** ヒンジを取り外す手順で、バッテリーベイの2つのネジを外したことを確認して下さい。
- 4 キーボードを取り外します。121 ページの「キーボード」を参照してください。
- 5 メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩め、メモリモジュールカバーを取り外します。



1 コネクタスロットのタブ

-  **注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。
- 6 メモリモジュールを交換する場合は、既存のモジュールを取り外します。
 - a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
 - b モジュールをコネクタから取り外します。

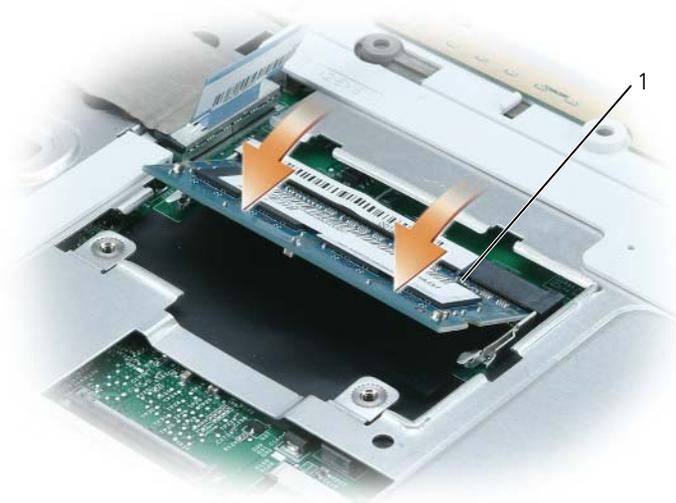


- 1 メモリモジュール 2 固定クリップ
(各コネクタに 2 つ)

➡ **注意:** メモリモジュールを 2 つのコネクタに取り付ける必要がある場合、メモリモジュールは、まず「DIMMA」のラベルの付いているコネクタに取り付け、次に「DIMMB」のラベルの付いているコネクタに取り付けます。コネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールは 45 度の角度で差し込んでください。

✍ **メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

- 7 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。
- a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
 - b モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



1 コネクタスロットのタブ

8 メモリモジュールカバーを交換し、ネジを締めます。

➡ 注意: カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

9 キーボードを取り付けます。121 ページの「キーボード」を参照してください。

10 ヒンジカバーを取り付けます。119 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。

✍ メモ: ヒンジを交換する手順で、バッテリーベイの内側に 2 つのネジを取り付けたことを確認します。

11 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

12 ハードドライブを取り付けなおします。104 ページの「ハードドライブ」を参照してください。

13 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。

コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

モデム (オプション)

コンピュータの注文時にオプションのモデムも注文された場合、モデムは既に取り付けられています。

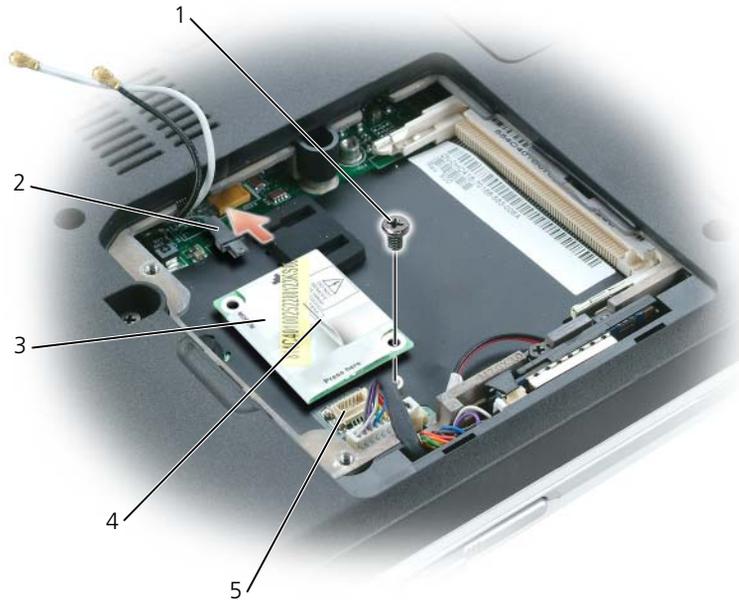
⚠ 警告: 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 コンピュータを裏返し、モデムカバー / ミニ PCI カバー / ワイヤレスカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。



- 1 モデムカバー / ミニ PCI
カバー / ワイヤレスカバー

- 3 既存のモデムを取り外します。
- a モデムをシステム基板に固定しているネジを外して、横に置きます。
 - b 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上的のコネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。



- | | | | | | |
|---|---------|---|------|---|------------|
| 1 | ネジ | 3 | モデム | 5 | システム基板コネクタ |
| 2 | モデムケーブル | 4 | プルタブ | | |

- 4 交換用のモデムを取り付けます。
- a モデムケーブルをモデムに接続します。
- ➡ **注意:** コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。
- b モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。
 - c モデムをシステム基板に固定するネジを取り付けます。
- 5 モデムカバー / ミニ PCI カバー / ワイヤレスカバーを取り付けます。

ワイヤレスミニ PCI カード

お使いのコンピュータで使用するミニ PCI カードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

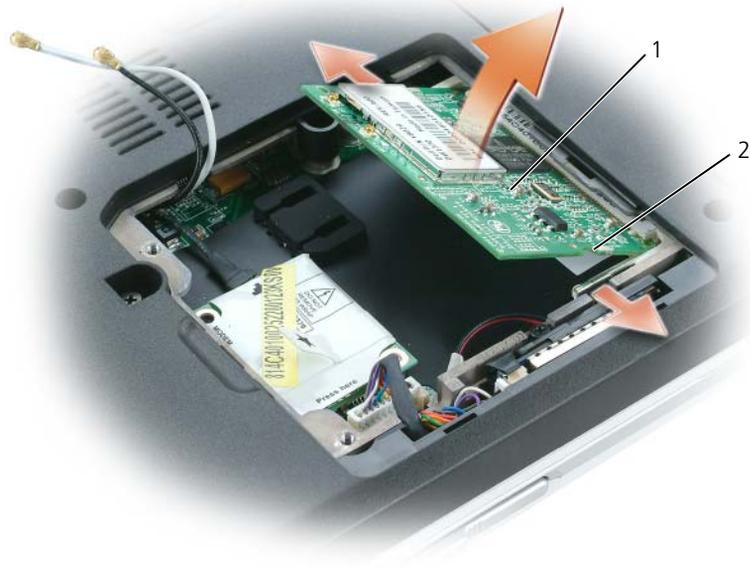
警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 ミニ PCI カードがまだ取り付けられていない場合、手順 3 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。
 - a アンテナケーブルをミニ PCI カードから外します。



1 アンテナケーブル

- b ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製固定タブを広げます。
- c ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。



- 1 ミニ PCI カード 2 金属製固定タブ (2)

➡ **注意:** コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

3 交換用のミニ PCI カードを取り付けます。

➡ **注意:** ミニ PCI カードの損傷を防ぐため、カードを押し込む際にアンテナケーブルがカードの下にないことを確認してください。

- a ミニ PCI カードを 45 度の角度でコネクタに合わせ、カチッという感触が持てるまで、ミニ PCI カードをコネクタに押し込みます。
- b アンテナケーブルをミニ PCI カードに接続します。ケーブルがミニ PCI カード上の小さなコネクタにはまっていることを確認してください。



1 アンテナケーブル

ヒンジカバー

ヒンジカバーの取り外し

 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

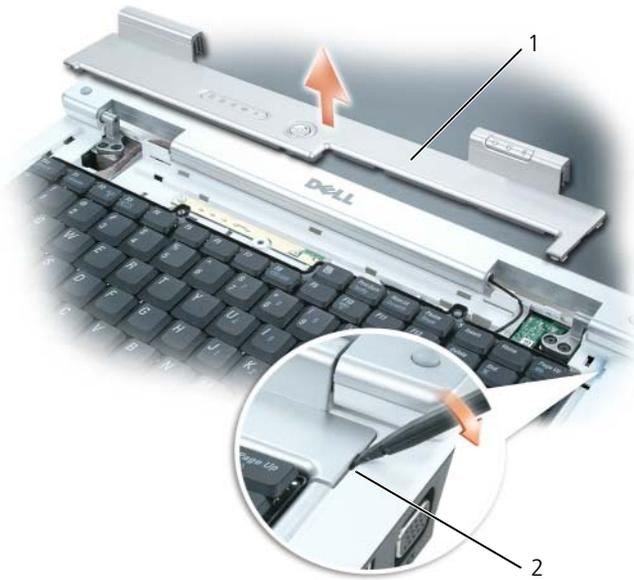
 **注意:** 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

- ➡ **注意:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。
 - ➡ **注意:** ヒンジカバーは壊れやすいので、無理な力を加えると損傷する可能性があります。ヒンジカバーの取り外しには注意してください。
- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作してください。
 - 2 バッテリーを取り外します (104 ページを参照)。
 - 3 バッテリーベイの内側の 2 つのネジを外します。



1 ネジ (2)

- 4 コンピュータの右側を上にしてディスプレイを約 180 度開き、作業面に対して平らになるようにします。
- ➡ **注意:** ヒンジカバーへの損傷を防ぐため、カバーの両側を同時に持ち上げないでください。
- 5 スクライブをくぼみに挿入し、ヒンジカバーの右側を持ち上げます。



- 1 ヒンジカバー 2 くぼみ

- 6 ヒンジカバーを緩めて持ち上げ、右から左に動かして取り外します。

ヒンジカバーの取り付け

- 1 カバーの左側の縁を所定の場所に差し込みます。
- 2 カバーがカチッと所定の位置に収まるまで、左から右に押し込みます。
- 3 ディスプレイを閉じて、コンピュータを裏返します。
- 4 バッテリーベイの2つのネジを取り付けます。
- 5 バッテリーを取り付けます（104 ページを参照してください）。

キーボード



警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



注意：静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。



注意：システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

キーボードの取り外し

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 ヒンジカバーを取り外します。119 ページの「ヒンジカバー」を参照してください。
- ➡ **注意:** キーボード上のキーキャップは壊れたり、外れたりしやすく、また取り付けに時間がかかります。キーボードの取り外しや取り扱いには注意してください。
- 3 キーボードを持ち上げて少し前方にスライドさせ、キーボードのコネクタが見えるようにします。
- 4 システム基板コネクタのレバーを解除して、システム基板からキーボードケーブルを外します。



- | | | | | | |
|---|-----------|---|----------------|---|--------|
| 1 | キーボード | 3 | キーボードケーブル | 5 | タブ (6) |
| 2 | サイドタブ (2) | 4 | システム基板コネクタのレバー | | |

キーボードの取り付け

 **注意:** キーボードを取り付けるときにパームレストに傷が付かないように、キーボードの正面の端に沿ってある 6 つのタブをパームレストに引っ掛け、キーボードを所定の位置に固定します。

- 1 キーボードケーブルをシステム基板に接続します。
- 2 キーボードの正面の端にそって、パームレストに 6 つのタブを取り付けます。
- 3 システム基板コネクタのレバーを使用してキーボードケーブルを固定します。
- 4 2 つのサイドタブの下にキーボードをはめ込みます。

Bluetooth[®] ワイヤレステクノロジー内蔵カード

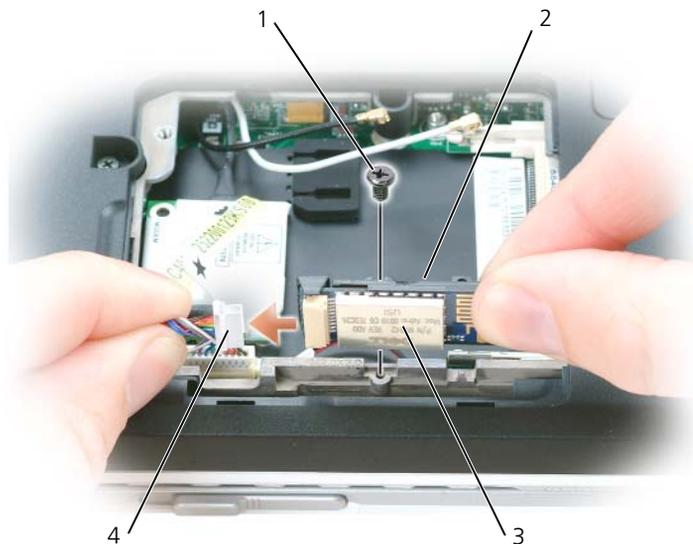
 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **注意:** 静電気放出を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用したり、定期的に塗装されていない金属面（コンピュータの背面にあるコネクタなど）に触れたりして、静電気を除去します。

 **注意:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーのカードを購入された場合、カードはお使いのコンピュータに取り付けてあります。

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 モデムカバー / ミニ PCI カバー / ワイヤレスカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。
- 3 カードキャリアを固定しているネジを外します。
- 4 キャリアを実装部から引き出し、カードをケーブルから外してコンピュータから取り外します。
- 5 カードを交換するには、カードをケーブルに接続します。
- 6 次にキャリアにカードを慎重に挿入し、キャリアを実装部に挿入します。
- 7 カードキャリアを所定の位置に固定しているネジを取り付けます。



- | | |
|-----------|-----------|
| 1 ネジ | 3 カード |
| 2 カードキャリア | 4 カードコネクタ |

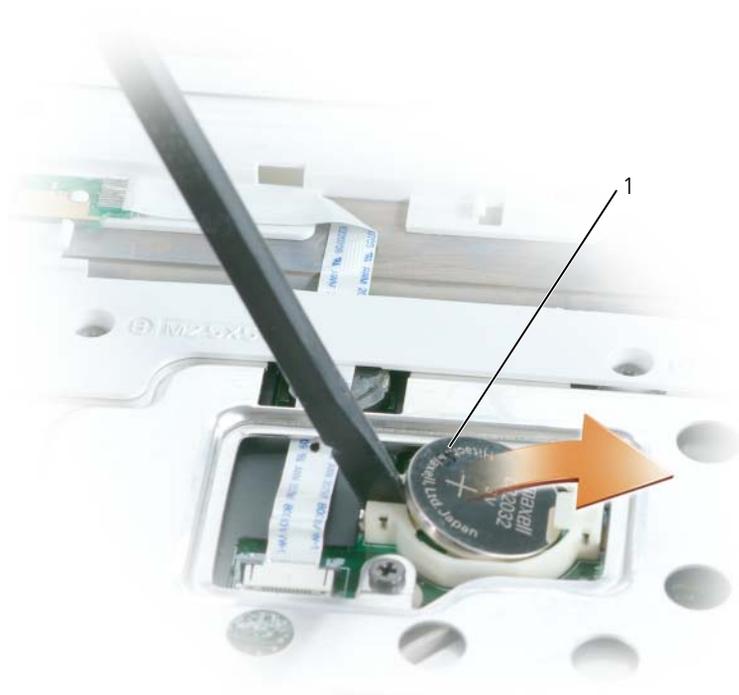
コイン型電池

コイン型電池の取り外し

⚠ 警告: 以下の手順を実行する前に、『製品情報ガイド』の安全にお使いいただくための注意を参照してください。

- ➡ 注意:** 静電気による損傷を避けるため、静電気防止用リストバンドを使用するか、またはコンピュータの背面パネルなど塗装されていない金属面に定期的に触れて、静電気を身体から除去してください。
- ➡ 注意:** システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。

- 1 101 ページの「作業を開始する前に」の手順に従って操作します。
- 2 ヒンジカバーを取り外します（119 ページを参照してください）。
- 3 キーボードを取り外します（121 ページを参照）。
- 4 プラスチックスクライブを使ってバッテリーを持ち上げ、システム基板から取り外します。



1 コイン型電池

コイン型電池の取り付け

コイン型電池を取り付ける場合は、電池の「+」面を上にして円形のソケットに差し込み、所定の位置にはめ込みます。

付録

仕様

プロセッサ

プロセッサの種類	Intel® Pentium® M または Intel Celeron® M
L1 キャッシュ	32 KB I キャッシュ 32 KB D キャッシュ
L2 キャッシュ	2 MB
外付けバスの周波数 (FSB)	400 MHz および 533 MHz

システム情報

システムチップセット	モバイル Intel 915 GM Express
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	デュアルチャネル (2) 64 ビットバス
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	1 MB
グラフィックスバス	内蔵
PCI バス	32 ビット

ExpressCard

ExpressCard コントローラ	Intel ICH6
ExpressCard コネクタ	ExpressCard スロット (54 mm) X 1
サポートするカード	ExpressCard/34 (34 mm) および ExpressCard/54 (54 mm) 3.3 V および 1.5 V
ExpressCard コネクタサイズ	28 ピン

5-in-1 メディアメモ리카ードリーダー

5-in-1 メディアメモ리카ードコント ローラ	Ricoh R5C832
5-in-1 メディアメモ리카ードコネクタ サポートするカード	5-in-1 コンボカードコネクタ メモリースティック メモリースティック Pro SD/SDIO マルチメディアカード xD CD Type I/II および IBM® Microdrive (ExpressCard アダプタ使用)
5-in-1 メディアメモ리카ードコネクタ のサイズ	36.8 x 29.3 x 4.75 mm

メモリ

メモリモジュールコネクタ	SODIMM コネクタ X 2
メモリモジュールの容量	256 MB、512 MB、および 1 GB
メモリのタイプ	1.8 V SODIMM DDR 2
最小メモリ	256 MB
最大搭載メモリ	2 GB

ポートとコネクタ

オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
IEEE 1394a	4 ピンシリアルコネクタ
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
S ビデオ TV 出力	7 ピンミニ DIN コネクタ
USB	4 ピン USB 2.0 対応コネクタ X 4
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)

通信

モデム：

タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内蔵 HDA（ハイデフィニッションオーディオ）バス

ネットワークアダプタ システム基板にある 10/100 Ethernet LAN

ワイヤレス 内蔵ミニ PCI Wi-Fi および Bluetooth®
ワイヤレステクノロジーをサポート

ビデオ

ビデオタイプ：	システム基板内蔵
ビデオコントローラ	Intel® グラフィックスメディアアクセラレータ（GMA）900
ビデオメモリ	最大 64 MB までの共有メモリ
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	NTSC/PAL

オーディオ

オーディオタイプ	HDA（高品質オーディオ）バス
オーディオコントローラ	Sigmatel STAC9200
ステレオ変換	24 ビット（デジタル変換、アナログ変換）
インタフェース：	
内蔵	HDA（ハイデフィニッションオーディオ）バス
外付け	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカー	4 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	1 W チャンネル（4Ω）
ボリュームコントロール	キーボードショートカット、プログラムメニュー、メディアコントロールボタン

ディスプレイ

タイプ (アクティブマトリックス TFT) 14.1 インチ WXGA

寸法 :

縦幅	206 mm
横幅	320 mm
対角線	357.74 mm

最大解像度 :

WXGA 1280 × 800、262,144 色

リフレッシュレート

60 Hz

動作角度

0° (閉じた状態) ~ 180°

可視角度 :

水平方向 ±40° (WXGA) 標準

垂直方向 +15°/-30° (WXGA)

ピクセルピッチ :

WXGA 0.237 mm

コントロール

輝度はショートカットキーによって調節可能

キーボード

キー数

87 (アメリカ、カナダ)、88 (ヨーロッパ)、91 (日本)

レイアウト

QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド

X/Y 位置解像度

(グラフィックステーブルモード) 240 cpi

寸法 :

横幅 73.0 mm (センサー感知領域)

縦幅 42.9 mm の長方形

バッテリー

タイプ	9セルの「スマート」リチウムイオン 6セルの「スマート」リチウムイオン
寸法：	
長さ	60.1 mm (9セル) 49 mm (6セル)
縦幅	24 mm
横幅	206.8 mm
重量	0.48 kg (9セル) 0.32 kg (6セル)
電圧	11.1 VDC
充電時間 (概算)：	
電源が切れている場合	2 時間
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。88 ページの「電源の問題」を参照してください。 バッテリーの動作時間の詳細に関しては、43 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
寿命 (概算)	500 サイクル (充電 / 放電)
温度範囲：	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C
コイン型電池	CR-2032

AC アダプタ

入力電圧	90 ~ 264 VAC
入力電流 (最大)	1.5 A
入力周波数	47 ~ 63 Hz
出力電流	4.34 A (4 秒パルスするとき最大)、 3.34 A (継続)
出力電力	65 W
定格出力電圧	19.5 +/-1.0 VDC
寸法：	
縦幅	28.2 mm
横幅	57.9 mm

AC アダプタ (続き)

長さ	137.2 mm
重量 (ケーブル含む)	0.4 kg
温度範囲 :	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

サイズと重量

縦幅	38.6 mm
横幅	330 mm
長さ	243 mm
重量 (6 セルバッテリー) :	2.5 kg

環境

温度範囲 :

動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

相対湿度 (最大) :

動作時	10 ~ 90 % (結露しないこと)
保管時	5 ~ 95 % (結露しないこと)

最大振動 (ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用したとき) :

動作時	0.66 GRMS
保管時	1.3 GRMS

最大衝撃 (ヘッド固定位置のハードドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき) :

動作時	122 G
保管時	163 G

高度 (最大) :

動作時	-15.2 ~ 3,048 m
保管時	-15.2 ~ 10,668 m

セットアップユーティリティの使い方

概要



メモ: セットアップユーティリティで使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。オペレーティングシステムの設定機能の詳細に関しては、Windows ヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプとサポートセンターにアクセスする方法については、13 ページを参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブパスワードの設定
- 電源管理設定
- 起動（スタートアップ）設定および画面設定
- ドッキングデバイス設定
- ワイヤレスコントロール設定



注意: 熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

セットアップ画面の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

セットアップ画面

セットアップ画面は、3 つの情報ウィンドウで構成されています。左側のウィンドウには、管理項目がサブカテゴリーを内に含む状態で表示されます。項目（**System**、**Onboard Devices**、**Video** など）を選択（ハイライト表示）して <Enter> を押すと、関連するサブ項目を表示または非表示にできます。右側のウィンドウには、左側のウィンドウで選択されている項目またはサブ項目に関する情報が表示されます。

下部のウィンドウに、キー操作でセットアップユーティリティを制御する方法が示されます。これらのキーを使用して、項目の選択、その設定の変更、セットアップユーティリティの終了などの操作をします。

通常使用するオプション

特定のオプションでは、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

 **メモ**：一回のみ起動順序を変更するには、134 ページの「一回のみの起動の実行」を参照してください。

Boot Order ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **Diskette Drive**
- **Internal HDD**
- **USB Storage Device**
- **CD/DVD/CD-RW drive**
- **Modular bay HDD**

 **メモ**：前に番号が付いているデバイスだけが起動可能です。

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動デバイスを制御するには、上矢印キーまたは下矢印キーを押してデバイスを選び（ハイライト表示）ます。これでデバイスを有効または無効にしたり、一覧の順序を変更したりできます。

- デバイスを有効または無効にするには、アイテムをハイライト表示して、スペースキーを押します。有効なアイテムは前に番号が付いており、無効にされたアイテムは前に番号が付いていません。
- リスト内のデバイスの順序を変更するには、デバイスをハイライト表示し、<u> を押してデバイスをリストの上部に移動するか、または <d> を押してリストの下部に移動します。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

一回のみの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある **Dell Diagnostics**（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

- 1 **スタート** メニューから、コンピュータをシャットダウンします。
- 2 コンピュータをコンセントに接続します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。DELL ロゴが表示されたら、すぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて **Windows** のロゴが表示されたら、**Windows** のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。
- 4 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。
コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

コンピュータ追跡ソフトウェア

コンピュータ追跡ソフトウェアは、コンピュータを紛失したり盗難に遭った場合に、コンピュータの位置を突き止めることができます。このソフトウェアはコンピュータにプリインストールされている場合もありますが、そうでない場合は www.dell.com/jp から購入することができます。追跡ソフトウェアを使用するには、必要に応じて、セットアップユーティリティ (BIOS) でこの設定を有効にします。セットアップユーティリティにアクセスするには、コンピュータを起動して、青い DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。

ノートブックコンピュータを携帯するときは

コンピュータの識別

- コンピュータにネームタグまたはビジネスカードを取り付けます。
- サービスタグをメモして、コンピュータやキャリングケースとは別の安全な場所に保管します。コンピュータを紛失したり盗難に遭ったりした場合、警察等の公的機関およびデルに連絡する際に、このサービスタグをお知らせください。
- Microsoft® Windows® デスクトップに、**PC の所有者** というファイルを作成します。名前、住所、および電話番号などの情報をこのファイルに記入しておきます。
- クレジットカード会社に問い合わせ、ID タグコードを発行しているかを確認します。

コンピュータの梱包

- コンピュータに取り付けられているすべての外付けデバイスを取り外して、安全な場所に保管します。
- コンピュータをなるべく軽くするため、モジュールベイにあるすべてのデバイスを取り外して、Dell TravelLite™ モジュールを取り付けます。
- メインバッテリーおよび携帯するすべての予備バッテリーをフル充電します。
- コンピュータをシャットダウンします。
- AC アダプタを取り外します。



注意: ディスプレイを閉じる際に、キーボードまたはパームレスト上に物が残っているとディスプレイに損傷を与える恐れがあります。

- ペーパークリップ、ペン、および紙などの物をキーボードまたはパームレスト上から取り除いた後、ディスプレイを閉じます。
- コンピュータとアクセサリを一緒に入れる場合は、オプションの Dell™ キャリングケースをご利用ください。
- 荷造りの際、コンピュータをシェービングクリームやコロン、香水、食べ物などと一緒に入れないでください。



注意: 低温の環境から暖かいところに、または高温の環境から涼しいところにコンピュータを移動する場合は、1 時間程度室温にならしてから電源を入れてください。

- コンピュータ、バッテリー、およびハードドライブは、直射日光、汚れ、ほこり、液体などから保護し、極端に高温や低温になる場所を避けてください。
- コンピュータは、車のトランクまたは飛行機の手荷物入れの中で動かないように梱包してください。

携帯中のヒントとアドバイス

- ➡ **注意:** データ損失を防ぐために光学ドライブを使用している間は、コンピュータを動かさないでください。
- ➡ **注意:** コンピュータを荷物として預けないでください。
 - バッテリーの動作時間を最大にするために、ワイヤレスアクティビティを無効にしてみます。ワイヤレスアクティビティを無効にするには、<Fn><F2> を押します。
 - バッテリーの動作時間を最大にするために、電力の管理のオプション設定を変更してみます。37 ページの「電力の管理」を参照してください。
 - 海外にコンピュータを携帯する場合、通関での処理を早めるために所有や使用权を証明する書類（会社所有のコンピュータの場合）を所持します。訪問予定国の通関規則を調べた上で、自国政府から国際通行許可証（商品パスポートとも呼ばれます）を取得するようお勧めします。
 - 国によっては電源が頻繁に途絶えることがあります。海外では充電したバッテリーを常に携帯してください。
 - クレジットカード会社の多くは、困ったときに便利なサービスをノートブックコンピュータユーザーに提供していますのでご確認ください。

飛行機の利用

- ➡ **注意:** コンピュータは、金属探知機には絶対に通さないでください。X線探知機に通すか、手検査を依頼してください。
- 手荷物チェックの際に、コンピュータに電源を入れてチェックする場合もあるので、必ず充電されたバッテリーか、ACアダプタと電源ケーブルを携帯してください。
- 飛行機に搭乗する前に、コンピュータの使用が許可されていることを確認してください。航空会社によっては、飛行中の電子機器の使用を禁止している場合があります。すべての航空会社が離着陸の際の使用を禁止しています。

コンピュータを紛失するか、盗難された場合

- 警察に、コンピュータの紛失または盗難を届け出ます。コンピュータの説明をする際に、サービスタグをお知らせください。届け出番号などをもらったら控えておきます。できれば、対応した担当者名も尋ねておきます。
- 📄 **メモ:** コンピュータを紛失した場所または盗難された場所を覚えている場合、その地域の警察に届け出ます。覚えていない場合は、現在住んでいる地域の警察に届け出てください。
- コンピュータが会社所有の場合は、会社の担当部署へ連絡します。
- デルカスタマーサービスに、コンピュータの紛失を届け出ます。コンピュータのサービスタグ、警察への届け出番号、コンピュータの紛失を届け出た警察の名称、住所、電話番号をお知らせください。できれば、担当者名もお知らせください。

デルのカスタマーサービス担当者は、コンピュータのサービスタグをもとに、コンピュータを紛失または盗難に遭ったコンピュータとして登録します。連絡されたサービスタグを使ってデルテクニカルサポートに連絡した人物がいた場合、そのコンピュータは自動的に紛失または盗難に遭ったものと認識されます。担当者は連絡してきた人物の電話番号と住所の照会を行います。その後、デルは紛失または盗難に遭ったコンピュータについて警察に連絡を取ります。

コンピュータのクリーニング

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

コンピュータ、キーボード、およびディスプレイ

 **警告**：コンピュータをクリーニングする前に、コンピュータのプラグをコンセントから外し、取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。コンピュータのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。

- 圧縮エアースプレーを使って、キーボード上のキーの間などにあるゴミを取り除き、ディスプレイの埃や糸くずを取り除きます。
-  **注意**：コンピュータやディスプレイへの損傷を防ぐため、ディスプレイに直接クリーナーをスプレーしないでください。ディスプレイ専用のクリーニング用品のみお使いいただき、その製品に付属している手順書に従ってください。
- 糸くずでない柔らかい布を水またはディスプレイ専用クリーナーで湿らせます。アルコールやアンモニアベースのクリーナーは使用しないでください。ディスプレイの中心から端に向かって丁寧に拭き取り、ディスプレイの汚れや指紋を取り除きます。力を入れ過ぎないでください。
- 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、コンピュータとキーボードを拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

タッチパッド

- 1 シャットダウンして、コンピュータの電源を切ります。101 ページの「コンピュータの電源を切る」を参照してください。
- 2 コンピュータに取り付けられているすべてのデバイスを取り外して、コンセントから抜きます。
- 3 取り付けられているすべてのバッテリーを取り外します。104 ページの「バッテリー」を参照してください。
- 4 水で湿らせた柔らかく糸くずの出ない布で、タッチパッドの表面をそっと拭きます。布から水がにじみ出てタッチパッドやパームレストにしみ込まないようにしてください。

フロッピードライブ

 **注意**：綿棒でドライブヘッドを拭かないでください。ヘッドの位置がずれてドライブが動作しなくなることがあります。

市販のクリーニングキットでフロッピードライブをクリーニングします。これらのキットには、通常の使用によって付いたドライブヘッドの汚れを落とすように前処理されたフロッピーが入っています。

CD と DVD

 **注意**：CD/DVD ドライブのレンズの手入れには、必ず圧縮空気を使用して、圧縮空気に付属しているマニュアルに従ってください。ドライブのレンズには絶対に触れないでください。

CD や DVD がスキップしたり、音質や画質が低下したりする場合、ディスクを掃除します。

- 1 ディスクの外側の縁を持ちます。中心の穴の縁にも触ることができません。

 **注意**：円を描くようにディスクを拭くと、ディスク表面に傷を付ける恐れがあります。

- 2 柔らかく、糸くずの出ない布でディスクの裏側（ラベルのない側）を中央から外側の縁に向かって放射状にそっと拭きます。

頑固な汚れは、水、または水と刺激性の少ない石鹼の希釈溶液で試してください。ディスクの汚れを落とし、ほこりや指紋、ひっかき傷などからディスクを保護する市販のディスククリーナーもあります。CD 用のクリーナーは DVD にも使用できます。

Macrovision 製品通知

この製品には、米国特許権および知的所有権によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。本製品の著作権保護テクノロジーは Macrovision に使用権限があり、同社の許可がない限り、家庭内および限定的な表示にのみ使用することを目的としています。リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- www.dell.com/jp
- support.jp.dell.com（テクニカルサポート）
- premier.dell.co.jp/premier/（教育機関、行政機関、医療機関、および中企業 / 大企業のカスタマー、ならびにプレミア、プラチナ、およびゴールドカスタマーのためのテクニカルサポート）

メモ：一部の国では、別に表示されている電話番号で Dell XPS ノートブックコンピュータ専用のテクニカルサポートをご利用いただけます。XPS ノートブックコンピュータ専用の電話番号が表示されていない場合は、表示されているテクニカルサポートの番号でデルに電話をかけると、担当者に転送されます。

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の E- メールアドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（都市）国際電話アクセスコード
国番号
 市外局番

部署名またはサービス地域、
ウェブサイトおよび E-メールアドレス

市内番号
フリーダイヤル

日本（総機）

国際電話アクセスコード：**001**

国番号：**81**

市外局番：**44**

ウェブサイト：**support.jp.dell.com**

テクニカルサポート（Dimension および Inspiron）
日本国外のテクニカルサポート（Dimension および
Inspiron）

フリーダイヤル：0120-198-226

81-44-520-1435

Fax 情報サービス

044-556-3490

24 時間納期情報案内サービス

044-556-3801

カスタマーケア

044-556-4240

ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）

044-556-1465

法人営業本部（従業員数 400 人以上）

044-556-3433

エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）

044-556-3430

官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス

044-556-1469

デルグローバルジャパン

044-556-3469

個人のお客様

044-556-1760

代表

044-556-4300

用語集

この用語集に収録されている用語は、情報の目的として提供されています。お使いのコンピュータに搭載されている機能についての記載がない場合もあります。

A

AC — alternating current (交流) — コンピュータの AC アダプタ電源ケーブルをコンセントに差し込むと流れる電気の様式です。

ACPI — advanced configuration and power interface — Microsoft® Windows® オペレーティングシステムがコンピュータをスタンバイモードや休止状態モードにして、コンピュータに接続されている各デバイスに供給される電力量を節約できる電源管理規格です。

AGP — accelerated graphics port — システムメモリをビデオ関連の処理に使用できるようにする専用のグラフィックスポートです。AGP を使うとビデオ回路とコンピュータメモリ間のインタフェースが高速化され、True-Color のスムーズなビデオイメージを伝送できます。

APR — advanced port replicator — ノートブックコンピュータでモニター、キーボード、マウス、およびその他のデバイスを便利に使えるようにするドッキングデバイスです。

ASF — alert standards format — ハードウェアおよびソフトウェアの警告を管理コンソールに報告する方式を定義する標準です。ASF は、どのプラットフォームやオペレーティングシステムにも対応できるように設計されています。

B

BIOS — basic input/output system (基本入出力システム) — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つプログラム (またはユーティリティ) です。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。セットアップユーティリティとも呼ばれます。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー — 短距離内 (9メートル) にある複数のネットワークデバイスが、お互いを自動的に認識できるようにするワイヤレステクノロジー標準です。

bps — ビット / 秒 — データの転送速度を計測する標準単位です。

BTU — British thermal unit (英国熱量単位) — 熱量の単位です。

C

C — セルシウス (摂氏) — 温度の単位で、水の氷点を 0 度、沸点を 100 度としています。

CD — compact disc — 光学形式のストレージメディアです。通常、音楽やソフトウェアプログラムに使用されます。

CD ドライブ — 光学技術を使用してデータを CD から読み取るドライブです。

CD プレーヤー — 音楽 CD を再生するソフトウェアです。CD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して CD を再生することができます。

CD-R — CD recordable — 書き込み可能な CD です。CD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

CD-RW — CD rewritable — 書き換え可能な CD です。データを CD-RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。

CD-RW drive — CD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込むことができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

CD-RW/DVD ドライブ — コンボドライブとも呼ばれます。CD および DVD のデータを読み取ったり、CD-RW（書き換え可能な CD）ディスクや CD-R（書き込み可能な CD）ディスクにデータを書き込んだりすることができるドライブです。CD-RW ディスクには、繰り返し書き込むことが可能ですが、CD-R ディスクには一度しか書き込むことができません。

COA — Certificate of Authenticity（実物証明書） — Windows の英数文字のコードで、コンピュータのラベルに印刷されています。**Product Key**（プロダクトキー）や **Product ID**（プロダクト ID）とも呼ばれます。

CRIMM — continuity rambus in-line memory module（連続式 RIMM） — メモリチップのない特別なモジュールで、使用されていない RIMM スロットに取り付けます。

D

DDR SDRAM — double-data-rate SDRAM（ダブルデータ速度 SDRAM） — データバーストサイクルを倍にして、システムの性能を向上させる SDRAM の一種です。

DDR2 SDRAM — double-data-rate 2 SDRAM（ダブルデータ速度 2 SDRAM） — 4 ビットのプリフェッチおよびその他のアーキテクチャの変更を使用して、メモリスピードを 400 MHz 以上に向上させる、DDR SDRAM の一種です。

デバイスドライバ — ドライバを参照してください。

DIMM — Dual Inline Memory Module（デュアルインラインメモリモジュール）の略です。

DIN コネクタ — 丸い、6 ピンのコネクタで、DIN（ドイツ工業規格）に準拠しています。通常は、PS/2 キーボードまたはマウスケーブルのコネクタを接続するために使用します。

DMA — direct memory access — DMA チャネルを使うと、ある種の RAM とデバイス間でのデータ転送がプロセッサを介さずに行えるようになります。

DMTF — Distributed Management Task Force — 分散型デスクトップ、ネットワーク、企業、およびインターネット環境における管理基準を開発するハードウェアおよびソフトウェア会社の団体です。

DRAM — dynamic random-access memory — コンデンサが搭載された集積回路に情報を保存するメモリです。

DSL — Digital Subscriber Line（デジタル加入者回線） — アナログ電話回線を介して高速インターネット接続を常時提供するテクノロジーです。

DVD — digital versatile disc — 通常は、映画を録画するために使われるディスクです。DVD ドライブはほとんどの CD を読み取ることができます。

DVD ドライブ — DVD および CD から、光学技術を使用してデータを読み取るドライブです。

DVD プレーヤー — DVD 映画を鑑賞するとき使用するソフトウェアです。DVD プレーヤーのウィンドウに表示されるボタンを使用して映画を鑑賞することができます。

DVD-R — DVD recordable — 記録可能な DVD です。DVD-R にはデータを一度だけ記録できます。一度記録したデータは消去したり、上書きしたりすることはできません。

DVD+RW — DVD rewritable — 書き換え可能な DVD です。データを DVD+RW ディスクに書き込んだ後、削除したり上書きしたりできます（再書き込み）。（DVD+RW テクノロジーは DVD-RW テクノロジーとは異なります。）

DVD+RW ドライブ — DVD とほとんどの CD メディアを読み取ることができるドライブです。DVD+RW（書き換え可能な DVD）ディスクに書き込むこともできます。

DVI — digital video interface（デジタルビデオインタフェース） — コンピュータとデジタルビデオディスプレイ間のデジタル送信の標準です。

E

ECC — error checking and correction (エラーチェックおよび訂正) — メモリにデータを書き込んだり、メモリからデータを読み取る際に、データの正確さを検査する特別な回路を搭載しているメモリです。

ECP — extended capabilities port — 改良された双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの拡張仕様の1つです。EPPに似て、ECPはデータ転送にダイレクトメモリアクセスを使用して性能を向上させます。

EIDE — enhanced integrated device electronics — ハードドライブとCDドライブ用のIDEインタフェースの改良バージョンです。

EMI — electromagnetic interference (電磁波障害) — 電磁放射線によって引き起こされる電気障害です。

ENERGY STAR[®] — Environmental Protection Agency (米国環境保護局) が規定する、全体的な電力の消費量を減らす要件です。

EPP — enhanced parallel port — 双方向のデータ転送を提供するパラレルコネクタの仕様の1つです。

ESD — electrostatic discharge (静電気放出) — 静電気の急速な放電のことです。ESDは、コンピュータや通信機器に使われている集積回路を損傷することがあります。

ExpressCard — PCMCIA規格に準拠している取り外し可能なI/Oカードです。ExpressCardの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。ExpressCardは、PCI ExpressとUSB 2.0の両規格をサポートします。

F

FCC — Federal Communications Commission (米国連邦通信委員会) — コンピュータやその他の電子機器が放出する放射線の量を規制する通信関連の条例を執行するアメリカの機関です。

FSB — front side bus — マイクロプロセッサとRAM間のデータ経路と物理的なインタフェースです。

FTP — file transfer protocol (ファイル転送プロトコル) — インターネットに接続されたコンピュータ間で、ファイルを交換するための標準インターネットプロトコルです。

G

G — グラビティ — 重力の計測単位です。

GB — ギガバイト — データの単位です。1 GBは1024 MB (1,073,741,824 バイト) です。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000,000 バイトに切り捨てられることもあります。

GHz — ギガヘルツ — 周波数の計測単位です。1 GHzは10億 Hz または1,000 MHzです。通常、コンピュータのプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度はGHz単位で計測されます。

GUI — graphical user interface — メニュー、ウィンドウ、およびアイコンでユーザーと相互にやり取りするソフトウェアです。Windowsオペレーティングシステムで動作するほとんどのプログラムはGUIです。

H

HTML — hypertext markup language — インターネットブラウザ上で表示できるよう、インターネットのウェブページに挿入されるコードセットです。

HTTP — hypertext transfer protocol — インターネットに接続されたコンピュータ間でファイルを交換するためのプロトコルです。

Hz — ヘルツ — 周波数の単位です。1秒間1サイクルで周波数1 Hzです。コンピュータや電子機器では、キロヘルツ (kHz)、メガヘルツ (MHz)、ギガヘルツ (GHz)、またはテラヘルツ (THz) 単位で計測される場合もあります。

I

IC — Industry Canada — 米国での FCC と同様、電子装置からの放射を規制するカナダの規制団体です。

IC — integrated circuit (集積回路) — コンピュータ、オーディオ、およびビデオ装置用に製造された、何百万もの小電子コンポーネントが搭載されている半導体基板、またはチップです。

IDE — integrated device electronics — ハードドライブまたは CD ドライブにコントローラが内蔵されている大容量ストレージデバイス用のインタフェースです。

IEEE 1394 — Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. — コンピュータにデジタルカメラや DVD プレーヤーなどの、**IEEE 1394** 互換デバイスを接続するのに使用される高性能シリアルバスです。

I/O — input/output (入出力) — コンピュータにデータを入力したり、コンピュータからデータを出力する動作、またはデバイスです。キーボードやプリンタは I/O デバイスです。

I/O アドレス — 特定のデバイス (シリアルコネクタ、パラレルコネクタ、または拡張スロットなど) に関連する RAM のアドレスで、プロセッサがデバイスと通信できるようにします。

IrDA — Infrared Data Association — 赤外線通信の国際規格を標準化する団体です。

IRQ — interrupt request (割り込み要求) — デバイスがプロセッサと通信できるように、特定のデバイスに割り当てられた電子的経路です。すべてのデバイス接続に IRQ を割り当てる必要があります。2 つのデバイスに同じ IRQ を割り当てることはできませんが、両方のデバイスを同時に動作させることはできません。

ISP — Internet service provider (インターネットサービスプロバイダ) — ホストサーバーへのアクセスを可能にし、インターネットへの直接接続、E-メールの送受信、およびウェブサイトへのアクセスなどのサービスを提供する会社です。通常、ISP はソフトウェアのパッケージ、ユーザー名、およびアクセス用の電話番号を有料 (月払い) で提供します。

K

Kb — キロビット — データの単位です。1 Kb は、1,024 ビットです。メモリ集積回路の容量の単位です。

KB — キロバイト — データの単位です。1 KB は 1,024 バイトです。または、1,000 バイトとすることもあります。

kHz — キロヘルツ — 1,000 Hz に相当する周波数の単位です。

L

LAN — local area network (ローカルエリアネットワーク) — 狭い範囲にわたるコンピュータネットワークです。LAN は通常、1 棟の建物内や隣接する 2、3 棟の建物内に限定されます。LAN は電話回線や電波を使って他の離れた LAN と接続し、WAN (ワイドエリアネットワーク) を構成できます。

LCD — liquid crystal display (液晶ディスプレイ) — ノートブックコンピュータのディスプレイやフラットパネルディスプレイに用いられる技術です。

LED — light-emitting diode (発光ダイオード) — コンピュータの状態を示す光を発する電子部品です。

LPT — line print terminal — プリンタや他のパラレルデバイスへのパラレルポート接続の指定です。

M

Mb — メガビット — メモリチップ容量の単位です。1 Mb は 1,024 Kb です。

Mbps — メガビット / 秒 — 1,000,000 ビット / 秒です。通常、ネットワークやモデムなどのデータ転送速度の計測単位に使用します。

MB — メガバイト — 1,048,576 バイトに相当するデータストレージの単位です。または、1,024 KB を表します。ハードドライブの記憶領域容量を示す場合に、1,000,000 バイトに切り捨てられて表示されることもあります。

MB/sec — メガバイト / 秒 — 1,000,000 バイト / 秒です。通常、データの転送速度の計測単位に使用します。

MHz — メガヘルツ — 周波数の単位です。1 秒間に 1,000,000 サイクルで 1 MHz です。通常、コンピュータのマイクロプロセッサ、バス、インタフェースの処理速度は MHz 単位で計測されます。

ms — ミリ秒 — 1,000 分の 1 秒に相当する時間の単位です。ストレージデバイスなどのアクセス速度の計測に使用します。

N

NIC — ネットワークアダプタを参照してください。

ns — ナノ秒 — 10 億分の 1 秒に相当する時間の単位です。

NVRAM — nonvolatile random access memory (不揮発性ランダムアクセスメモリ) — コンピュータの電源が切られたり、外部電源が停止した場合にデータを保存するメモリの一種です。NVRAM は、日付、時刻、およびお客様が設定できるその他のセットアップオプションなどのコンピュータ設定情報を維持するのに利用されます。

P

PC カード — PCMCIA 規格に準拠している取り外し可能な I/O カードです。PC カードの一般的なものに、モデムやネットワークアダプタがあります。

PCI — peripheral component interconnect — PCI は、32 ビットおよび 64 ビットのデータ経路をサポートするローカルバスで、プロセッサとビデオ、各種ドライブ、ネットワークなどのデバイス間に高速データ経路を提供します。

PCI Express — プロセッサとそれに取り付けられたデバイスとのデータ転送速度を向上させる、PCI インタフェースの修正版です。PCI Express は、250 MB/秒 ~ 4 GB/秒の速度でデータを転送できます。PCI Express チップセットおよびデバイスが異なる速度で使用できる場合は、動作速度が遅くなります。

PCMCIA — Personal Computer Memory Card International Association — PC カードの規格を協議する国際的組織です。

PIN — personal identification number (個人識別番号) — コンピュータネットワークやその他の安全が保護されているシステムへの不正なアクセスを防ぐために使用される一連の数字や文字です。

PIO — programmed input/output — データバスの一部としてプロセッサを経由した、2 つのデバイス間のデータ転送方法です。

POST — power-on self-test (電源投入時の自己診断) — BIOS が自動的にロードする診断プログラムです。メモリ、ハードドライブ、およびビデオなどのコンピュータの主要コンポーネントに基本的なテストを実行します。POST で問題が検出されなかった場合、コンピュータは起動を続行します。

PS/2 — personal system/2 — PS/2 互換のキーボード、マウス、またはキーパッドを接続するコネクタの一種です。

PXE — pre-boot execution environment — WfM (Wired for Management) 標準で、オペレーティングシステムのないネットワークコンピュータを設定して、リモートで起動できるようにします。

R

RAID — redundant array of independent disks — データの冗長性を提供する方法です。一般的に実装される RAID には RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、および RAID 50 があります。

RAM — random-access memory (ランダムアクセスメモリ) — プログラムの命令やデータを保存するコンピュータの主要な一時記憶領域です。RAM に保存されている情報は、コンピュータをシャットダウンすると失われます。

readme ファイル — ソフトウェアのパッケージまたはハードウェア製品に添付されているテキストファイルです。通常、readme ファイルには、インストール手順、新しく付け加えられた機能の説明、マニュアルに記載されていない修正などが記載されています。

RFI — radio frequency interference (無線電波障害) — 10 kHz から 100,000 MHz までの範囲の通常の無線周波数で発生する障害です。無線周波は電磁周波数帯域の低域に属し、赤外線や光などの高周波よりも障害を起こしやすい傾向があります。

ROM — read-only memory (読み取り専用メモリ) — コンピュータが削除したり書き込みできないデータやプログラムを保存するメモリです。RAM と異なり、ROM はコンピュータの電源が切れても内容を保持します。コンピュータの動作に不可欠のプログラムで ROM に常駐しているものがいくつかあります。

RPM — revolutions per minute — 1 分間に発生する回転数です。ハードドライブ速度の計測に使用します。

RTC — real time clock (リアルタイムクロック) — システム基板上にあるバッテリーで動く時計で、コンピュータの電源を切った後も、日付と時刻を保持します。

RTCRST — real-time clock reset (リアルタイムクロックリセット) — いくつかのコンピュータに搭載されているシステム基板上のジャンパで、問題が発生した場合のトラブルシューティングに利用できます。

S

SDRAM — synchronous dynamic random-access memory (同期ダイナミックランダムアクセスメモリ) — DRAM のタイプで、プロセッサの最適クロック速度と同期化されています。

S/PDIF — Sony/Philips Digital Interface — ファイルの質が低下する可能性があるアナログ形式に変換せずに、1 つのファイルから別のファイルにオーディオを転送できるオーディオ転送用ファイルフォーマットです。

Strike Zone™ — (コンピュータの電源がオンまたはオフに関わらず) コンピュータが共振ショックを受けた場合、または落下した場合に、制動装置として機能してハードドライブを保護する、プラットフォームベースの強化領域です。

SVGA — super-video graphics array — ビデオカードとコントローラ用のビデオ標準です。SVGA の通常の解像度は 800 × 600 および 1024 × 768 です。

プログラムが表示する色数と解像度は、コンピュータに取り付けられているモニター、ビデオコントローラとドライバ、およびビデオメモリの容量によって異なります。

S ビデオ TV 出力 — テレビまたはデジタルオーディオデバイスをコンピュータに接続するために使われるコネクタです。

SXGA — super-extended graphics array — 1280 × 1024 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

SXGA+ — super-extended graphics array plus — 1400 × 1050 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

T

TAPI — telephony application programming interface — 音声、データ、ファックス、ビデオなどの各種テレフォニーデバイスが Windows のプログラムで使用できるようになります。

U

UMA — unified memory allocation (統合メモリ振り分け) — ビデオに動的に振り分けられるシステムメモリです。

UPS — uninterruptible power supply (無停電電源装置) — 電氣的な障害が起きた場合や、電圧レベルが低下した場合に使用されるバックアップ電源です。UPS を設置すると、電源が切れた場合でも限られた時間コンピュータは動作することができます。通常、UPS システムは、過電流を抑え電圧を調整します。小型の UPS システムで数分間電力を供給するので、コンピュータをシャットダウンすることが可能です。

USB — universal serial bus (ユニバーサルシリアルバス) — USB 互換キーボード、マウス、ジョイスティック、スキャナー、スピーカー、プリンタ、フ

ロードバンドデバイス (DSL およびケーブルモデム)、撮像装置、またはストレージデバイスなどの低速デバイス用ハードウェアインタフェースです。コンピュータの 4 ピンソケットがコンピュータに接続されたマルチポートハブに直接デバイスを接続します。USB デバイスは、コンピュータの電源が入っていても接続したり取り外したりすることができます。また、デイジーチェーン型に接続することもできます。

UTP — unshielded twisted pair (シールドなしツイストペア) — ほとんどの電話回線利用のネットワークやその他の一部のネットワークで利用されているケーブルの種類です。電磁波障害から保護するためにワイヤのペアに金属製の被覆をほどこす代わりに、シールドなしのワイヤのペアがねじられています。

UXGA — ultra extended graphics array — 1600 × 1200 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

V

V — ボルト — 電位または起電力の計測単位です。1 ボルトは、1 アンペアの電流を通する抵抗 1 オームの導線の両端の電位の差です。

W

W — ワット — 電力の計測単位です。1 ワットは 1 ボルトで流れる 1 アンペアの電流を指します。

Wh — ワット時 — バッテリーのおおよその充電容量を表すのに通常使われる単位です。たとえば、66 Wh のバッテリーは 66 W の電力を 1 時間、33 W を 2 時間供給できます。

WXGA — wide-aspect extended graphics array — 1280 × 800 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

X

XGA — extended graphics array — 1024 × 768 までの解像度をサポートするビデオカードやコントローラのビデオ標準です。

Z

ZIF — zero insertion force — コンピュータチップまたはソケットのどちらにもまったく力を加えないで、チップを取り付けまたは取り外しできるソケットやコネクタの一種です。

Zip — 一般的なデータの圧縮フォーマットです。Zip フォーマットで圧縮されているファイルを Zip ファイルといい、通常、ファイル名の拡張子が **.zip** となります。特別な Zip ファイルに自己解凍型ファイルがあり、ファイル名の拡張子は **.exe** となります。自己解凍型ファイルは、ファイルをダブルクリックするだけで自動的に解凍できます。

Zip ドライブ — Iomega Corporation によって開発された大容量のフロッピードライブで、Zip ディスクと呼ばれる 3.5 インチのリムーバルディスクを使用します。Zip ディスクは標準のフロッピーディスクよりもやや大きく約二倍の厚みがあり、100 MB のデータを保持できます。

あ

アンチウイルスソフトウェア — お使いのコンピュータからウイルスを見つけ出して隔離し、検疫して、除去するように設計されたプログラムです。

ウイルス — 嫌がらせ、またはコンピュータのデータを破壊する目的で作られたプログラムです。ウイルスプログラムは、ウイルス感染したディスク、インターネットからダウンロードしたソフトウェア、または E-メールの添付ファイルを経由してコンピュータから別のコンピュータへ感染します。ウイルス感染したプログラムを起動すると、プログラムに潜伏したウイルスも起動します。

一般的なウイルスに、フロッピーディスクのブートセクターに潜伏するブートウイルスがあります。フロッピーディスクを挿入したままコンピュータをシャットダウンすると、次の起動時に、コンピュータはオペレーティングシステムを探すためフロッピーディスクのブートセクターにアクセスします。このアクセスでコンピュータがウイルスに感染します。一度コンピュータがウイルスに感染すると、ブートウイルスは除去されるまで、読み書きされるすべてのフロッピーディスクにウイルスをコピーします。

エクスプレスサービスコード — Dell™ コンピュータのラベルに付いている数字のコードです。デルにお問い合わせの際は、エクスプレスサービスコードをお伝えください。エクスプレスサービスコードが利用できない国もあります。

オプティカルドライブ — CD、DVD、またはDVD+RW から、光学技術を使用してデータを読み書きするドライブです。オプティカルドライブには、CD ドライブ、DVD ドライブ、CD-RW ドライブ、および CD-RW/DVD コンボドライブが含まれます。

オンボード — 通常、コンピュータのシステム基板上に物理的に搭載されているコンポーネントを指します。ビルトインとも呼ばれます。

か

カーソル — キーボード、タッチパッド、またはマウスが次にどこで動作するかを示すディスプレイや画面上の目印です。通常は点滅する棒線かアンダーライン、または小さな矢印で表示されます。

解像度 — プリンタで印刷される画像や、またはモニターに表示される画像がどのくらい鮮明かという度合いです。解像度を高い数値に設定しているほど鮮明です。

書き込み保護 — ファイルやメディアのデータ内容を変更不可に設定することです。書き込み保護を設定しデータを変更または破壊されることのないように保護します。3.5 インチのフロッピーディスクに書き込み保護を設定する場合、書き込み保護設定タブをスライドさせて書き込み不可の位置にします。

拡張カード — コンピュータのシステム基板上の拡張スロットに装着する電子回路基板で、コンピュータの性能を向上させます。ビデオカード、モデムカード、サウンドカードなどがあります。

拡張スロット — 拡張カードを挿入してシステムバスに接続する、システム基板上のコネクタです（コンピュータによって異なる場合もあります）。

拡張ディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。デュアルディスプレイモードとも呼ばれます。

拡張型 PC カード — 拡張型 PC カードは、取り付けの際に PC カードスロットからカードの端が突き出しています。

絵柄 — Windows デスクトップの背景となる模様や絵柄です。壁紙を変更するには Windows コントロールパネルから変更します。また、気に入った絵柄を読み込んで壁紙を作成することができます。

キーの組み合わせ — 複数のキーを同時に押して実行するコマンドです。

起動順序 — コンピュータが起動を試みるデバイスの順序を指定します。

起動ディスク — コンピュータを起動するために使用するディスクです。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。

起動 CD — コンピュータを起動するために使用する CD です。ハードドライブが損傷した場合や、コンピュータがウイルスに感染した場合など、起動 CD または起動ディスクが必要になりますので、常備しておきます。『Drivers and Utilities CD』または『Resource CD』が起動 CD です。

キャッシュ — 特殊な高速ストレージ機構で、メインメモリの予約領域、または独立した高速ストレージデバイスです。キャッシュは、プロセッサのオペレーションスピードを向上させます。

L1 キャッシュ — プロセッサの内部に設置されているプライマリキャッシュ。

L2 キャッシュ — プロセッサに外付けされた、またはプロセッサアーキテクチャに組み込まれたセカンダリキャッシュ。

休止状態モード — メモリ内のすべてをハードドライブ上の予約領域に保存してからコンピュータの電源を切る、省電力モードです。コンピュータを再起動すると、ハードドライブに保存されているメモリ情報が自動的に復元されます。

グラフィックスモード — x 水平ピクセル数 \times y 垂直ピクセル数 \times z 色数で表されるビデオモードです。グラフィックスモードは、どんな形やフォントも表現できます。

クロックスピード — システムバスに接続されているコンピュータコンポーネントがどのくらいの速さで動作するかを示す、MHz で示される速度です。

コントローラ — プロセッサとメモリ間、またはプロセッサとデバイス間のデータ転送を制御するチップです。

コントロールパネル — 画面設定などのオペレーティングシステムやハードウェアの設定を変更するためのユーティリティです。

さ

サージプロテクタ — コンセントを介してコンピュータに影響を与える電圧変動（雷などの原因で）から、コンピュータを保護します。サージプロテクタは、落雷や通常の AC ライン電圧レベルが 20 % 以上低下する電圧変動による停電からはコンピュータを保護することはできません。

ネットワーク接続はサージプロテクタでは保護できません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルをネットワークコネクタから外してください。

サービスタグ — コンピュータに貼ってあるバーコードラベルのことで、デルサポートの support.jp.dell.com にアクセスしたり、デルのカスタマーサービスやテクニカルサポートに電話で問い合わせたりする場合に必要な識別番号が書いてあります。

システム基板 — コンピュータのメイン回路基板です。マザーボードとも呼ばれます。

システムトレイ — 通知領域を参照してください。

シャットダウン — ウィンドウを閉じてプログラムを終了し、オペレーティングシステムを終了して、コンピュータの電源を切るプロセスです。シャットダウンが完了する前にコンピュータの電源を切ると、データを損失する恐れがあります。

ショートカット — 頻繁に使用するプログラム、ファイル、フォルダ、およびドライブにすばやくアクセスできるようにするアイコンです。ショートカットを Windows デスクトップ上に作成し、ショートカットアイコンをダブルクリックすると、それに対応するフォルダやファイルを検索せずに開くことができます。ショートカットアイコンは、ファイルが置かれている場所を変更するわけではありません。ショートカットアイコンを削除しても、元のファイルには何の影響もありません。また、ショートカットのアイコン名を変更することもできます。

シリアルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにハンドヘルドデジタルデバイスやデジタルカメラなどのデバイスを接続するためによく使用されます。

スマートカード — プロセッサとメモリチップに内蔵されているカードです。スマートカードは、スマートカード搭載のコンピュータでのユーザー認証に利用できます。

スキャンディスク — Microsoft のユーティリティで、ファイル、フォルダ、ハードディスクの表面のエラーをチェックします。コンピュータの反応が止まって、コンピュータを再起動した際にスキャンディスクが実行されることがあります。

スタンバイモード — コンピュータの不必要な動作をシャットダウンして節電する、省電力モードです。

赤外線センサー — ケーブルを利用しなくても、コンピュータと赤外線互換デバイス間のデータ転送ができるポートです。

セットアッププログラム — ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり設定するために使うプログラムです。 **setup.exe** または **install.exe** というプログラムが Windows 用ソフトウェアに付属しています。セットアッププログラムは、セットアップユーティリティとは異なります。

セットアップユーティリティ — コンピュータのハードウェアとオペレーティングシステム間のインタフェース機能を持つユーティリティです。セットアップユーティリティは BIOS で日時やシステムパスワードなどのようなユーザーが選択可能なオプションの設定ができます。設定がコンピュータにどのような影響を与えるのか理解できていない場合は、このプログラムの設定を変更しないでください。

ソフトウェア — コンピュータファイルやプログラムなど、電子的に保存できるものすべてを指します。

た

通行許可証 — 物品を外国へ一時的に持ち込む場合、一時輸入通関ができる通関手帳です。商品パスポートとも呼ばれます。

通知領域 — コンピュータの時計、音量調節、およびプリンタの状況など、プログラムやコンピュータの機能に素早くアクセスできるアイコンが表示されている

Windows タスクバーの領域です。システムトレイとも呼ばれます。

テキストエディター — たとえば、Windows のメモ帳など、テキストファイルを作成および編集するためのアプリケーションプログラムです。テキストエディタには通常、ワードラップやフォーマット（アンダーラインのオプションやフォントの変換など）の機能はありません。

ディスクストライピング — 複数のディスクドライブにまたがってデータを分散させる技術です。ディスクのストライピングは、ディスクストレージからデータを取り出す動作を高速化します。通常、ディスクのストライピングを利用しているコンピュータではユーザーがデータユニットサイズまたはストライプ幅を選ぶことができます。

デバイス — コンピュータ内部に取り付けられているか、またはコンピュータに接続されているディスクドライブ、プリンタ、キーボードなどのハードウェアです。

デュアルディスプレイモード — お使いのディスプレイの拡張として、2 台目のモニターを使えるようにするディスプレイの設定です。拡張ディスプレイモードとも呼ばれます。

トラベルモジュール — ノートブックコンピュータの重量を減らすために、モジュールベイの中に設置できるように設計されているプラスチック製のデバイスです。

ドッキングデバイス — APR を参照してください。

ドメイン — ネットワーク上のコンピュータ、プログラム、およびデバイスのグループで、特定のユーザーグループによって使用される共通のルールと手順のある単位として管理されます。ユーザーは、ドメインにログオンしてリソースへのアクセスを取得します。

ドライバ — プリンタなどのデバイスが、オペレーティングシステムに制御されるようにするためのソフトウェアです。多くのデバイスは、コンピュータに正しいドライバがインストールされていない場合、正常に動作しません。

な

ネットワークアダプタ — ネットワーク機能を提供するチップです。コンピュータのシステム基板にネット

ワークアダプタが内蔵されていたり、アダプタが内蔵されている PC カードもあります。ネットワークアダプタは、**NIC**（ネットワークインタフェースコントローラ）とも呼ばれます。

は

ハードドライブ — ハードディスクのデータを読み書きするドライブです。ハードドライブとハードディスクは同じ意味としてどちらかが使われています。

バイト — コンピュータで使われる基本的なデータ単位です。1 バイトは 8 ビットです。

バス — コンピュータのコンポーネント間で情報を通信する経路です。

バス速度 — バスがどのくらいの速さで情報を転送できるかを示す、MHz で示される速度です。

バックアップ — フロッピーディスク、CD、DVD、またはハードドライブなどにプログラムやデータをコピーすることをバックアップといいます。不測の事態に備えて、定期的にハードドライブ上のデータファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

バッテリー — ノートブックコンピュータが AC アダプタおよびコンセントに接続されていない場合に、コンピュータを動作させるために使われる内蔵の電源です。

バッテリー駆動時間 — ノートブックコンピュータのバッテリーでコンピュータを駆動できる持続時間（分または時間）です。

バッテリーの寿命 — ノートブックコンピュータのバッテリーが、消耗と再充電を繰り返すことのできる期間（年数）です。

パーティション — ハードドライブ上の物理ストレージ領域です。1 つ以上の論理ストレージ領域（論理ドライブ）に割り当てられます。それぞれのパーティションは複数の論理ドライブを持つことができます。

パラレルコネクタ — I/O ポートは、コンピュータにパラレルプリンタを接続する場合などに使用されます。**LPT ポート**とも呼ばれます。

ヒートシンク — 放熱を助けるプロセッサに付属する金属板です。

ビット — コンピュータが認識するデータの最小単位です。

ビデオ解像度 — 解像度を参照してください。

ビデオコントローラ — お使いのコンピュータに（モニターの組み合わせにおいて）ビデオ機能を提供する、ビデオカードまたは（オンボードビデオコントローラ搭載のコンピュータの）システム基板の回路です。

ビデオメモリ — ビデオ機能専用のメモリチップで構成されるメモリです。通常、ビデオメモリはシステムメモリよりも高速です。取り付けられているビデオメモリの量は、主にプログラムが表示できる色数に影響を与えます。

ビデオモード — テキストやグラフィックスをモニターに表示する際のモードです。グラフィックスをベースにしたソフトウェア（Windows オペレーティングシステムなど）は、 x 水平ピクセル数 \times y 垂直ピクセル数 \times z 色数で表されるビデオモードで表示されます。文字をベースにしたソフトウェア（テキストエディタなど）は、 x 列 \times y 行の文字数で表されるビデオモードで表示されます。

ピクセル — ディスプレイ画面のシングルポイントです。ピクセルが縦と横に並び、イメージを作ります。ビデオの解像度（800 \times 600 など）は、上下左右に並ぶピクセルの数で表します。

ファーレンハイト (単位) — 温度の単位で、水の氷点を 32 度、沸点を 212 度としています。

フォーマット — ファイルを保存するためにドライブやディスクを準備することです。ドライブまたはディスクをフォーマットするとデータはすべて消失します。

フォルダ — ディスクやドライブ上のファイルを整理したりグループ化したりする入れ物です。フォルダ中のファイルは、名前や日付やサイズなどの順番で表示できます。

フロッピー — 電磁気式のストレージメディアです。フロッピーディスクまたはフロッピーディスクともいいます。

フロッピードライブ — フロッピーディスクにデータを読み書きできるディスクドライブです。

プラグアンドプレイ — デバイスを自動的に設定するコンピュータの機能です。BIOS、オペレーティングシステム、およびすべてのデバイスがプラグアンドプ

レイ対応の場合、プラグアンドプレイは、自動インストール、設定、既存のハードウェアとの互換性を提供します。

プログラム — 表計算ソフト、ワープロソフト、データベースソフト、ゲームソフトなどデータ処理をするソフトウェアです。これらのプログラムは、オペレーティングシステムの実行を必要とします。

プロセッサ — コンピュータ内部で中心的に演算を行うコンピュータチップです。プロセッサは、**CPU**（中央演算処理装置）とも呼ばれます。

ヘルプファイル — 製品の説明や各種手順を記したファイルです。ヘルプファイルの中には、Microsoft Word の『ヘルプ』のように特定のプログラムに適用されるものがあります。他に、単独で参照できるヘルプファイルもあります。通常、ヘルプファイルの拡張子は、**.hlp** または **.chm** です。

ま

マウス — 画面上のカーソルを移動させるポインティングデバイスです。通常は、マウスを硬くて平らな面で動かし、画面上のカーソルやポインタを移動します。

ミニ PCI — モデルや NIC など、通信に重点を置いた内蔵周辺機器の標準です。ミニ PCI は、標準の PCI 拡張カードと機能的に同等の小さいカードです。

メモリ — コンピュータ内部にある、一時的にデータを保存する領域です。メモリにあるデータは一時的に格納されているだけなので、作業中は時々ファイルを保存するようお勧めします。また、コンピュータをシャットダウンするときもファイルを保存してください。コンピュータのメモリには、RAM、ROM、およびビデオメモリなど何種類かあります。通常、メモリというと RAM メモリを指します。

メモリアドレス — データを一時的に RAM に保存する特定の場所です。

メモリマッピング — スタートアップ時に、コンピュータが物理的な場所にメモリアドレスを割り当てる処理です。デバイスとソフトウェアが、プロセッサによりアクセスできる情報を識別できるようになります。

メモリモジュール — システム基板に接続されている、メモリチップを搭載した小型回路基板です。

モジュールベイ — オプティカルドライブ、セカンドバッテリー、または Dell TravelLite™ モジュールなどのようなデバイスをサポートするベイです。

モデム — アナログ電話回線を介して他のコンピュータと通信するためのデバイスです。モデムには、外付けモデム、PC カードまたは ExpressCard モデム、および内蔵モデムの 3 種類があります。通常、モデムはインターネットへの接続や E-メールの交換に使用されます。

モニター — 高解像度のテレビのようなデバイスで、コンピュータの出力を表示します。

や

読み取り専用 — 表示することはできますが、編集したり削除したりすることができないデータやファイルです。次のような場合にファイルを読み取り専用に設定できます。

- フロッピーディスク、CD、または DVD を書き込み防止に設定している場合
- ファイルがネットワーク上のディレクトリにあり、システム管理者がアクセス権限に特定の個人だけを許可している場合

ら

リフレッシュレート — 画面上のビデオイメージが再描画される周波数です。単位は Hz で、このリフレッシュレートの周波数で画面の水平走査線（垂直周波数とも呼ばれます）が再描画されます。リフレッシュレートが高いほど、ビデオのちらつきが少なく見えます。

ローカルバス — デバイスにプロセッサへの高速スループットを提供するデータバスです。

索引

記号

5-in-1 メディアメモ리카ード
リーダー, 69

B

Bluetooth ワイヤレス
テクノロジーカード
デバイスステータスライト, 18
取り付け, 123

C

CD, 50
オペレーティングシステム, 13
再生, 47

CD ドライブ
問題, 78

CD のコピー
全般的な情報, 50
手順, 50
便利なヒント, 52

CD の再生, 47

CD-RW ドライブ
問題, 78

D

Dell
サポートサイト, 13

Dell Diagnostics (診断)
プログラム
Drivers and Utilities CD から
起動する場合, 76
ハードドライブから起動する
場合, 75

Dell MediaDirect, 17, 52
問題, 86

Drivers and Utilities CD, 94

DVD, 50
再生, 47

DVD ドライブ
問題, 78

DVD のコピー
全般的な情報, 50
手順, 50
便利なヒント, 52

DVD の再生, 47

E

ExpressCard
カードバステクノロジー, 43, 65
スロット, 43, 65
タイプ, 43, 65
ダミーカード, 65-66
取り付け, 65
取り外し, 66
拡張, 43, 65

ExpressCard スロット
説明, 20

I

IEEE 1394 コネクタ
説明, 20
問題, 84

IRQ コンフリクト, 95

M

Microsoft Windows ラベル,
12

P

PC の復元, 97

Q

QuickSet, 34, 42, 52

R

RAM。メモリを参照

Resource CD
Dell Diagnostics (診断)
プログラム, 75

S

S ビデオ TV 出力コネクタ
解説, 20

S/PDIF デジタルオーディオ
有効化, 62

U

UPS, 30

USB コネクタ
説明, 21-22

W

Windows XP

- 再インストール, 95
- システムの復元, 95
- スタンバイモード, 39
- デバイスドライバのロールバック, 93
- テレビの表示設定の有効化, 64
- 電源オプションのプロパティ, 40
- ネットワークセットアップウィザード, 71
- ハードウェアに関するトラブルシューティング, 95
- ファイルと設定の転送ウィザード, 26
- プログラム互換性ウィザード, 86
- ヘルプとサポートセンター, 13
- 休止状態モード, 40
- 再インストール, 13

あ

- アイコン
サイズの調整, 42
- 新しいコンピュータへの情報の転送, 26
- 安全にお使いいただくための注意, 12

い

- インターネット接続
オプション, 25
- セットアップ, 25
- 説明, 25

う

- ウィザード
ネットワークセットアップ
ウィザード, 71
- ファイルと設定の転送
ウィザード, 26
- プログラム互換性ウィザード, 86

え

- エラーメッセージ, 80
- エンドユーザーライセンス
同意書, 12

お

- オーディオコネクタ, 20
- オーディオデバイス
接続, 53
- 有効化, 62
- オーディオ。サウンドを参照
- オプティカルドライブ
説明, 21
- オプティカルドライブトレイ
取り出しボタン
説明, 21
- オペレーティングシステム
CD, 13
- Windows XP の再
インストール, 95
- 再インストール, 13
- オペレーティングシステム
CD, 13
- 音量
調節, 90

か

- カードバステクノロジー
ExpressCard, 43, 65
- メディアメモ리카ード, 69
- 解像度
設定, 32
- 画面。モニターを参照

き

- キーパッド
数字, 33
- テンキーパッド, 33
- キーボード
ショートカット, 34
- 説明, 17
- 取り外し, 121
- 問題, 84
- キーボードステータスライト
説明, 18
- 輝度
調節, 31
- 起動順序, 134
- 休止状態モード, 40-41

く

- クリーニング
タッチパッド, 137

こ

- コントロールパネル
電源オプション, 40
- コンピュータ
応答しない, 85
- クラッシュ, 85-86
- 仕様, 127
- パフォーマンスの低下, 80, 87

以前の状態の復元, 95
以前の動作状態に復元, 95
コンピュータの盗難, 136
コンピュータの紛失, 136
コンピュータを携帯するときは
ID タグ, 135
ヒント, 136
梱包, 135
飛行機, 136
コンフリクト
ソフトウェアとハードウェアの
非互換性, 95

さ

サービスタグ, 12
再インストール
Windows XP, 95
サウンド
音量, 90
問題, 90
作業姿勢に関する情報, 12
サポート
デルへのお問い合わせ, 138
サポートウェブサイト, 13

し

システムの復元, 95
仕様, 127
診断
Dell, 75

す

スキャナー
問題, 89
スタンバイモード
情報, 39, 41
パスワードオプション, 41
スパイウェア, 80, 87
スピーカー
説明, 17
音量, 90
問題, 90

せ

製品情報ガイド, 12
セキュリティ
デバイス固定ネジ, 107
セキュリティケーブルスロット
説明, 19
接続
オーディオデバイス, 53
接続する
テレビ, 53
セットアップユーティリティ
表示, 133
目的, 133
画面, 133
通常使用するオプション, 134

そ

ソフトウェア
問題, 86

た

タスクバー
QuickSet アイコン, 42
タッチパッド
カスタマイズ, 36
クリーニング, 137
説明, 17
ダミーカード
ExpressCard, 65
取り外し, 66, 70

つ

ツールバー
サイズの調整, 42
通行許可証, 136

て

ディスクのチェック, 79
ディスプレイ
アイコンのサイズの調整, 42
輝度の調節, 31
説明, 16
ツールバーのサイズの調整, 42
画面モードの切り替え, 31
解像度, 32
ディスプレイラッチ, 18
ディスプレイ。モニターを参照
デバイス固定ネジ
説明, 107
デバイスステータスライト, 16
デル
お問い合わせ, 138
デルプレミアサポートウェブ
サイト, 12

テレビ

Windows XP での表示設定の有効化, 64
接続, 53

テレビの表示設定

Windows XP での有効化, 64

電源

UPS, 30

サージプロテクタ, 30

スタンバイモード, 39

電源オプションのプロパティ, 40

保護装置, 30

ラインコンディショナ, 30

休止状態モード, 40

問題, 88

電源ライト

状態, 88

電力

管理, 37

設定, 37

電力の管理

設定の調整, 42

電力の管理

QuickSet, 42

電力の管理。電力を参照

と

ドライバ, 92

再インストール, 93

識別, 93

説明, 92

ドライブ

ハードドライブを参照

問題, 78

トラブルシューティング

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 75

コンピュータを以前の

動作状態に復元, 95

コンフリクト, 95

外付けのキーボードの問題, 84

ハードウェアに関するトラブル

シューティング, 95

ヘルプとサポートセンター, 13

以前の状態に復元, 95

ドルビーヘッドフォン、設定、
63

に

認可機関の情報, 12

ね

ネットワーク

セットアップ, 71

ネットワークセットアップ

ウィザード, 71

問題, 87

ネットワークコネクタ

説明, 22

ネットワークセットアップ

ウィザード, 71

は

ハードウェア

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 75

ハードウェアに関するトラブル

シューティング, 95

ハードドライブ

交換, 104

説明, 24

デルへ返品, 107

問題, 79

バッテリー

機能ゲージ, 45

充電, 45

充電ゲージ, 44

充電チェック, 44

充電量低下の警告, 41

性能, 43

説明, 23

電源メーター, 44

取り付け, 104

バッテリーの低下を知らせる
警告, 45

保管, 45

省電力, 37

平均寿命, 37

バッテリーベイリリース

ラッチ, 23

ひ

ビデオ

問題, 91

ビデオコネクタ

説明, 22

ヒンジカバー

取り外し, 119

ふ

ファイルと設定の転送
ウィザード, 26

ファン

説明, 19

解説, 23

プリンタ

USB, 29

ケーブル, 29

プリンタの接続

セットアップ, 28

問題, 89

フロッピードライブ

USB コネクタへの接続, 21-22

へ

ヘルプとサポートセンター, 13

ヘルプファイル

Windows ヘルプとサポート
センター, 13

ま

マニュアル

安全性, 12

エンドユーザーライセンス

同意書, 12

オンライン, 13

作業姿勢, 12

製品情報ガイド, 12

み

ミニ PCI カード

取り付け, 117

む

無停電電源装置, 30

め

メッセージ

エラー, 80

メディアコントロールボタン

Dell MediaDirect ボタン, 52

再生 / 一時停止 / Dell

MediaDirect, 17

説明, 17

メディアメモリカード

カードバステクノロジー, 69

スロット, 69

タイプ, 69

ダミーカード, 70

取り付け, 69

取り外し, 70

メモリ

取り付け, 108

取り外し, 110, 112

増設, 109, 111

メモリモジュールカバー, 23

も

モジュールベイ

デバイス固定ネジ, 107

デバイスの交換, 107

モデム

取り付け, 115

モデムカバー

説明, 24

モデムコネクタ

解説, 21

モニター

画面モードの切り替え, 31

問題, 91

問題

CD ドライブ, 78

CD-RW ドライブ, 78

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 75

Dell MediaDirect, 86

DVD ドライブ, 78

IEEE 1394 コネクタ, 84

エラーメッセージ, 80

オペレーティングシステムを

以前の状態に復元, 95

キーボード, 84

コンピュータが起動しない, 85

コンピュータクラッシュ, 85

コンピュータの応答が

停止した, 85

コンピュータのクラッシュ, 86

コンピュータパフォーマンスの

低下, 80, 87

コンピュータを以前の

動作状態に復元, 95

サウンドおよびスピーカー, 90

スキャナー, 89

スパイウェア, 80, 87

スピーカー, 90

ソフトウェア, 85-86

電源, 88

電源ライトの状態, 88

ドライブ, 78

ネットワーク, 87

ハードドライブ, 79

ビデオおよびモニター, 91

フリーズ, 85

プリンタ, 89

ブルースクリーン, 86

プログラムがクラッシュを

繰り返す場合, 85

プログラムと Windows の

互換性, 86

プログラムの応答が停止する

場合, 85

ら

ラベル

Microsoft Windows, 12

サービスタグ, 12

わ

ワイヤレス

アクティビティのオンとオフ,

42

